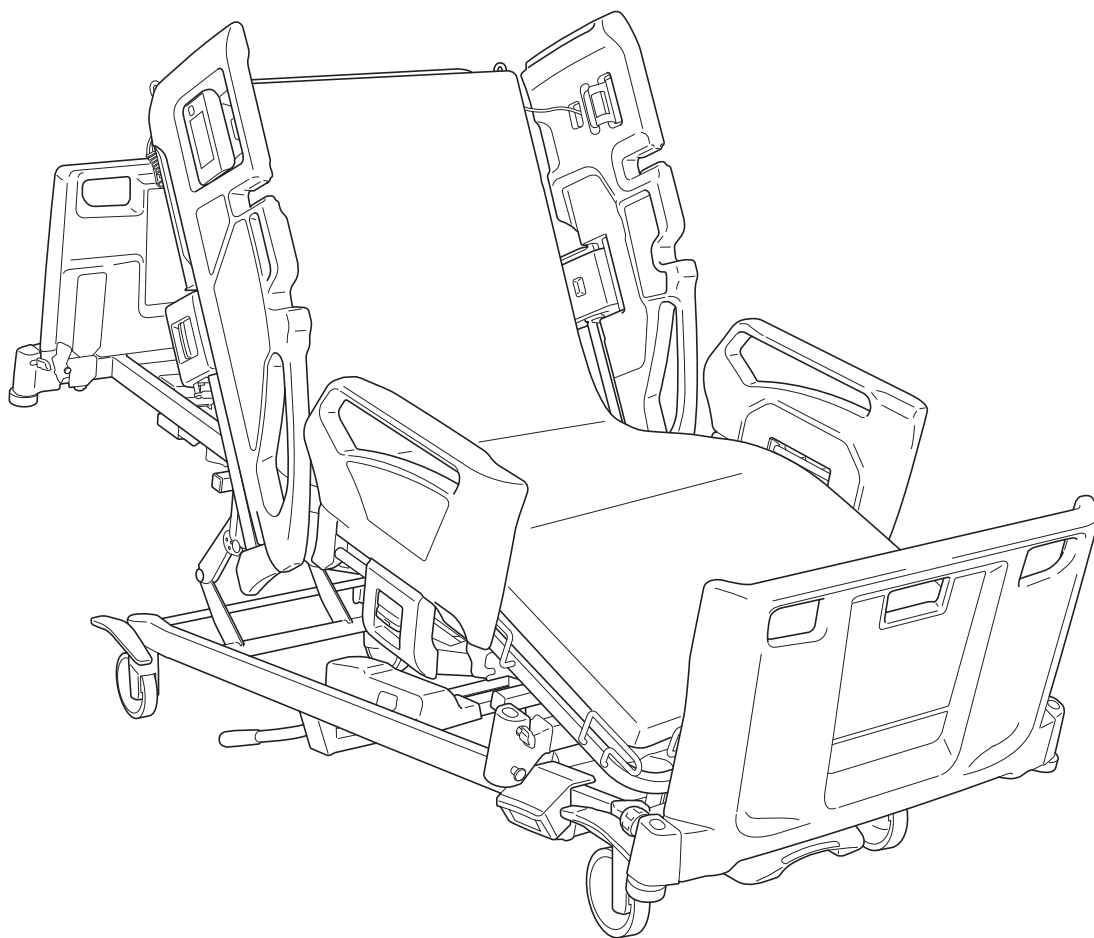


取扱説明書

アリウスシリーズ ICU ベッド

保証書付

7F11938200A0



※イラストは別売のマットレスを取付けた状態です。

まえがき

このたびは、アリウスシリーズ ICU ベッド（以下、ベッド）をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この「取扱説明書」には、ベッドを安全にお使いいただくための注意事項と使用方法などを記載しています。

- ベッドをお使いになる前に、必ずこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しく安全な取扱方法を理解してください。
- ベッドで療養する方ばかりでなく、付き添いの方にも正しく安全な取扱方法を説明してください。
- この「取扱説明書」はお読みになった後も、いつでも見られる場所に保管してください。

1	ベッドを使用する前に	4
1.	本機について	4
	・ 使用目的	4
	・ 各部の名称	4
2.	安全に使用するための注意事項	7
3.	シンボル定義	23
	・ ベッド全体	23
	・ DS ベッドナビ・ベッドナビ	24
	・ 医療従事者用・患者用操作スイッチ	27
	・ 手元スイッチ	28
	・ 補助コンセント	28
	・ バッテリーユニット	28
4.	ベッドの準備	29
	・ 運搬治具の取外し	29
	・ マットレス止めの取付け	30
	・ ヘッドボード・フットボードの取付け・取外し	31
	・ サイドレール	32
	・ 延長フレーム	34
	・ キャスターロックの方法	36
	・ アクセサリーレール	39
	・ 抑制帯受	40
	・ オプション取付穴	41
	・ ローラーバンパー	42
	・ 角度表示計	43
	・ 電源の接続	44
	・ 補助コンセントの使いかた	45
	・ 手元スイッチ (RC-1850：別売) の取付け・取外し	47
2	機能と操作	49
1.	ベッドの機能	49
	・ 背あげ・膝あげ・高さ調節	49
	・ 傾斜	51
	・ カインド PLUS モーション	52
	・ カインドモーション	53
	・ 離床 CATCH	54
2.	操作方法	58
	・ 医療従事者用操作スイッチの使いかた	58
	・ 患者用操作スイッチの使いかた	63

3. DS ベッドナビの使いかた	65
・ 各部の名称	65
・ 機能の選びかた	67
・ 体重計	69
・ 離床 CATCH	73
・ 眠り SCAN	76
・ エアマットレス (こちあ利楽)	78
4. 緊急時の操作	80
・ CPR レバーによる背さげ	80
・ 電動 CPR による操作	80
3 オプション	81
・ オプション適合表	81
・ マットレス	82
・ 離床グリップ	84
・ 手元スイッチ	85
・ ベッドナビ	90
・ 眠り SCAN (一般医療機器 (体動センサー))	91
・ IV ポール	92
・ 酸素ボンベホルダー	93
・ けん引装置 (一般医療機器 (非能動型簡易型牽引装置))	94
・ ベッドサイドテーブル	95
・ オーバーベッドテーブル	96
・ 端座位保持テーブル・リハビリテーブル	96
・ 電動介護リフト (床走行式リフト)	97
・ 延長マットレス	98
・ フットスパーサー	99
4 困ったときは	100
1. 故障かな?と思ったら	100
2. エラーコードについて	103
・ エラーコード一覧	103

5 必要なときに	105
1. 検定付ベッドについてのご注意	105
・ 定期検査	105
・ 検定ラベル	105
・ 水準器	106
2. 定期点検と日常のお手入れ	107
・ 定期点検	107
・ 日常のお手入れ	108
3. 長期保管・廃棄	109
・ 長期保管	109
・ 廃棄	109
4. 仕様	110
5. アフターサービスについて	112

<おことわり>

このページ以降、本文中に記載の名称を一部以下のように略しております。
・ 電源3Pプラグ→電源プラグ

- お買い上げの製品は、改良などにより、この「取扱説明書」の内容と一部異なる場合があります。
- 動作範囲・寸法・角度・質量などの数値の記載がある場合、その数値には多少の誤差が含まれます。特別なものを除きこの「取扱説明書」では、表示を見やすくするため、約・およそといった言葉を省略しております。
- ご不明な点がありましたら、お買い上げの販売店または直接弊社までお問い合わせください。
- このベッドは日本国内専用です。海外では電源電圧が異なるため使用できません。

1 ベッドを使用する前に

1. 本機について

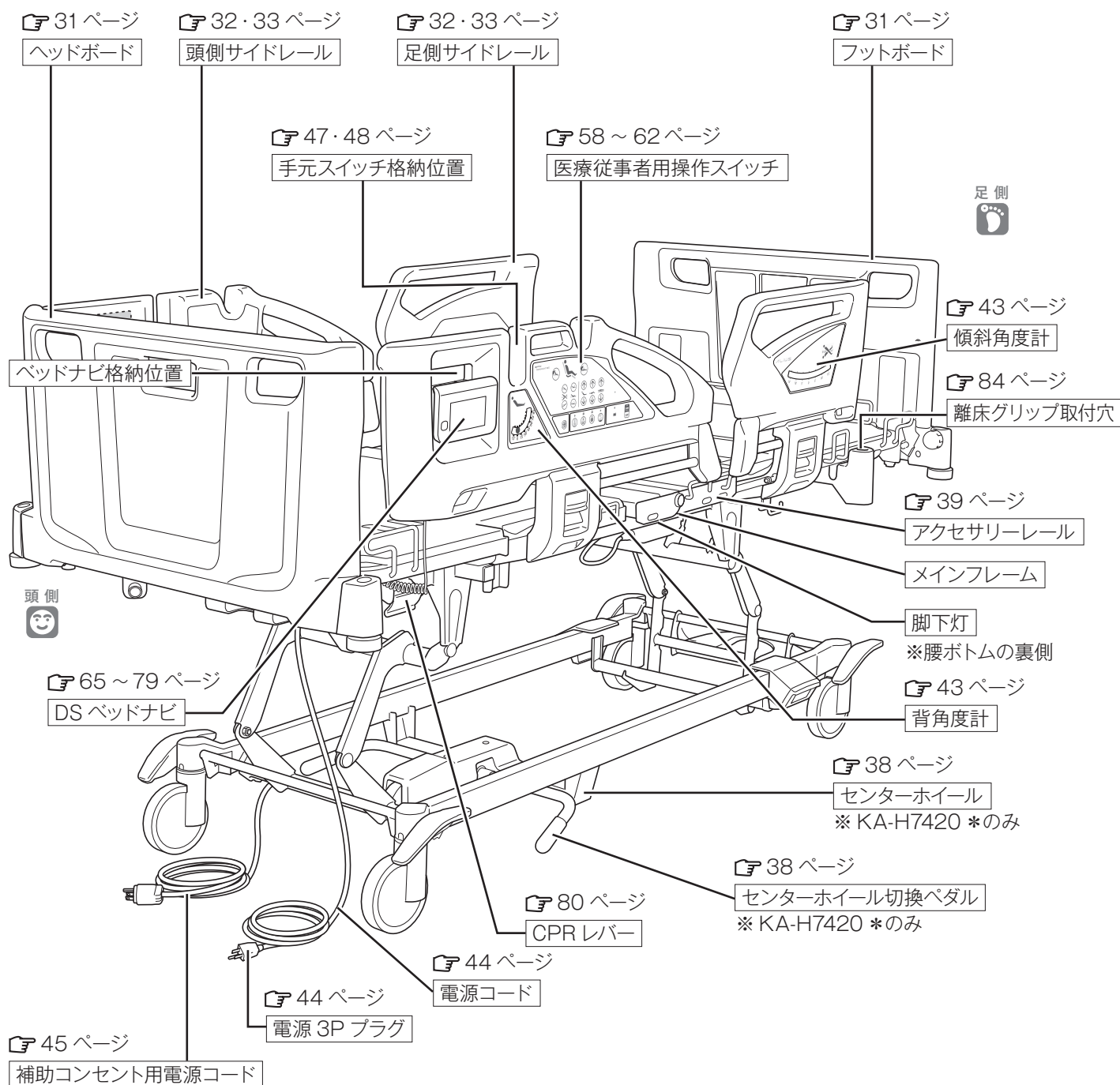
使用目的

このベッドは医療施設での療養用に使用されることを目的に作られています。


各部の名称

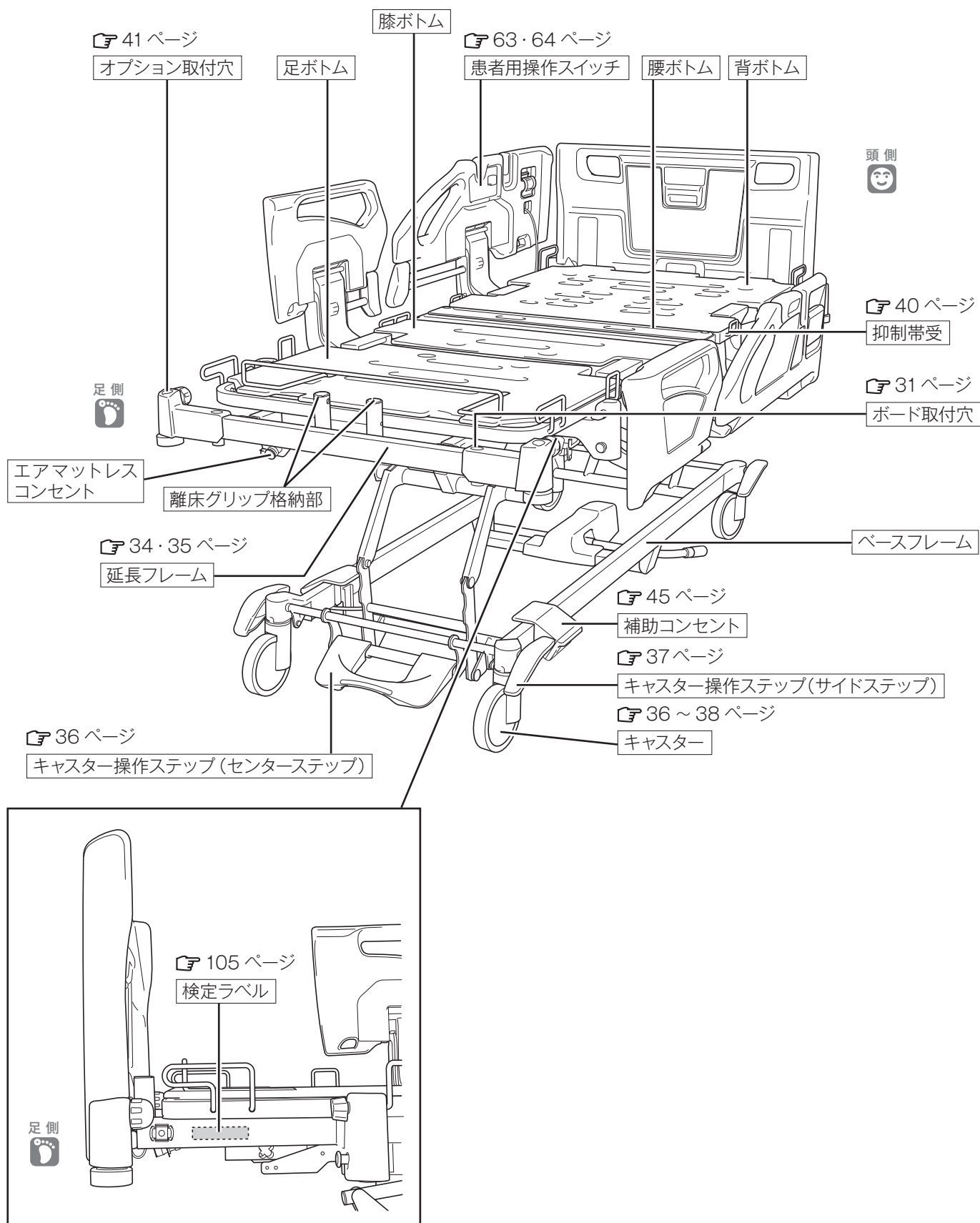


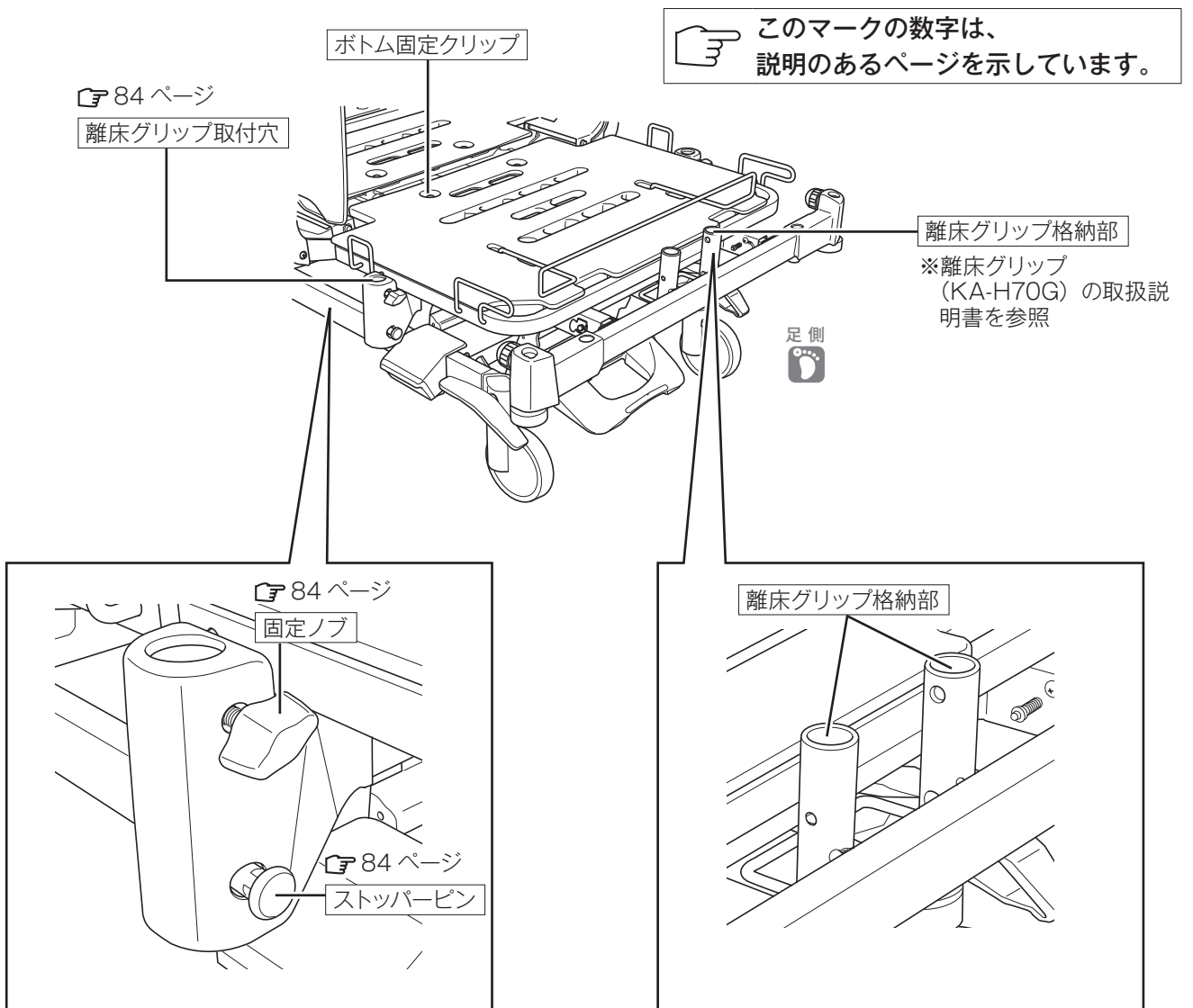
このマークの数字は、
説明のあるページを示しています。



1 ベッドを使用する前に

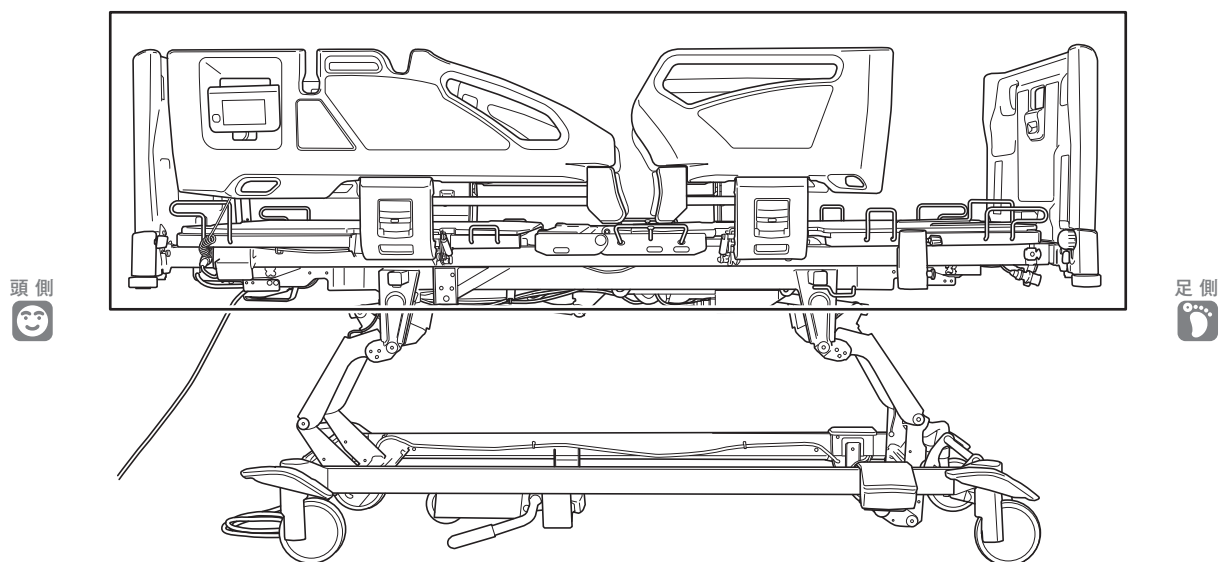
 このマークの数字は、
説明のあるページを示しています。





装着部

※正常使用において、患者と物理的に接触するベッドの部分





1 ベッドを使用する前に

2. 安全に使用するための注意事項

■必ずご使用の前にこの「安全に使用するための注意事項」をよくお読みいただき、正しくお使いください。

- ここに示した注意事項は製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度に応じて「⚠警告」と「⚠注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

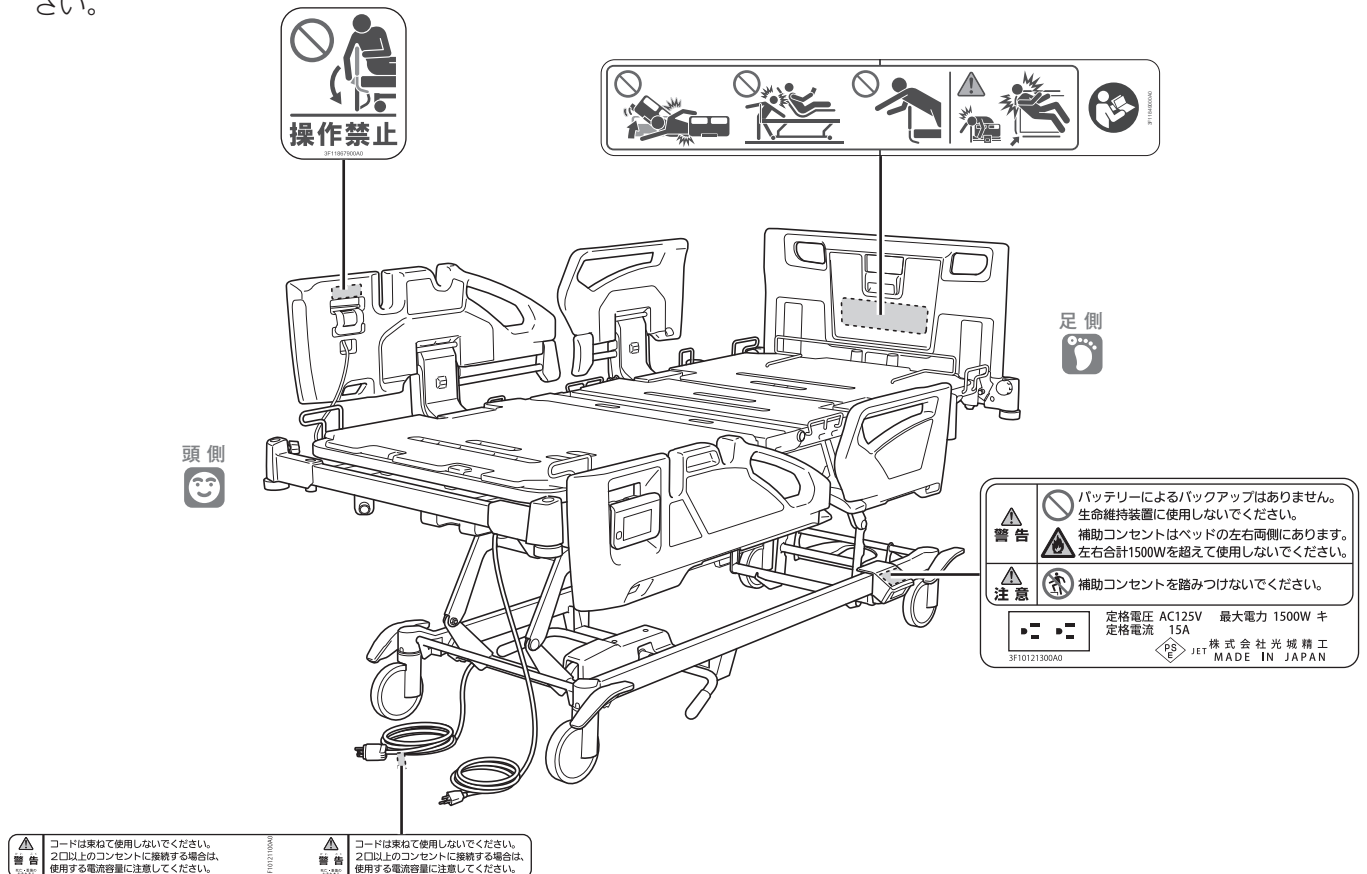
 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、死亡または重傷（骨折・圧迫・麻痺など）を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷（打撲・すり傷・切り傷など）を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

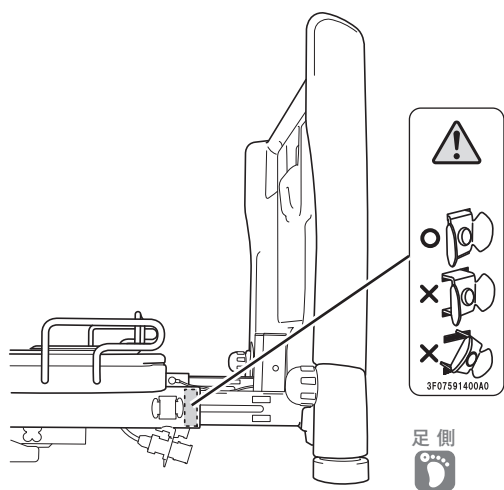
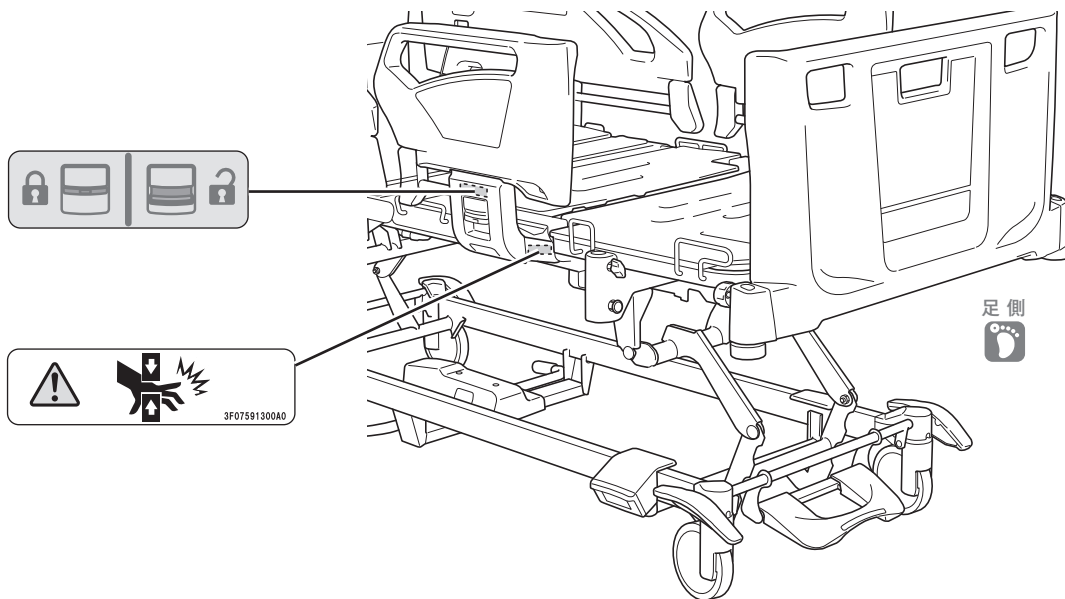
★『安全に使用するための注意事項』などに記載の項目で、特に<すき間に関する注意>（9・10 ページ参照）は、生命に関わる重大な事故につながる可能性のある重要な項目です。この取扱説明書とあわせ、製品に別添の「すき間および電装品についての注意事項」を必ずお読みいただき、正しく安全にお使いください。なお、特に予測できない行動をとると思われる方や体位を自分で保持できない方には十分注意してください。

※取扱説明書をお読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

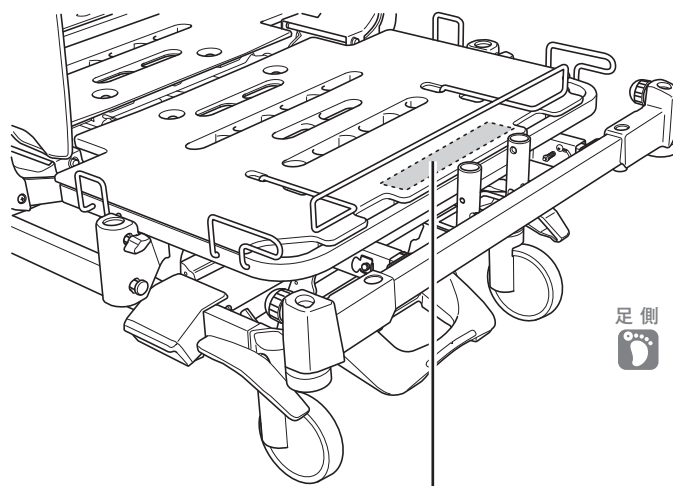
<安全ラベルについて>

- 注意事項の中で、ベッドをお使いになる方に特に注意していただきたい項目をラベルにして頭側サイドレールの内側・外側、足側サイドレールの下側、フットボードの内側、補助コンセントの上面、補助コンセント用電源コード先端、足ボトムの上側、メインフレーム足側の左右に貼ってあります。はがしたり傷つけたりしないでください。
- 安全ラベルが傷ついたり、はがれたりした場合には販売店から新しい安全ラベルを取り寄せ、貼り直してください。





※延長フレームを引き出した状態で説明しています



1 ベッドを使用する前に

警告

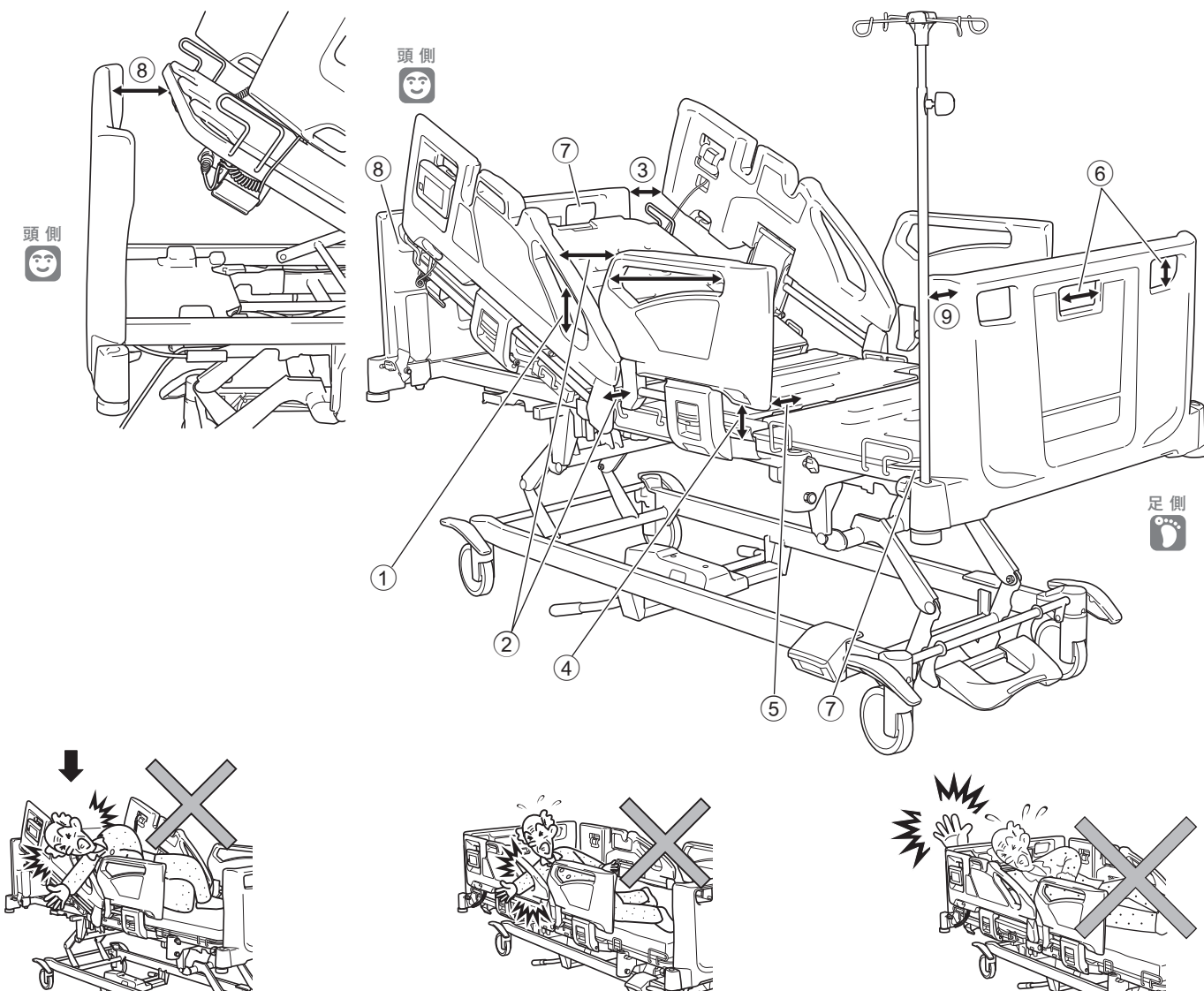
<すき間に関する注意>

■すき間に注意してください

- ベッドやサイドレールなどにはすき間があります。これらのすき間に身体の一部（特に頭や首など）をはさむと、けがをするおそれがあります。
- 特に、予測できない行動をとると思われる方や体位を自分で保持できない方には十分注意してください。
- 下記の項目に注意してください。

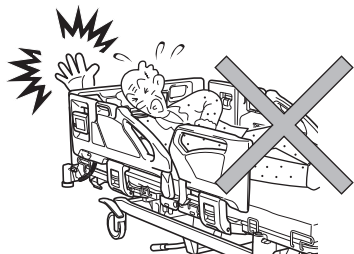
- | | |
|--------------------------------|---|
| ① サイドレールなどの内部のすき間 | ⑥ ボード内部のすき間 |
| ② サイドレール（頭側）とサイドレール（足側）の間のすき間 | ⑦ ボードとボトム・マットレスのすき間 |
| ③ サイドレールなどとボードのすき間 | ⑧ あがっているボトムとボード・サイドレールなどのすき間 |
| ④ サイドレールなどとボトム・マットレスのすき間（高さ方向） | ⑨ IV ポール・離床グリップ・フットスペーサー・けん引装置とボード・サイドレール・ボトム・マットレスなどのすき間 |
| ⑤ サイドレールなどとボトム・マットレスのすき間（幅方向） | |

※図は一例です。



警告

■身体の一部がすき間に入った状態で、ベッドの操作をしないでください



- すき間にはさまれて、けがをするおそれがあります。
- 特に、予測できない行動をとられる方や体位を自分で保持できない方には十分注意してください。

■ベッドの操作中はベッドのフレームとボトムの間などに手（指）や足などを入れないでください

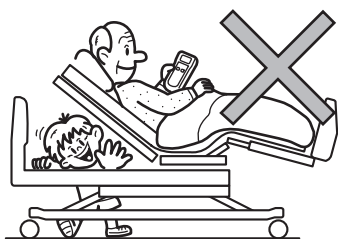


- さがってきたボトムとベッドのフレームやボードなどのすき間にはさまれて、けがをするおそれがあります。
- 特に、予測できない行動をとられる方や体位を自分で保持できない方には十分注意してください。

■ベッドと壁や周りのものに、はさまれないように注意してください

- 身体の一部がはさまれて、けがをするおそれがあります。
- 特に、予測できない行動をとられる方や体位を自分で保持できない方には十分注意してください。

■ベッドの下に潜り込んだり、頭や手・足などを入れたりしないでください



- ベッドの可動部分とフレームやサイドレールとのすき間にはさまれて、けがをするおそれがあります。ベッドの操作は、ベッドの周りに障害物がないことを確認して行ってください。
- 特に、予測できない行動をとられる方や体位を自分で保持できない方には十分注意してください。

■ボトムの角度やベッドの高さを調節するときは、患者さんの状態に注意してください

患者さんがボトムの角度やベッドの高さ調節中に動くと、ベッドから転落したり、すき間にはさまれたりして、けがをするおそれがあります。特に、体位を自分で保持できない方の場合は、身体を支えながら操作してください。

■オプションを取付けるときは、オプションを取付ける穴に異物が入っていないことを確認してください

異物が入っていると確実に取付けることができず、ベッドから転落したり、意図せぬすき間が発生して、身体の一部がはさまれたりしてけがをするおそれがあります。

1 ベッドを使用する前に



<転落に関して>

■サイドレールをあげた状態でもベッドからの転落に十分注意してください

- サイドレールとサイドレール、各ボードとサイドレールのすき間から転落し、けがをするおそれがあります。
- サイドレールの上から身を乗り出して転落し、けがをするおそれがあります。
- 厚みのあるマットレスを使用する場合、相対的にサイドレールが低くなり、サイドレールを乗り越えやすくなりますのでご注意ください。
- 特に、予測できない行動をとると思われる方や体位を自分で保持できない方には十分注意してください。

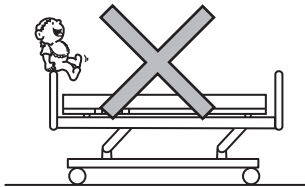
■患者さんを搬送するときは、サイドレールをあげてください

患者さんがベッドから転落して、けがをするおそれがあります。

■サイドレールの操作は、ベッドの外側から看護する方が行ってください

患者さんなどがベッドの内側から操作すると、サイドレールが急にさがるとしてベッドから転落し、けがをするおそれがあります。

■サイドレールやヘッドボード・フットボードに腰掛けしないでください



ベッドから転落・転倒してけがをしたり、ベッドやサイドレールなどが破損・変形したりして、けがをするおそれがあります。

■患者さんから目を離したり、ベッドから離れたりするときは、ボトムの高さやベッドの高さ、サイドレール・ボードの状態に注意してください

- 医師・看護師・付き添いの方などが患者さんから目を離したり、ベッドから離れたりする際は、万一のベッドからの転落に備え、患者さんの状況に応じてボトムの角度を水平（フラット）にして、ベッドの高さを最低高さにしてください。
- 体位を自分で保持できない方や歩行に不安のある方などの場合は、サイドレールをすべてあげてください。なお、延長フレーム使用時に、足側サイドレールとフットボードのすき間を埋めたい場合は、離床グリップ（別売：KA-H70G、84 ページ参照）と、フットスペーサー（別売：KA-H70S、99 ページ参照）を組合せて使用してください。

■カインド PLUS による背あげをした状態やベッドが傾斜した状態で、患者さんを乗せてベッド移動はしないでください

患者さんがベッドから転落したりすき間にはさまれたりして、けがをするおそれがあります。

警告

<ベッド操作に関して>

■操作が理解できないと思われる方（12歳以下のお子様や認知症の方など）に操作させないでください

●操作が理解できないと思われる方が、1人で医療従事者用操作スイッチ・患者用操作スイッチ・手元スイッチ（別売）およびベッドナビ（別売）を操作した場合、誤ってベッドに身体がはさまれるなど、思わぬけがをするおそれがあります。

1人で医療従事者用操作スイッチ・患者用操作スイッチ・手元スイッチ（別売）およびDSベッドナビ・ベッドナビ（別売）に触れる可能性がある場合には、次のいずれかの方法により操作を制限し、誤操作による事故を未然に防いでください。

- ・医療従事者用操作スイッチあるいはベッドナビ（別売）で、全ての操作禁止の設定を行い、医療従事者用操作スイッチ、患者用操作スイッチ、手元スイッチ（別売）およびベッドナビ（別売）の操作を禁止にする。（設定方法は62ページあるいはベッドナビ（別売）の取扱説明書を参照）
- ・医療従事者用操作スイッチあるいはベッドナビ（別売）で、手元スイッチ操作禁止の設定を行い、患者用操作スイッチおよび手元スイッチの操作を禁止にする。（設定方法は62ページあるいはベッドナビ（別売）の取扱説明書を参照）
- ・ベッドナビ（別売）で、操作禁止の設定を行い、背・膝・高さ・傾斜の操作を個別に禁止する。（設定方法は、ベッドナビ（別売）の取扱説明書を参照）
- ・電源プラグを抜く。

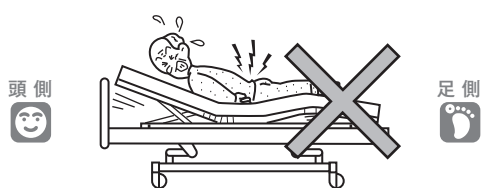
●医療従事者用操作スイッチ、患者用操作スイッチ、手元スイッチ（別売）およびベッドナビ（別売）の操作を禁止にしている場合でも、ベッドナビ（別売）で設定初期化を行うと、すべてのベッド動作が可能な状態に戻ってしまいますのでご注意ください。意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。（ベッドナビ（別売）の取扱説明書を参照）

■ベッドは正しい向きで使用してください



ベッドの頭側・足側を間違えて寝るとベッド操作（ボトムの角度）の際、無理な姿勢となり、けがをするおそれがあります。

■うつ伏せや横向き（仰向け以外）で寝た状態での角度調節は行わないでください



関節を逆に曲げることになり、けがをするおそれがあります。

1 ベッドを使用する前に



■ボトムに抑制帯を取付けた状態で背あげや膝あげなどのベッド操作を行わないでください

- 患者さんの身体が締付けられてけがをしたり、ベッドが破損・変形したりするおそれがあります。
- 患者さんや付き添いの方などが、医療従事者用操作スイッチ・患者用操作スイッチ・手元スイッチ（別売）およびベッドナビ（別売）を操作した場合、誤ってベッドに身体がはさまれるなど、思わぬけがをするおそれがあります。1人で医療従事者用操作スイッチ・患者用操作スイッチ・手元スイッチ（別売）およびベッドナビ（別売）に触れる可能性がある場合には、次のいずれかの方法により操作を制限し、誤操作による事故を未然に防いでください。
 - ・医療従事者用操作スイッチあるいはベッドナビ（別売）で、全ての操作禁止の設定を行い、医療従事者用操作スイッチ、患者用操作スイッチ、手元スイッチ（別売）およびベッドナビ（別売）の操作を禁止にする。（設定方法は62ページあるいはベッドナビ（別売）の取扱説明書を参照）
 - ・医療従事者用操作スイッチあるいはベッドナビ（別売）で、手元スイッチ操作禁止の設定を行い、患者用操作スイッチおよび手元スイッチの操作を禁止にする。（設定方法は62ページあるいはベッドナビ（別売）の取扱説明書を参照）
 - ・ベッドナビ（別売）で、操作禁止の設定を行い、背・膝・高さ・傾斜の操作を個別に禁止する。（設定方法は、ベッドナビ（別売）の取扱説明書を参照）
 - ・電源プラグを抜く。
- 医療従事者用操作スイッチ、患者用操作スイッチ、手元スイッチ（別売）およびベッドナビ（別売）の操作を禁止にしている場合でも、ベッドナビ（別売）で設定初期化を行うと、すべてのベッド動作が可能な状態に戻ってしまいますのでご注意ください。意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。（ベッドナビ（別売）の取扱説明書を参照）

■患者さんの容体にあわせて使用してください

- 患者さんの容体によっては、ベッドの操作や背あげ・膝あげなどの姿勢をとることにより、容体を悪化させるおそれがあります。
- 患者さんあるいはご家族の方が直接操作される場合は、医師または看護する方が取扱説明書の内容と、容体にあった使用方法について十分に説明した上で使用してください。

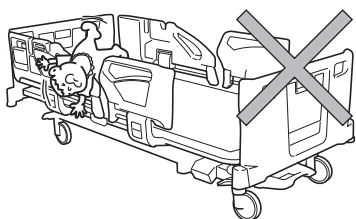
警告

<ベッドの使用に関して>

■ボードを取外す際は、患者さんの状態に注意してください

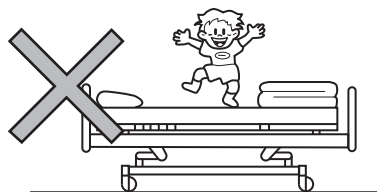
- オプション類や周辺機器などのすき間に身体の一部がはさまれて、けがをするおそれがあります。
- ベッドから転落して、けがをするおそれがあります。

■小児（12歳以下）には使用しないでください



- 本製品は小児（12歳以下）向けには設計されていません。サイドレールなどのすき間に身体の一部がはさまれて、けがをするおそれがあります。
- サイドレールを使用している場合でも、すき間から転落してけがをするおそれがあります。

■ベッドの上に立ちあがらないでください



ベッドから転落・転倒してけがをしたり、ベッドが破損・変形したりするおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。

■水などをこぼさないでください

- コネクター^{*}や、医療従事者用操作スイッチ・患者用操作スイッチ・DSベッドナビなどの電装品に、水などをこぼさないでください。ベッドが誤動作してけがをしたり、ショートなどによりベッドが故障したりするおそれがあります。
 - 補助コンセント・補助コンセントの電源プラグおよびベッドの電源プラグに水などをこぼさないでください。ショートなどにより、ベッドや補助コンセントを使用している電気機器が故障するおそれがあります。
 - 誤ってこぼしてしまった場合には、電源プラグをコンセントから抜いて、水などを拭き取ってください。ベッドを完全に乾燥させて、ベッドが安全に動作することを確認してから使用してください。
- ^{*} 手元スイッチ・エアマットレス・眠りSCAN・ナースコール中継ユニットなど、別売品の電装品を接続するコネクター

1 ベッドを使用する前に



■抑制帯受以外には抑制帯を取付けないでください

抑制帯が不意に外れてけがをしたり、ベッドが破損・変形したりするおそれがあります。

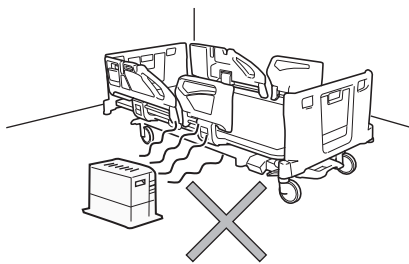
■ベッド搬送は 2 人以上で行ってください

- ベッド搬送時に進行方向に見えない部分が出てしまい、人にぶつかりけがをするおそれがあります。また、ものにぶつかり、ベッドやものが破損・変形するおそれがあります。
- 前の方は、進行方向や曲がり角に注意を払ってください。

■ベッドに直接取付けて使用するマットレスなどは弊社が指定する適合品をご使用ください

指定以外の製品や他社製品と組合せると、意図せぬすき間の発生や製品同士の接触、安定性の低下などにより、けがをしたりベッドが故障したりするおそれがあります。(適合品については 82・83 ページを参照)

■火気に近づけないでください



ベッドの近くで、ストーブなどの熱器具を使用しないでください。変質・変形・火災などの原因となります。

■酸素 TENT を付けてベッドを使用しないでください

- 火災のおそれがあります。
- 酸素投与機器は経鼻型・マスク型または人工呼吸器型のみを使用してください。

■可燃性の麻酔剤を使用するときは、ベッドの操作をしないでください

火災のおそれがあります。

■オプションや突起物に衣類などが絡まないように注意してください

- 衣類などが絡まった状態でベッドを操作すると、衣類などが引っ張られるなどして、けがをするおそれがあります。
- ベッドの乗り降りなどの際に転落・転倒して、けがをするおそれがあります。

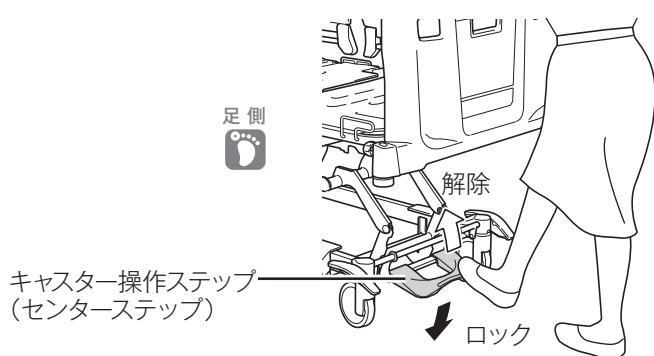
警告

<搬送・移動に関して>

■ベッドを搬送する際は、足元に注意してください

キャスター操作ステップ（センターステップ・サイドステップ）に足をぶついたり、キャスターなどに足がはさまれたりして、けがをするおそれがあります。

■ベッドを移動させるとき以外は、キャスターにロックを掛けてください



- 患者さんがベッドに乗降りするときなどに、ベッドが動いて思わぬけがをするおそれがあります。
- ベッドを移動させるときは、キャスター操作ステップ（センターステップ・サイドステップ）を操作してキャスターのロックを解除してください。（36・37ページ参照）

■キャスター操作ステップ（センターステップ・サイドステップ）に乗らないでください

転倒してけがをしたり、ベッドが破損したりするおそれがあります。

<電源プラグ・コードに関して>

■電源コードや手元スイッチのコードに足を引っ掛けないようにしてください

- プラグやコードが破損し、感電・火災のおそれがあります。
- 転倒して、けがをするおそれがあります。

■ベッドやベッド以外の電気機器のコード類（電源コードなど）をベッドの下に通さないでください

キャスターや可動部にはさまれてコード類が破損し、感電・火災のおそれがあります。

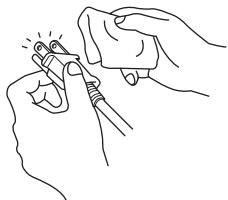
■電源プラグに無理な力を加えないでください

電源プラグが破損し、感電・火災のおそれがあります。

1 ベッドを使用する前に

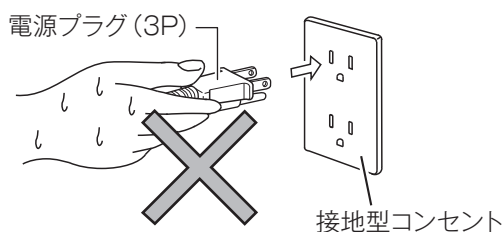
警告

■電源プラグにほこりを付着させないでください



- 電源プラグの表面にほこりが付着していると水分を含んで電流が流れ、ショートなどにより、感電・火災のおそれがあります。
- 電源プラグの表面にほこりが付着している場合は、乾いた布などでよく拭き取ってください。

■電源プラグを濡れた手で抜き差ししないでください



ショートして感電したり、故障したりするおそれがあります。

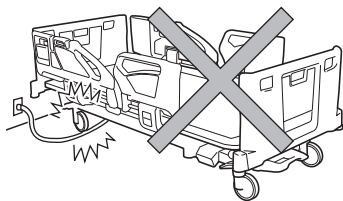
■電源プラグを抜く際は、電源プラグを持って抜いてください

電源コードのみをもって引き抜くとコードが傷んで、感電・火災のおそれがあります。

■お手入れは電源プラグを抜いて行ってください

誤操作によりベッドが動いて、けがをするおそれがあります。

■コード類（電源コードなど）を傷つけないでください

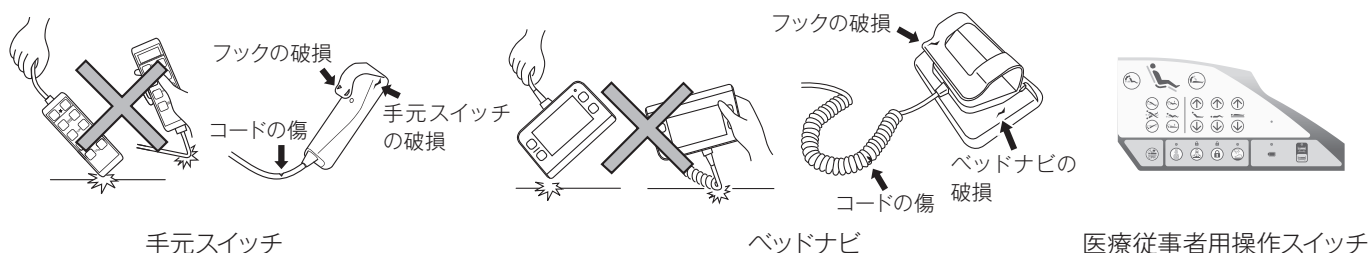


- コード類が破損し、感電・火災のおそれがあります。
 - ・ベッドの可動部でコード類をはさまないようにしてください。
 - ・コード類に重いものを置いたり無理な力を加えたりしないようにしてください。
 - ・ベッドでコード類を踏みつけしないでください。
- 傷んだコード類は修理（交換）を依頼してください。

警告

■医療従事者用操作スイッチ・DS ベッドナビなど電装品の取扱いに注意してください

- ベッドが誤動作してけがをしたり、故障したりする原因となります。また、ショートなどにより、感電・火災のおそれがあります。
 - ・ぶつけたり傷つけないでください。
 - ・落としたり、コードを無理に引っ張ったりしないでください。
- 傷んだ医療従事者用操作スイッチなどの電装品は修理（交換など）を依頼してください。



■DS ベッドナビ・ベッドナビ（別売）のタッチパネルに強い衝撃を加えたり、鋭利なもので触れたりしないでください

- タッチパネルが破損してけがをしたり、感電したり、誤動作の原因となったりします。
- タッチパネルが破損して流出した液体（液晶）には触れないでください。
 - ・液体が身体や衣類などに付いた場合は、石鹸などを使用して水で洗い流してください。特に、液体が目に入った場合は、医師の診察を受けてください。

■電子治療器を使用するときは電源プラグを抜いてください

- 電子治療器（マイクロ波治療器、超音波治療器など）を同時に使用した場合、ベッドの故障や誤動作の原因となります。
- なお、他の ME 機器と併用する際は、安全をご確認の上ご使用ください。

■USB コネクタを使用しないときは、USB コネクタからケーブルを抜いてください。また、USB コネクタにケーブルを差したままサイドレールを操作しないでください

思わぬけがをするおそれがあります。また、USB コネクタ・USB 機器・ケーブルなどが破損するおそれがあります。

1 ベッドを使用する前に



< 保守に関して >

■お客様による修理・改造はしないでください

意図せぬすき間の発生や異常動作などにより、けがをするおそれがあります。

■ベッド操作時は、患者さんにつながっているラインに注意してください

- ラインが引っ張られてけがをしたり、ラインや機器が破損したりするおそれがあります。
- ラインがベッドにはさまれてけがをしたり、ラインや機器が破損したりするおそれがあります。

■ベッドは定期的に点検してください

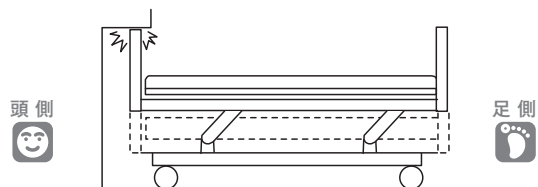
使用の頻度や環境により、製品は摩耗・劣化します。定期的に各部のゆるみ、可動部の動作、破損の有無などを点検してください。摩耗・劣化した状態で使い続けると、思わぬけがをするおそれがあります。
(107 ページ参照)

■被災したベッドは点検・修理を依頼してください

地震・火災・水害などで被災したベッドは、お買い上げの販売店またはパラテクノコールセンター（112 ページ参照）まで、点検・修理をご依頼ください。電装品のショートや漏電による感電・火災やベッドの変形による動作の異常によって、けがをするおそれがあります。

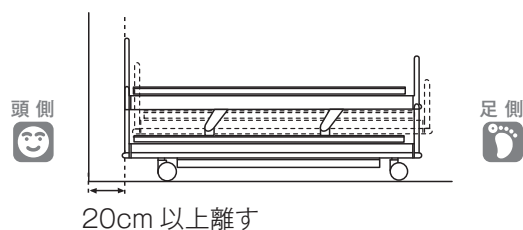
注意

■高さ調節や傾斜角度調節のとき、壁や梁、壁のコンセントなどにご注意ください



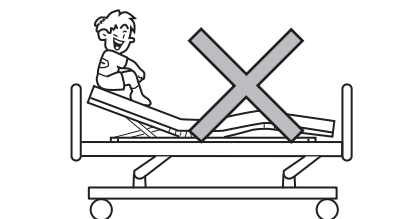
ベッドや壁・ゆかなどが破損・変形するおそれがあります。高さ調節や傾斜角度調節でベッドが壁や梁、電源プラグなどに当たらないことをご確認ください。

■ベッドは壁から 20cm 以上離して設置してください



高さ調節や傾斜角度調節のとき、メインフレームが前後に動作するため壁に当たり、ベッドや壁・ゆかが破損・変形するおそれがあります。

■あがっているボトムに乗らないでください

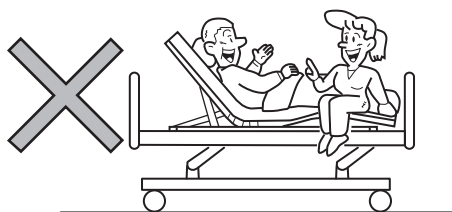


ボトムの支持部に大きな力がかかり、破損・変形の原因となります。

1 ベッドを使用する前に

⚠ 注意

■ 2人以上で使用しないでください



- このベッドは1人用の設計になっています。2人以上で使用するとベッドが破損してけがをすることがあります。このベッドの最大利用者体重は180kgです。一時的に、医師・看護師・介護者がベッドに乗る必要がある場合は、次の点を確認してください。
 - ・ベッドに乗る方の合計体重が180kgを超えていないこと。
 - ・ボトムがさがって水平（フラット）になり、最低高さになっていること。
- 医師・看護師・介護者がベッドに乗る機会の多い場合は、お買い上げの販売店またはパラテクノコールセンター（112ページ参照）に依頼して、ベッドの定期点検を受けてください。

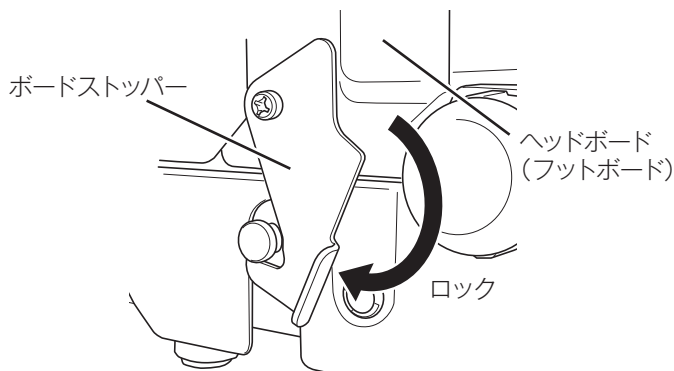
■ ベッドに安全動作荷重を超える荷重を加えないでください

ベッドが破損・変形して、けがをすることがあります。このベッドの安全動作荷重は255kg（2500N）です。安全動作荷重は、ベッドを安全に使用できる荷重であり、利用者体重とマットレスやオプションなどの付帯物の合計荷重です。

■ ベッド操作時は周囲を確認してください

ベッド操作によって周囲のものを破損させたり、ベッドが破損・変形したりする原因となります。

■ ヘッドボード・フットボードはボードストッパーのロックが掛かっていることを確認してください



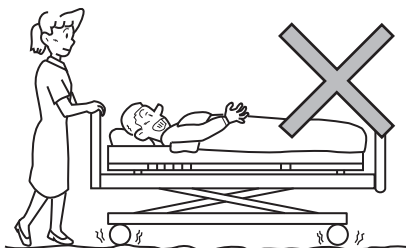
ボードの取付けが不完全な場合、ベッド移動でボードを押す（引く）ときや、身体を支えるためボードにつかまったときなどに不意に外れ、転倒などによるけがのおそれがあります。（31ページ参照）

注意

■サイドレールを持ってベッドを動かさないでください

サイドレールに大きな力がかかり、破損・変形するおそれがあります。

■段差のある場所での移動は避けてください



ベッドの破損・変形や故障の原因となります。やむを得ない場合は、ベッドをできるだけゆっくりと動かしてください。

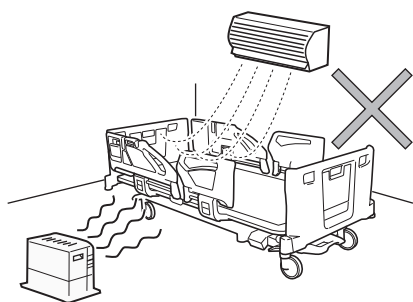
■ベッドには適合する手元スイッチ（別売）またはベッドナビ（別売）を取付けてください

- 誤って適合しない手元スイッチまたはベッドナビを取付けると、故障する原因となります。
- 同じシリーズのベッドであっても、仕様変更などにより、適合する手元スイッチまたはベッドナビが異なる場合があります。取付ける前に、適合する手元スイッチまたはベッドナビの品番および形状が同じであることをご確認ください。（85～90ページ参照）

■スプレータイプの殺虫剤をベッドに直接噴射しないでください

殺虫剤に含まれる溶剤によって、ベッドのキャスターや他の樹脂部分が破損・変色・溶解するおそれがあります。また、破損・溶解した部分で思わぬけがをするおそれがあります。

■故障の原因となりますので、次のような場所への設置は避けてください



- 直射日光が当たる場所
- 冷暖房器による冷気や暖気が直接当たる場所
- 過度の水蒸気や油蒸気のかかりやすい場所
- 高温・多湿・低温・乾燥した場所
- ほこり・煙・塩分・イオウ分・腐食性物質などの多い場所
- 換気の悪い場所
- 振動や衝撃のある場所
- ゆかが水平でない場所
- ゆかが丈夫でない場所







1 ベッドを使用する前に

3. シンボル定義















本製品では、以下のシンボルが記載されている場合があります。










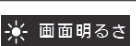









ベッド全体

シンボル	説明
	製造年月
	屋内使用
	取扱説明書参照
	B 形装着部
	保護接地マーク
	特定電気用品以外の電気用品向けの電気用品安全法 (PSE) に適合していることを示します。
IPX4	保護等級
	安全動作荷重
	最大利用者体重
	最大質量 (製品質量 + 安全動作荷重)
	CPR レバー
	身体の一部がすき間に入った状態で、ベッドの操作をしないでください。
	ベッド可動部でののはさまれに注意してください。

シンボル	説明
	サイドレールから身を乗り出さないでください。
	サイドレールのすき間で頭や首のはさまれに注意してください。
	サイドレールのストッパーのロック／解除状態
	サイドレールの操作は、ベッドの外側から看護する方が行ってください。
	ベッドで使用するマットレスなどは弊社が指定する適合品をご使用ください。
	可動部での指のはさまれに注意してください。
	延長フレームは、ストッパーのロックを確認して使用してください。
	キャスター 4 輪ロック
	キャスター 4 輪フリー
	アクセサリレール上のフックの耐荷重は 3kg
	センターホイールの ON/OFF の切換操作方法

DS ベッドナビ・ベッドナビ

シンボル	説明
	ホーム ボタンを押すと、ベッドナビはホーム画面を表示します。
	電動 CPR ボタンを押すと、ベッドナビは電動 CPR 画面を表示します。電動 CPR 画面でボタンを押すと、電動 CPR 動作をします。
	あがる ベッドの操作画面で、動作選択後に押すと、あがる動作をします。
	さがる ベッドの操作画面で、動作選択後に押すと、さがる動作をします。
	初期処理中および準備中
	AC (コンセント) 駆動。橙色で表示されます。
	AC (コンセント) 駆動 (バッテリー充電中)
	バッテリー駆動 (満充電)。水色で表示されます。
	バッテリー駆動 (残量低下)。水色で表示されます。
	バッテリー駆動 (残量不足)。水色で表示されます。
	ベッド ボタンを押すと、ベッドナビはベッドの操作画面を表示します。
	離床 CATCH ボタンを押すと、ベッドナビは離床 CATCH の設定画面を表示します。
	エアマットレス ボタンを押すと、ベッドナビはエアマットレスの設定画面を表示します。
	体重計 ボタンを押すと、ベッドナビは体重計の測定画面を表示します。

シンボル	説明
	眠り SCAN ボタンを押すと、ベッドナビは眠り SCAN の測定画面を表示します。
	戻る
	次へ
	設定
	アラームログおよび睡眠ログ
	エラー、警告、および注意
	言語
	操作音
	操作音無
	操作音有
	画面明るさ
	暗い
	普通
	明るい
	画面消灯
	画面ロック
	画面ロック有効／操作禁止
	画面ロック解除／操作可能
	画面ロック中

1 ベッドを使用する前に

シンボル	説明
	背角度
	膝角度
	ベッド高さ
	傾斜角度
	背あげ／さげ
	膝あげ／さげ
	高さあげ／さげ
	トレンデレンバーク／ リバーストレンデレンバーク
	カインド PLUS モーションあ げ／さげ
	カインドモーションあ げ／さげ
	背あげ／さげ (操作禁止)
	膝あげ／さげ (操作禁止)
	高さあげ／さげ (操作禁止)
	トレンデレンバーク／ リバーストレンデレンバーク (操作禁止)

シンボル	説明
	カインド PLUS モーションあ げ／さげ (操作禁止)
	カインドモーションあ げ／さげ (操作禁止)
	設定初期化
	操作禁止
	全ての操作禁止
	手元スイッチ操作禁止
	動作速度
	速い
	普通
	離床 CATCH：見守り
	離床 CATCH：離床
	離床 CATCH：端座位
	離床 CATCH：起上り
	離床 CATCH：離在床情報
	離床 CATCH：体重
	離床 CATCH：通知オフ
	離床 CATCH：一時停止
	離床 CATCH：通知オン

シンボル	説明
自動 (A) 自動	エアマットレス：かたさ自動 運転
手動 (M) 手動	エアマットレス：かたさ手動 運転
除湿	エアマットレス：除湿機能
圧切替	エアマットレス：圧切替機能
しっかり	エアマットレス：しっかりモード
▲	エアマットレス：▲表示。か たさが 14 よりかたく設定され ているときに表示します。
OFF	眠り SCAN：離床 CATCH 連 携オフ
ON	眠り SCAN：離床 CATCH 連 携オン
削除	眠り SCAN：記録データ消去
心拍	眠り SCAN：心拍
呼吸	眠り SCAN：呼吸
睡眠	眠り SCAN：睡眠
▼	眠り SCAN：▼表示 呼吸数が 4 以下のときに表示 します。
睡眠	眠り SCAN：睡眠
覚醒	眠り SCAN：覚醒
離床	眠り SCAN：離床

1 ベッドを使用する前に

医療従事者用・患者用操作スイッチ

シンボル	説明	シンボル	説明
	カインド PLUS モーションあげ／さげ		電動 CPR
	カインドモーションあげ／さげ		ナースコール
	トレンデレンバーグ／リバーストレンデレンバーグ		手元スイッチ操作禁止
	背あげ／さげ		全ての操作禁止
	膝あげ／さげ		脚下灯
	高さあげ／さげ		バッテリー状態
			最低高さでない
			USB

手元スイッチ

シンボル	説明
	カインドモーションあげ／さげ
	背あげ／さげ
	膝あげ／さげ
	高さあげ／さげ
	速い
	操作音
	設定

バッテリーユニット

シンボル	説明
	電源 OFF
	電源 ON
	欧州における WEEE 指令（廃電気・電子製品に関する欧州連合（EU）の指令）に該当する製品であることを示します。
	日本における資源有効利用促進法に該当する製品であることを示します。
	注意：取扱い時に注意事項があります。付属文書を参照してください。

補助コンセント

シンボル	説明
	一般的な禁止事項を示します。記載の内容を守ってご使用ください。
	発煙、発火の危険があることを示します。記載の内容を守ってご使用ください。
	踏付け禁止を示します。
	特定電気用品向けの電気用品安全法（PSE）に適合していることを示します。

1 ベッドを使用する前に

4. ベッドの準備

運搬治具の取外し

ベッドを初めて使用する前に、ベッド本体に付いている保護用の運搬治具を取外してください。

※運搬治具は、頭側と足側の左右各1ヶ所（合計4ヶ所）にあります。

■使用工具

※付属されていません。お客様でご用意ください。



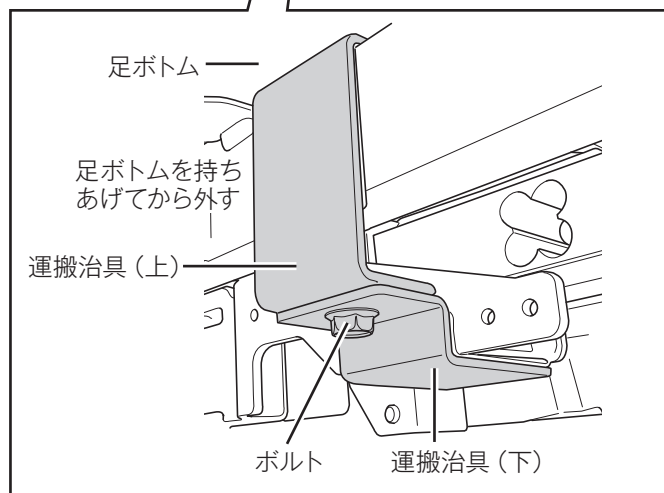
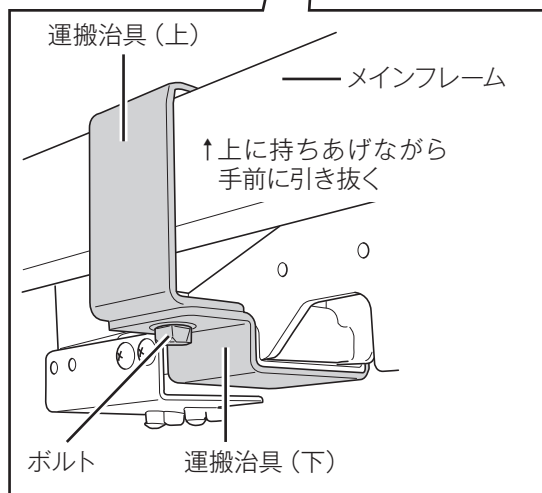
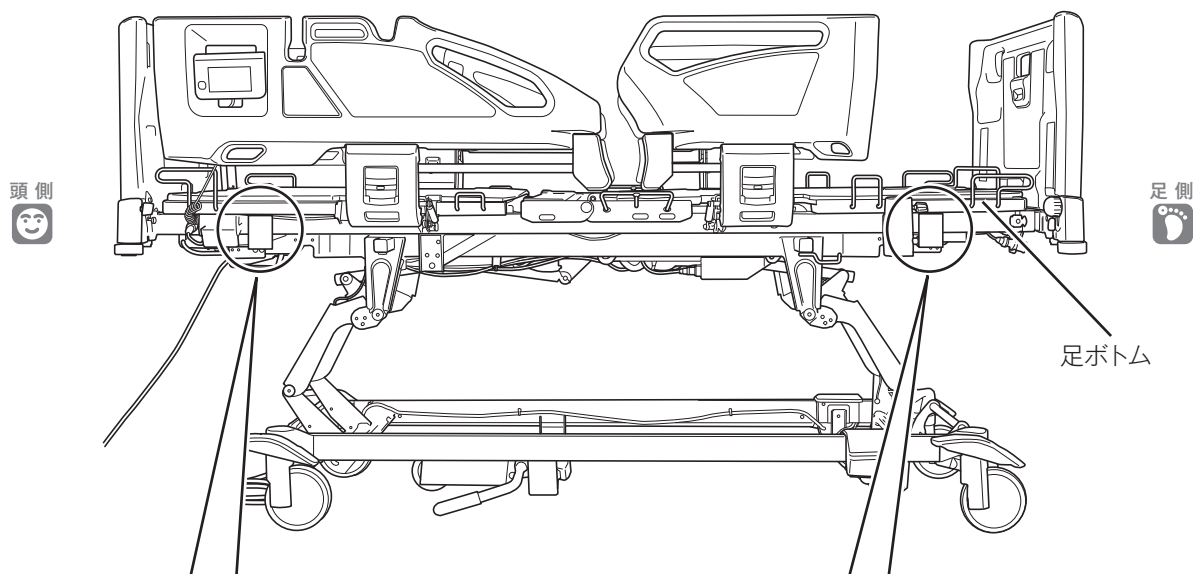
スパナ (対辺 13mm)



けい こく
警 告

運搬治具は取外してください。通知機能を起きあがり設定している場合は正しい通知ができず、転落・転倒してけがをすることがあります。また、体重計を使用した場合は、正しい測定できません。

1. 電源プラグをコンセントに差込み、ベッドの高さを作業しやすい高さまであげてください。
44 ページ「電源の接続」、58 ~ 62 ページ「医療従事者用操作スイッチの使いかた」を参照してください。
2. 対辺 13mm のスパナを使用してボルトをゆるめ、運搬治具（下）を外してください。
3. 頭側の場合は、運搬治具（上）を持ち上げながらメインフレーム手前側に引き抜いてください。足側の場合は、足ボトムを持ち上げてから、外してください。

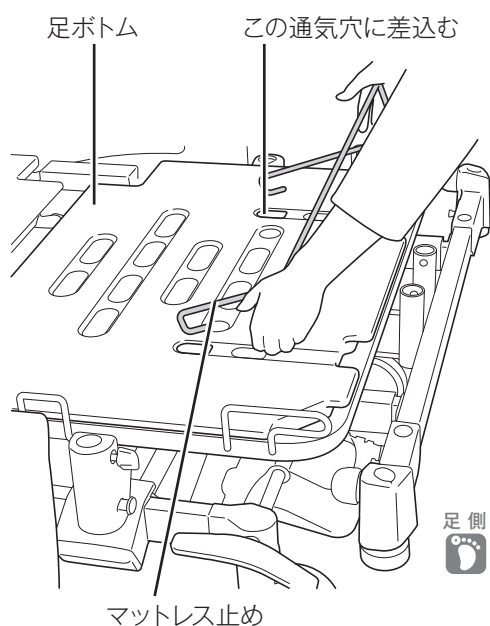


マットレス止めの取付け

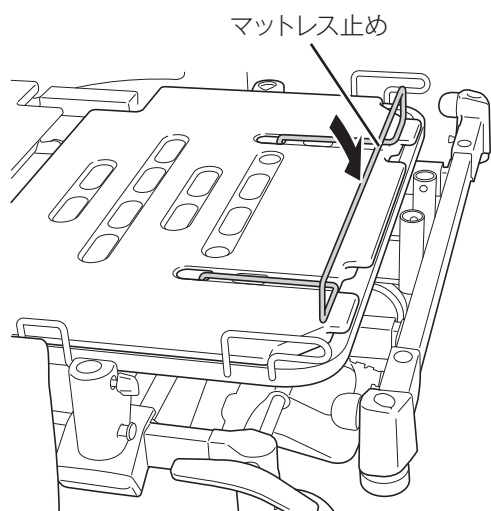


けい
告

- マットレス止めを持って足ボトムを持ちあげないでください。マットレス止めが外れて、足ボトムとメインフレームの間に手などがはさまれて、けがをするおそれがあります。
- マットレス止めは、指定の取付位置（下図参照）に取付けてください。指定以外の位置に取付けると意図せぬすき間が発生して、はさまれてけがをするおそれがあります。



1. 左図を参照して、足ボトムの通気穴にマットレス止めの先端を斜めに差込んでください。

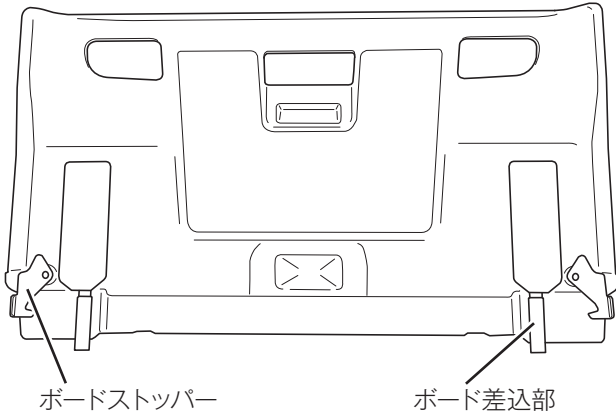


2. マットレス止めを左図の矢印方向におろしてください。
3. マットレス止めを内側から外側へ軽く押し、確実に取付いていることを確認してください。

1 ベッドを使用する前に

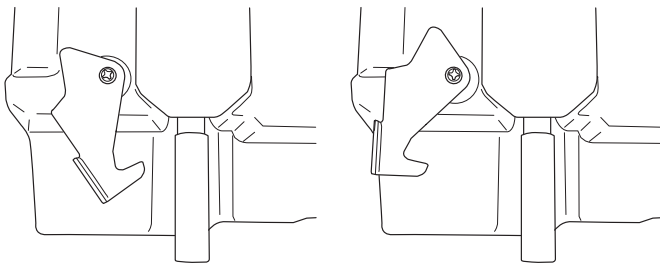
ヘッドボード・フットボードの取付け・取外し

ヘッドボード・フットボードは取付け・取外しが可能です。洗髪などのときにはヘッドボードを、下肢訓練、足浴などのときにはフットボードを取外してご使用ください。



「ロック」位置

「解除」位置

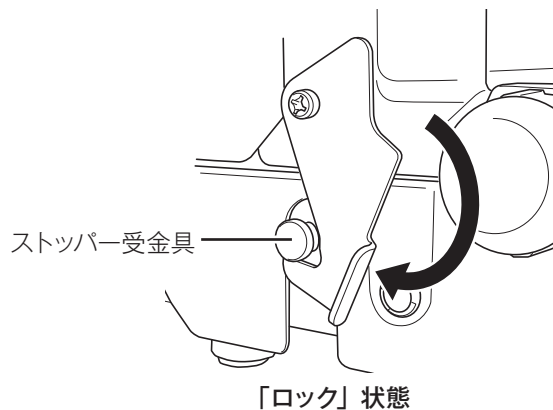
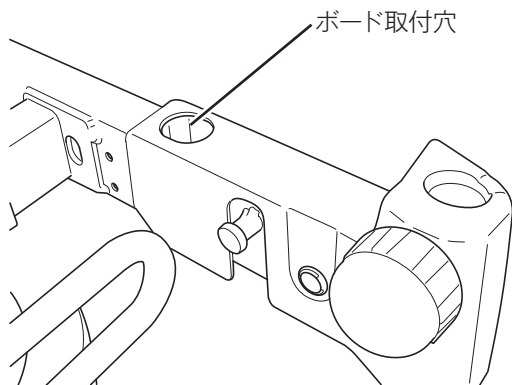


< 取付方法 >

1. ボードストッパーを解除の位置にしてください。
2. ヘッドボード・フットボードのグリップをつかんで持ちあげ、ボード差込部をベッド本体のボード取付穴にあわせて確実に差込んでください。
3. ボードストッパーをストッパー受金具にしっかりと引っ掛けて、ロック位置にしてください。(2ヶ所)
4. ヘッドボード・フットボードを軽く引き上げて、ロックされたことを確認してください。

< 取外方法 >

1. ボードストッパーをストッパー受金具から外し、解除の位置にしてください。
2. ヘッドボード・フットボードのグリップをつかんで真上に持ち上げると取外することができます。

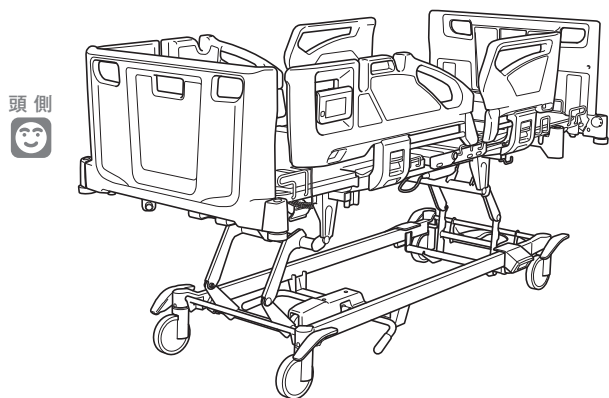


注意

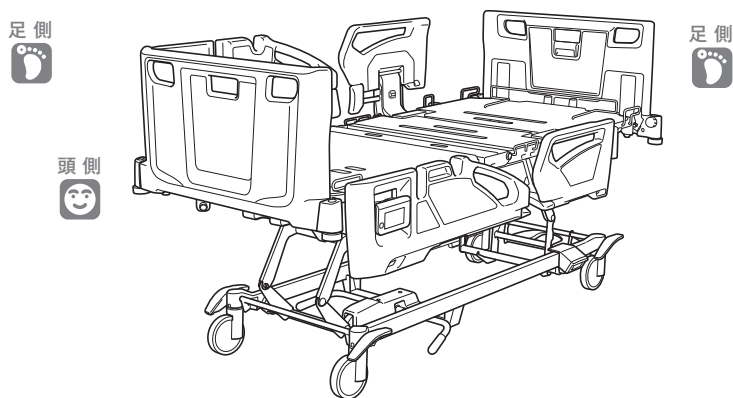
- ヘッドボード・フットボードを取付けるときは、ボードストッパーのロックが掛かっていることを確認してください。ロックが掛かっていないと、ベッド移動時などにボードが外れて転倒し、けがをするおそれがあります。
- ボード取付穴以外の穴に取付けないでください。取付けが不十分になり、ボードががたついたり外れたりして、けがをするおそれがあります。
- ヘッドボード・フットボードを取外すときは、ボードが傾いた状態で無理に持ち上げないでください。ボード差込部が変形するおそれがあります。

サイドレール

- サイドレールは左右2ヶ所ずつ計4ヶ所あります。
- 患者さんのベッドからの転落を予防します。



あげた状態



さげた状態

- サイドレールとボトム・マットレスのすき間に身体の一部（特に頭や首）が入らないように注意してください。すき間にはさまれたり、入ると抜けなくなったりして、けがをするおそれがあります。特に、予測できない行動をとると思われる方や体位を自分で保持できない方には十分注意してください。

- サイドレールの操作は、ベッドの外側から看護の方が行ってください。患者さんなどがベッドの内側から操作すると、サイドレールが急にさがるとしてベッドから転落し、けがをするおそれがあります。

- あげた状態のサイドレールに患者さんを寄り掛かせないでください。患者さんがバランスを崩すなどして転落し、けがをするおそれがあります。

- 厚みのあるマットレスを使用する場合、相対的にサイドレールが低くなり、サイドレールを乗り越えやすくなるのでご注意ください。

- さげた状態のサイドレールに足を掛けしないでください。ベッドが倒れて、けがをするおそれがあります。

- サイドレールをあげる際は、ロックが掛かったことを確認してください。ロックが不十分な場合、サイドレールが不意にさがり、ベッドから転落するなどしてけがをするおそれがあります。

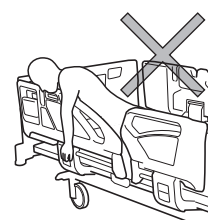
- ラインのはさまれに注意してください。サイドレールを操作する際などに、サイドレールとマットレスの間にはさまれてラインが破損し、けがをするおそれがあります。

- サイドレールをさげた状態で高さ調節や傾斜角度調節を行う際、サイドレールの下に足を入れないでください。はさまれて、けがをするおそれがあります。

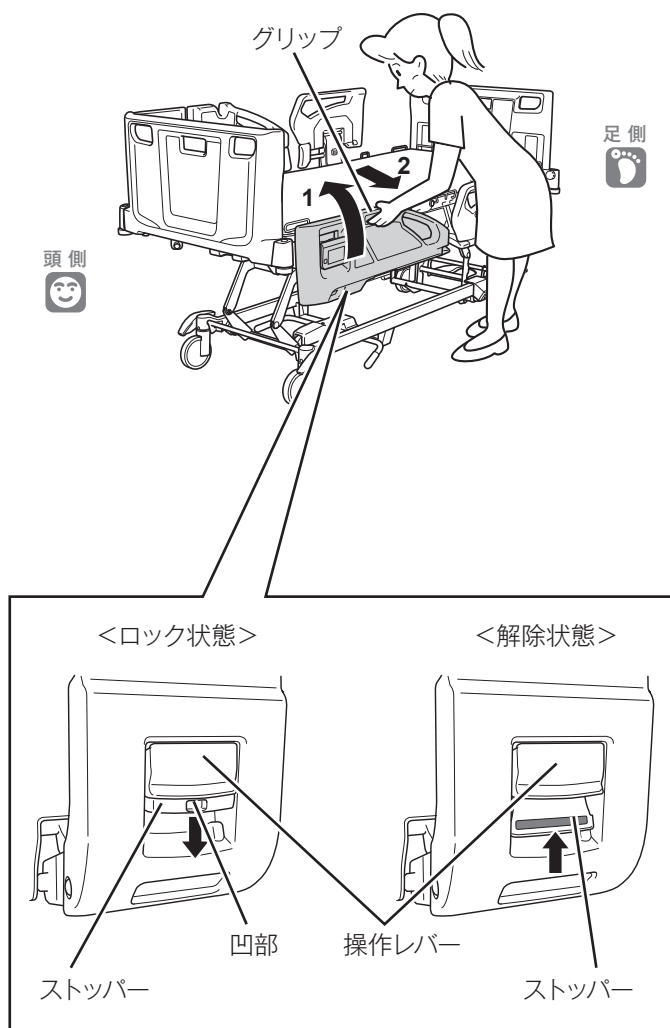
- サイドレールを操作する際は、患者さんの手足がサイドレールとボトムのすき間に入っていないことを確認してください。すき間に入るとはさまれて、けがをするおそれがあります。

- サイドレールの可動部に指などを入れないでください。はさまれて、けがをするおそれがあります。

- 背ボトムがあがっている状態でサイドレールを操作する際は、注意して行ってください。背の角度によってはサイドレールが不意に動き、けがをするおそれがあります。

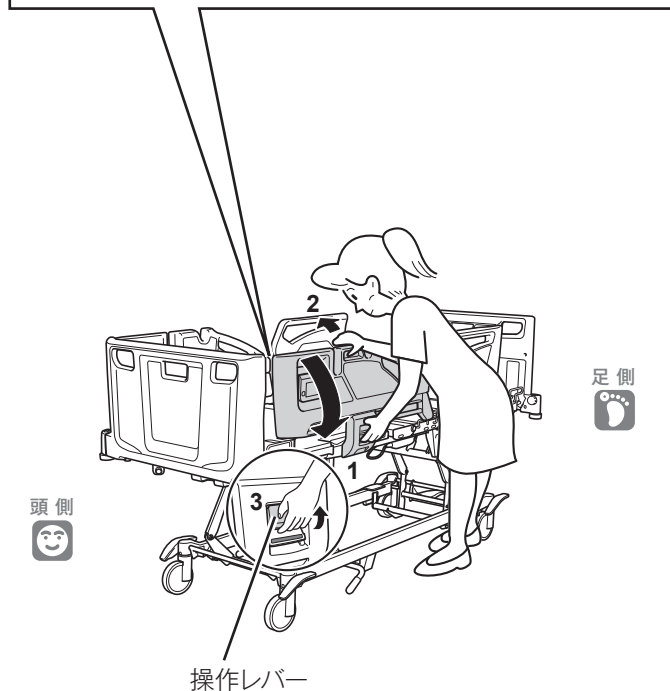


1 ベッドを使用する前に



<サイドレールのあげかた>

1. サイドレールを持ち上げて、「カチッ」と音がするまで確実に押込んでください。
2. ストッパーを橙色部分が見えなくなるまで上にあげて、確実に固定してください。(ロック状態)
3. サイドレールを手前に引いてロックが掛かっていることを確認してください。




<サイドレールのさげかた>

1. ストッパー中央部の凹部に手(指)を掛け、下にさげてください。(解除状態)
2. 片方の手でサイドレールのグリップを持ち、奥(ベッドの中央方向)へ押してください。
3. 奥へ押したまま、もう片方の手で操作レバーを手前に引き、サイドレールを支えながら止まるまでサイドレールをさげてください。

延長フレーム

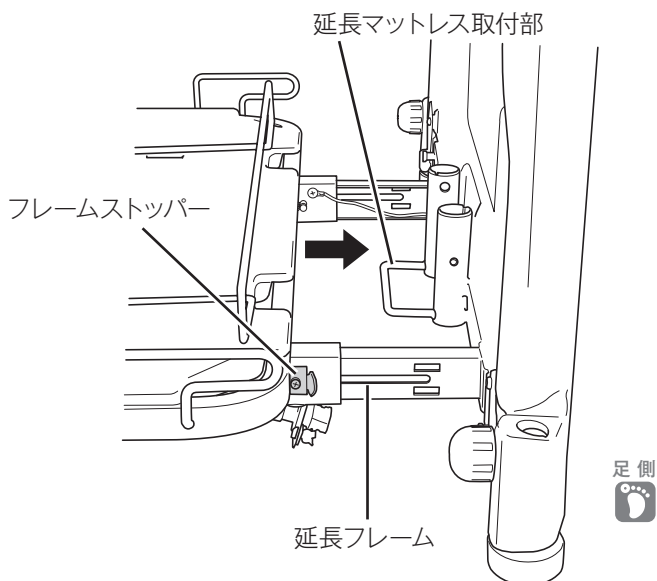
延長フレームを引き出し、延長マットレス（別売）を置くことにより、長身の患者さんに対応することができます。

	<ul style="list-style-type: none"> ●延長フレームを使用する際は、適合する延長マットレス（別売：98 ページ参照）を使用してください。延長フレームのすき間やサイドレールのすき間に身体の一部がはさまれて、けがをするおそれがあります。 ●延長フレーム使用時に離床グリップ（別売：84 ページ参照）を使用する際は、フットスペーサー（別売：99 ページ参照）を使用してください。離床グリップとフットボードのすき間に身体の一部がはさまれて、けがをするおそれがあります。
---	--

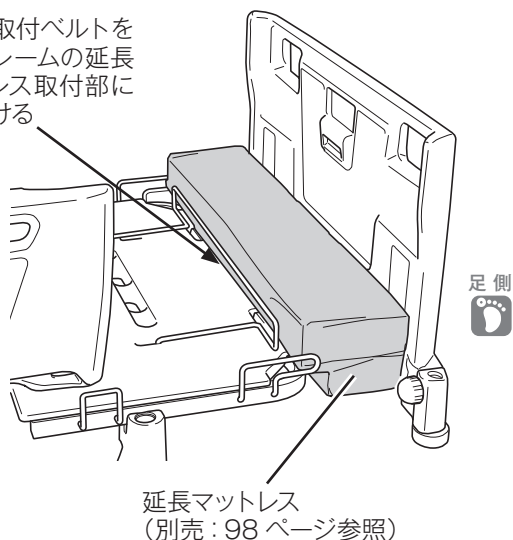


< 延長フレームの引き出し >

1. ベッド左右についているフレームストッパーを手前に引き出し、45°回転させロックを解除してください。
2. フットボード上部を持ち、図のように手前にいっぱい引き出してください。
3. 1と逆の手順で、フレームストッパーをロックの位置に戻してください。延長フレームを軽く押し、確実にロックされていることを確認してください。



底面の取付ベルトを延長フレームの延長マットレス取付部に引っ掛ける





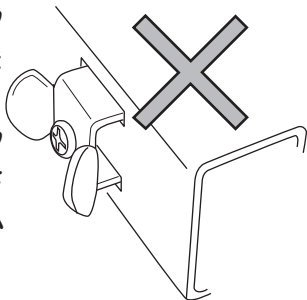
4. 延長マットレス（別売）の底面に付いている取付ベルト部分を延長フレームの延長マットレス取付部に引っ掛けてください。

1 ベッドを使用する前に

< 延長フレームの格納 >


1. 延長マットレス（別売）を取外してください。
2. ベッド両側のフレームストッパーを手前に引き出し、45°回転させロックを解除してください。（34 ページ参照）
3. フットボード上部を持ち、延長フレームを押し込んでください。
4. 2と逆の手順で、フレームストッパーをロックの位置に戻してください。延長フレームを軽く引き、確実にロックされていることを確認してください。


 警告 <small>けい ごとく</small>	延長マットレス（別売）の端に手や足、膝などをつかないようにしてください。支える部分がないため、バランスを崩し転倒して、けがをするおそれがあります。
--	---

 注意 <small>ちゅう い</small>	<ul style="list-style-type: none">●延長フレームを格納するときは、ベッド本体と延長フレームの間に腕や足などを入れないでください。はさまれて、けがをするおそれがあります。●フレームストッパーは確実にロックし、ベッド本体とフレームストッパーの間にすき間がないようにしてください。ベッド動作時や搬送時などに不意に延長フレームが飛び出し、けがをするおそれがあります。  <p>すき間のある状態</p>
---	--

キャスターロックの方法

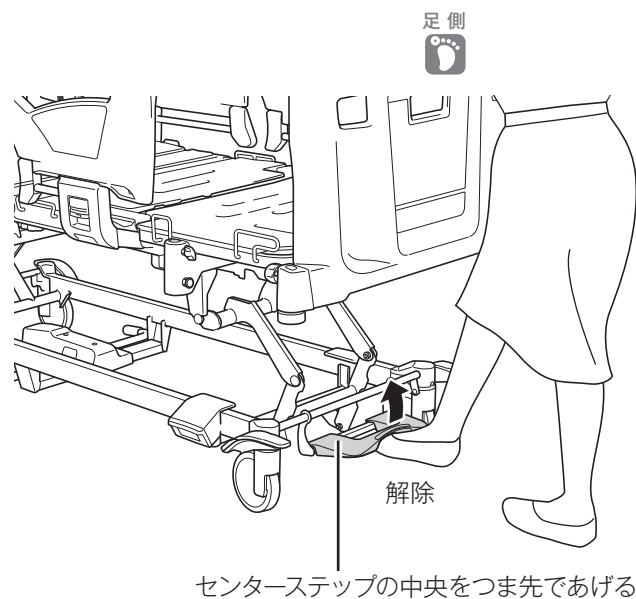
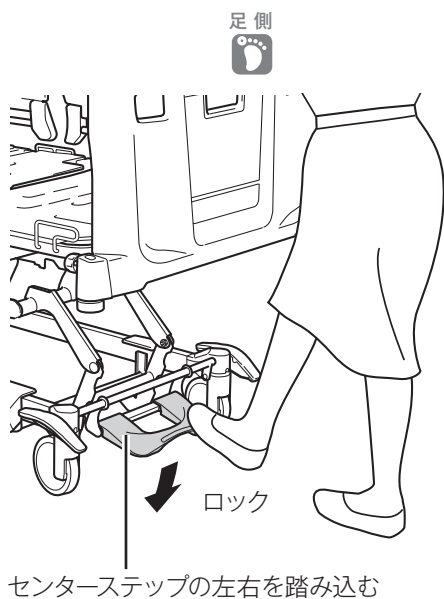
キャスターのロック操作は、足側中央にあるキャスター操作ステップ（センターステップ）と頭側・足側左右各2ヶ所にあるキャスター操作ステップ（サイドステップ）で行うことができます。

 警告	ベッドを移動させるとき以外は、キャスターにロックを掛けてください。患者さんがベッドに乗り降りする際に、ベッドが動いて思わぬけがをするおそれがあります。
---	---

 注意	<ul style="list-style-type: none"> ●キャスターロックを行う際は、キャスター操作ステップ（センターステップ・サイドステップ）とゆかなどとの間に、足などがはさまれないように注意してください。けがをするおそれがあります。 ●キャスターがロックされた状態でベッドを無理に動かさないでください。ベッドが故障したり、ゆかを傷つけたりするおそれがあります。 ●キャスター操作ステップ（センターステップ）でキャスターロックを行う際は、センターステップの中央を踏まないように注意してください。センターステップが破損・変形するおそれがあります。
---	---

<キャスター操作ステップ（センターステップ）>

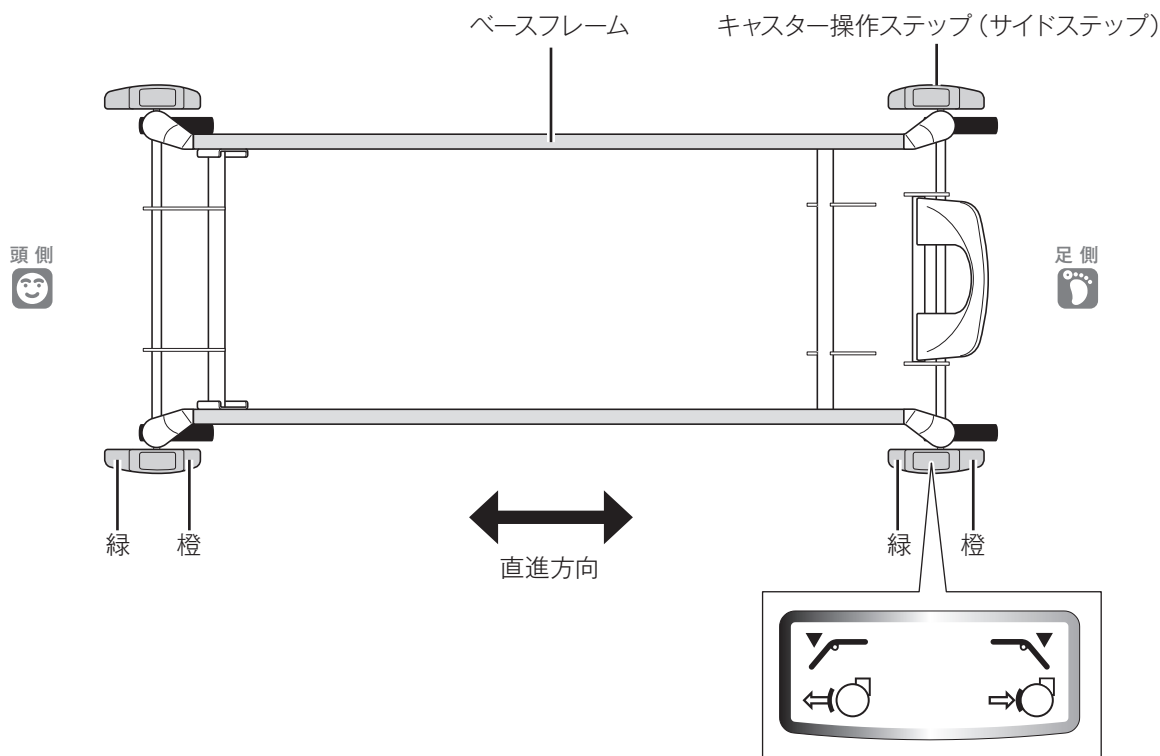
- センターステップの端（左右）を踏み込むと、キャスターの首振りと回転が4輪同時にロックされます。
- 解除するときは、センターステップの中央をつま先であげてください。



1 ベッドを使用する前に

<キャスター操作ステップ (サイドステップ) >

- 橙色のステップを踏み込むと、キャスターの首振りと回転が4輪同時にロックされます。
- 解除するときは、緑色のステップを踏み込んでください。

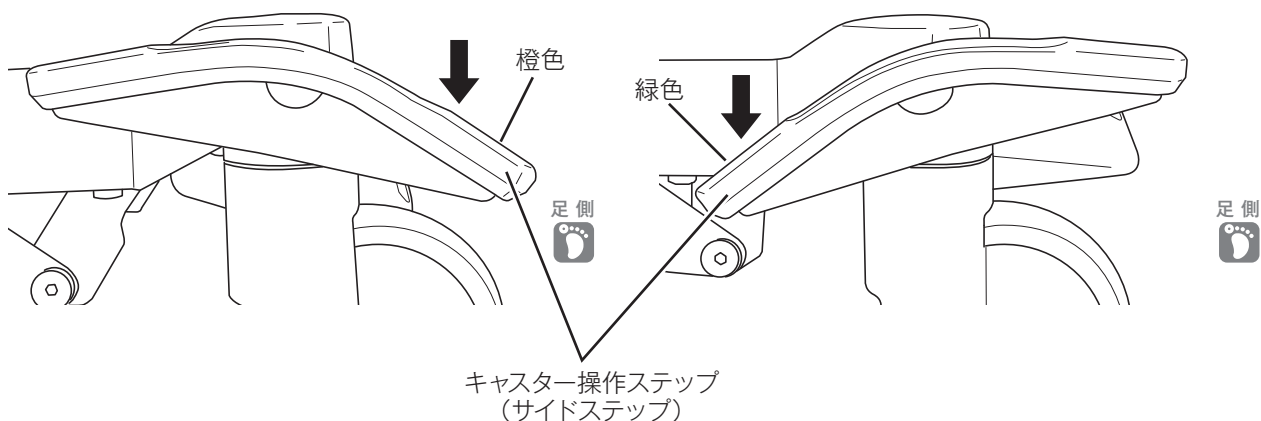


■ 4輪固定 (ロック)

橙色のステップを踏み込むと4輪すべての首振りと回転がロックされます。

■ 4輪解除 (フリー)

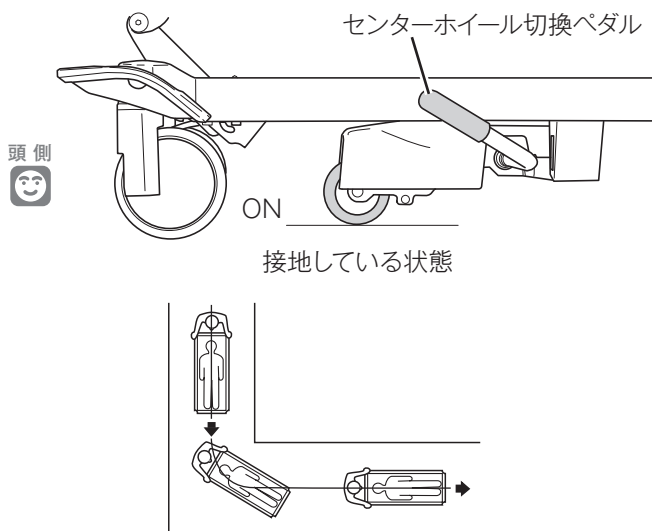
緑色のステップを踏み込むとロックが解除され、4輪すべての首振りと回転が可能になります。



キャスターは定期的に点検してください。使用の頻度や環境により、キャスターは摩耗・劣化します（高温多湿の環境下では、劣化が早まる場合があります）。ストッパーの機能が低下したり、車輪部に変色・亀裂などがあつたりする場合は、修理などのアフターサービスを依頼してください。

<センターホイールシステム> (KA-H7420 *のみ)

ベースフレーム中央部のセンターホイールを接地させることで、コーナリング・直進・旋回性を向上させ、ベッドの走行を安定させることができます。




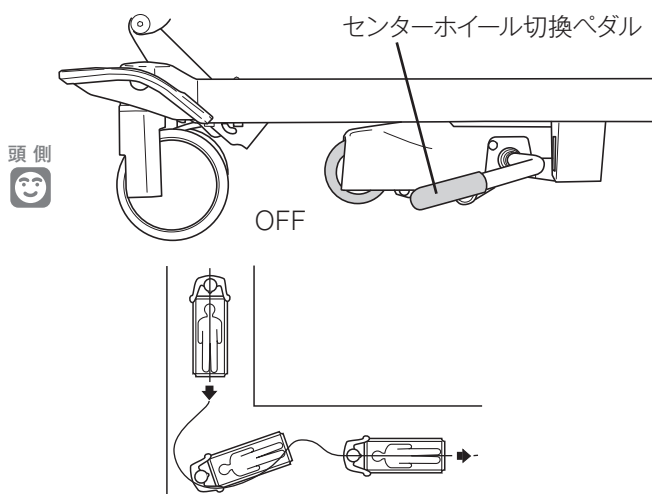
■センターホイール ON のとき

センターホイール切換ペダルをあげると「ON」になり、コーナリング・直進・旋回性が向上します。病室から病室などの比較的長い距離の移動に便利です。

●コーナーを曲がる場合

ベッド取回しの回転半径が小さく、方向がコントロールしやすいので、押す人の無駄な動きと力を必要としません。スピーディーな搬送が可能です。

	けい 告	こく 告	<p>カーブでのスピードの出しすぎに注意してください。ベッドが転倒して、けがをするおそれがあります。</p>
---	-----------------------	-----------------------	--


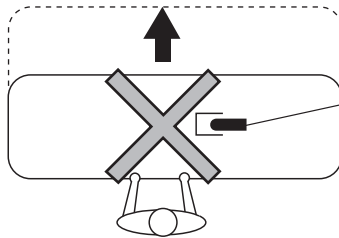


■センターホイール OFF のとき

センターホイール切換ペダルをさげると「OFF」になり、あらゆる方向（横方向にも）に移動できるようになります。病室内などの狭い場所などでの短い距離の移動に便利です。

●コーナーを曲がる場合

カーブでベッドの向きを変えるため、いったんカーブの外側にまわり込む人の動きと、ベッドを抑え込む力が必要です。

	ちゅう 意	<p>●センターホイールが「ON」のときは、ベッドを横方向に無理に動かさないでください。故障の原因となります。横移動させるときは、センターホイールを「OFF」にしてください。</p> <p>●センターホイール切換ペダルに乗らないでください。破損・変形したり、故障したりするおそれがあります。</p>	
---	------------------------	---	--

1 ベッドを使用する前に

アクセサリールール

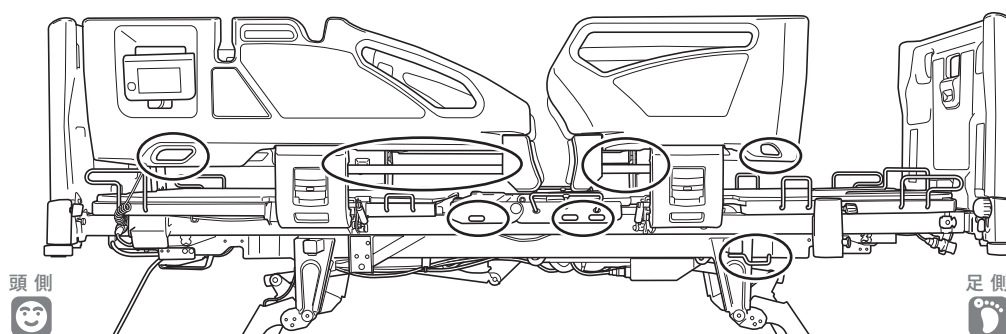
アクセサリールールはベッド左右の下記の場所に付いています。ハルンバッグなどを掛けてご使用ください。

- 腰ボトム側面に左右各1ヶ所、膝ボトム側面に左右各2ヶ所（計6ヶ所）
- メインフレームに左右各1ヶ所（計2ヶ所）
- 頭側サイドレール（左右）、足側サイドレール（左右）の下部に各2ヶ所（計8ヶ所）



ちゅうい
注意



アクセサリールールに 3kg以上の荷重をかけないでください。アクセサリールールの破損・変形の原因となります。



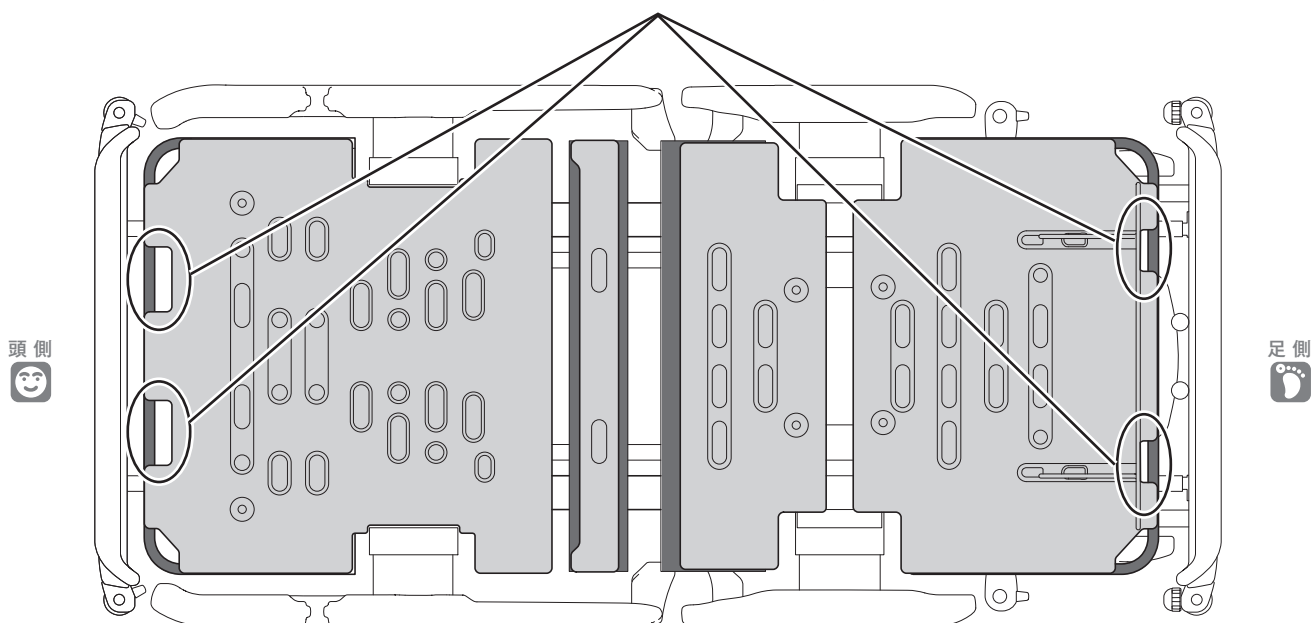
- 市販のハルンバッグなどはメーカーによって取付方法や外形寸法が異なりますので、ベッドにあったものを使用してください。
- ハルンバッグなどを掛ける場合、ベッドやサイドレール動作時に、バッグ本体やチューブなどはさみ込みがないように注意してください。
- ハルンバッグなどを掛ける場合、ハルンバッグなどがゆかに接触しないように注意してください。

抑制帯受

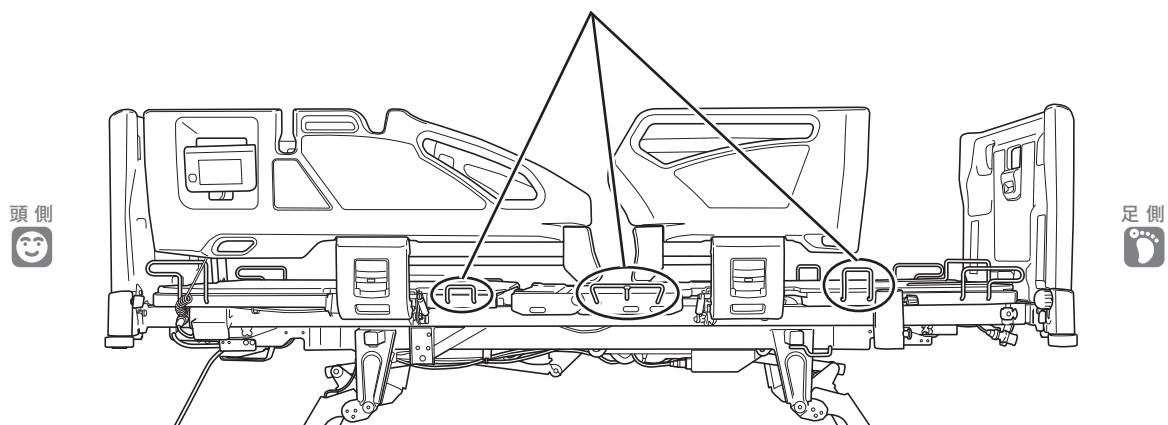
抑制帯を取付ける際は、下図の位置に取付けて使用してください。

 警告 <small>けい ごとく</small>	抑制した状態で、ベッドの操作をしないでください。抑制帯が患者さんを圧迫し、けがをするおそれがあります。
 注意 <small>ちゅう い</small>	ベッドメイキングやベッドからの乗り降りなどの際に、抑制帯受の穴などに手や指を誤って入れないように注意してください。けがをするおそれがあります。

背ボトム・足ボトム先端の抑制帯受



ボトム側面の抑制帯受（ボトムの左右にあり）



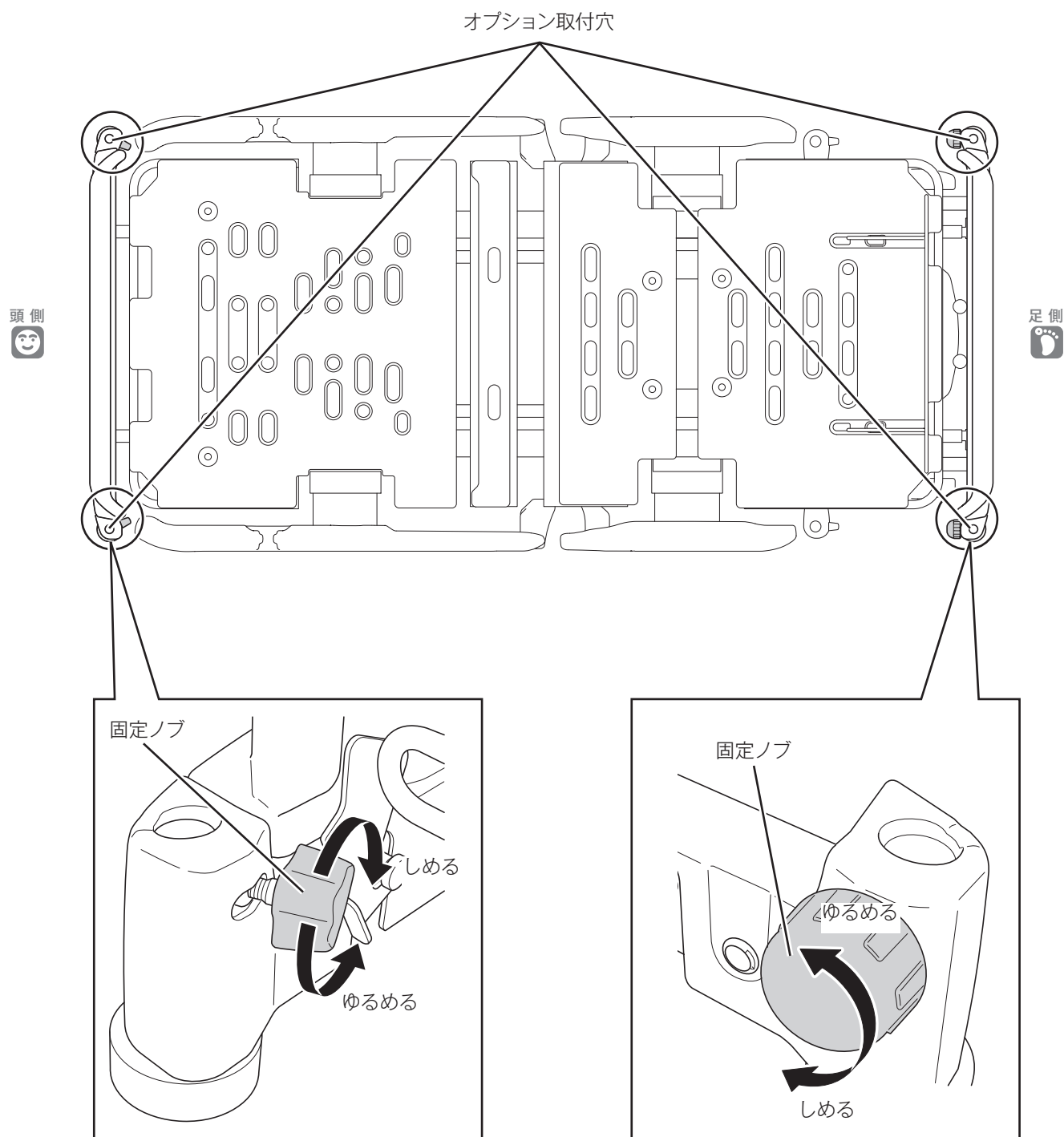
1 ベッドを使用する前に

オプション取付穴

オプション取付穴は、ベッドの頭側と足側に計4ヶ所設けてあります。IVポールや酸素ボンベホルダーなどを取付けることができます。

※オプション取付穴には固定ノブが付いています。

※頭側と足側では、固定ノブの形状が異なります。

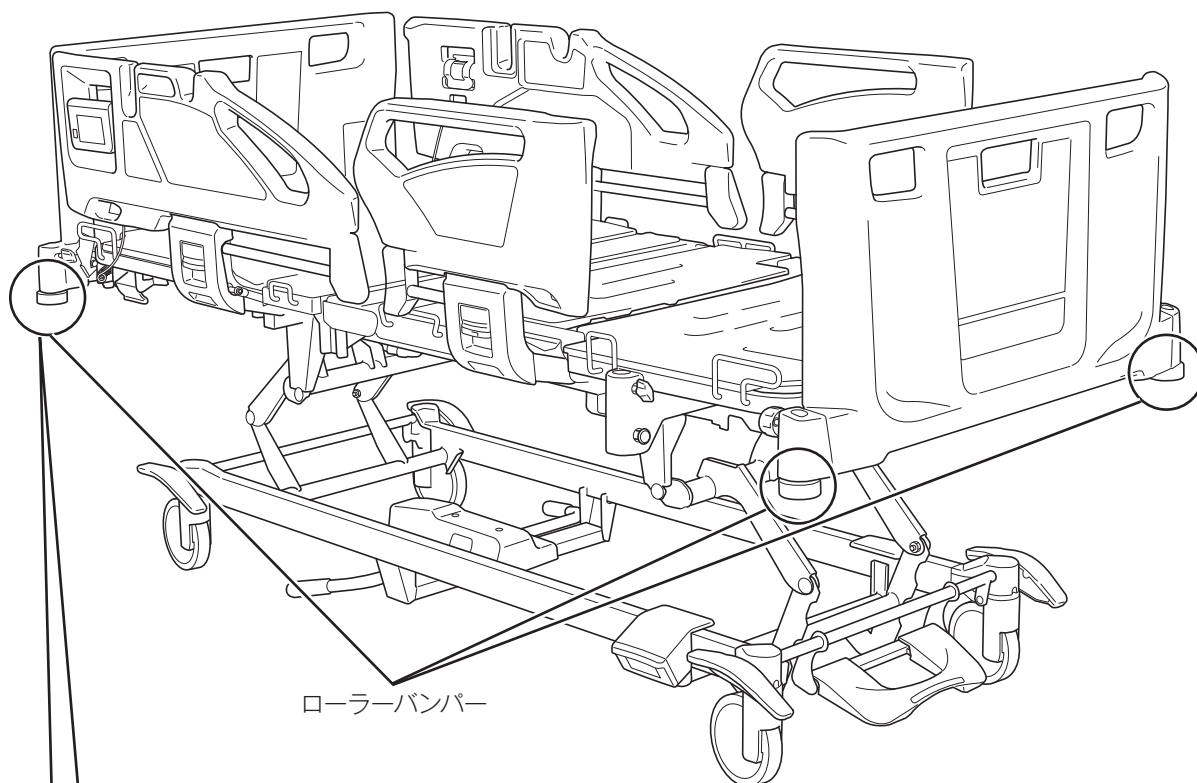


ベッドの傾斜操作をすると、オプション取付穴に差込んで使用しているオプションも傾斜しますので、注意して使用してください。

ローラーバンパー

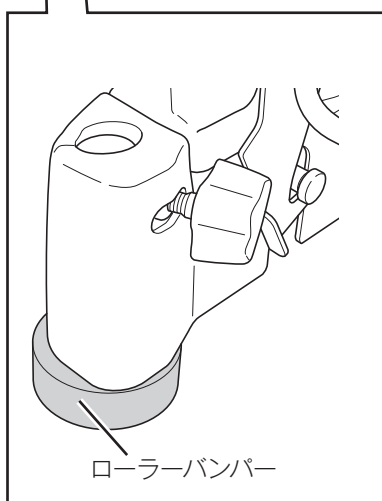
ローラーバンパーはベッドの四隅に付いています。ベッドを移動する際に、ベッドが壁や機器などにぶつかった場合の衝撃を緩和することができます。

頭側

足側


ローラーバンパー



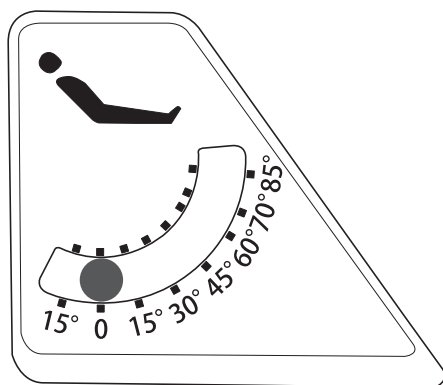
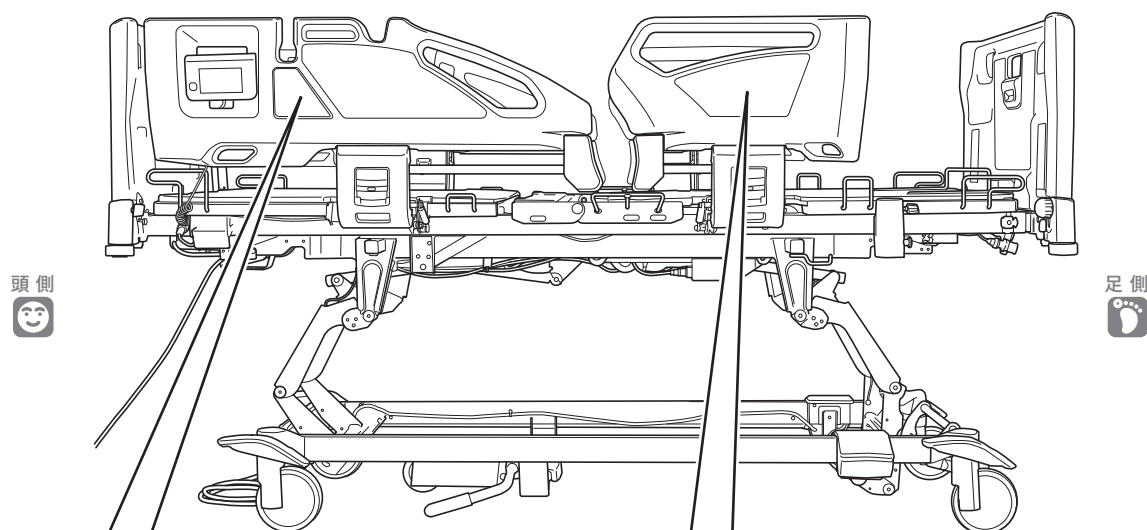
ローラーバンパー

1 ベッドを使用する前に

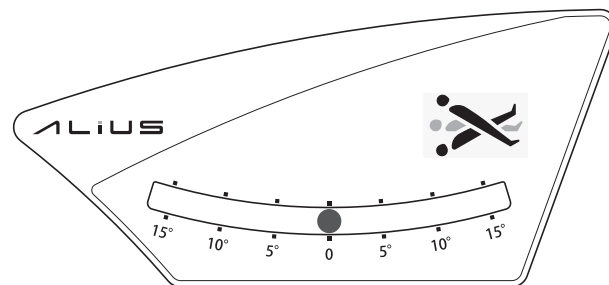
角度表示計

頭側サイドレールの外側に背角度計が、足側サイドレールの外側に傾斜角度計があります。それぞれ、背角度と傾斜角度を確認することができます。

※角度の数値は目安としてください。


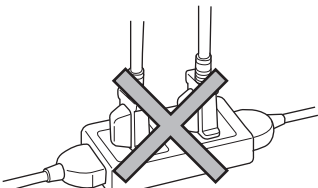


背角度計

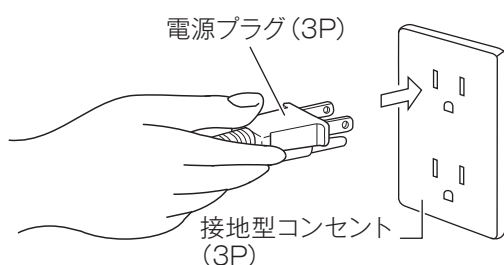


傾斜角度計

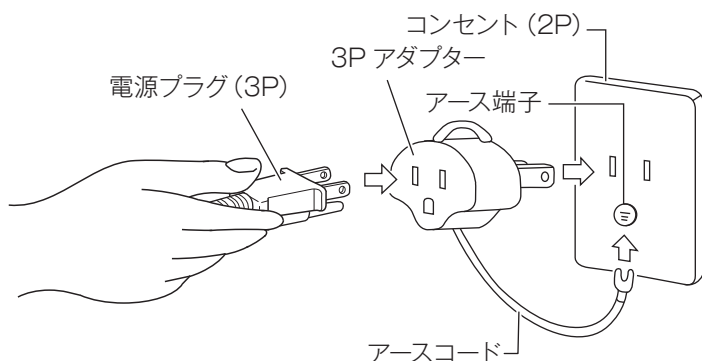
電源の接続

 <p>けい 告</p>	<p>タコ足配線は行わないでください。コンセントや延長コードの容量を超える電気製品を同時に接続して使用すると、電源コードや電源プラグが発熱して火災のおそれがあります。</p>	
--	---	---

<コンセントについて>

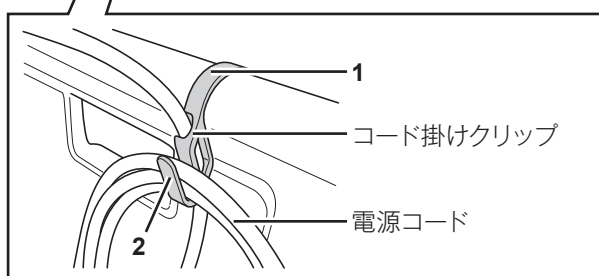
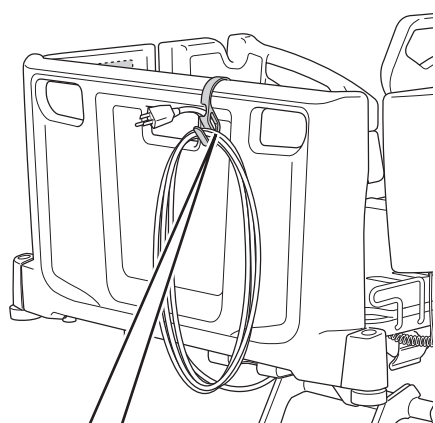


- 電源コンセントはベッド1台ごとに適正配線された単相交流 100V・15A 以上の接地型コンセント (3P) をご使用になり、電源プラグ (3P) をコンセントに差込んでください。



- このベッドを使用する部屋のコンセントが一般のコンセント (2P) の場合は、3P アダプター (別売) を使用してください。その際には必ず 3P アダプターに付いているアースコードの先端をコンセントのアース端子に確実に差込んでください。


<コード掛けクリップの使いかた>



■電源コードの掛けかた

ベッドを移動するときは、コード掛けクリップを使用してください。

1. 電源コードに付いているコード掛けクリップをヘッドボードに掛けてください。
2. あまった電源コードをコード掛けクリップに引掛けてください。

 <p>ちゅう い 注 意</p>	<p>コード掛けクリップを踏まないでください。破損するおそれがあります。</p>
---	--



電源コードを使うときは「■電源コードの掛けかた」の逆の手順で、電源コードを取外してください。

1 ベッドを使用する前に

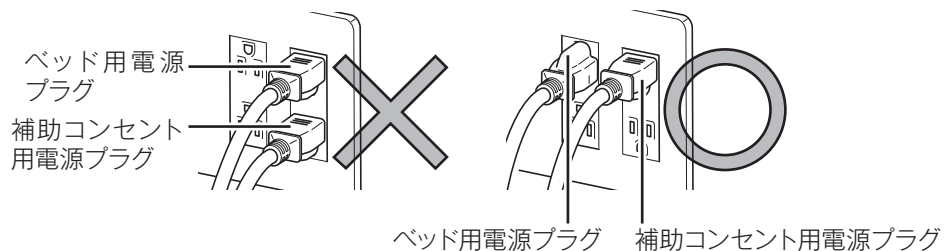
補助コンセントの使いかた

ベースフレーム足側の左右各1ヶ所に補助コンセント*)が付いています。医療従事者や患者さんがベッド周辺で使用する電気機器のコンセントとして使用することができます。

*) 定格電圧：AC125V 定格電流：15A 最大電力：1500W



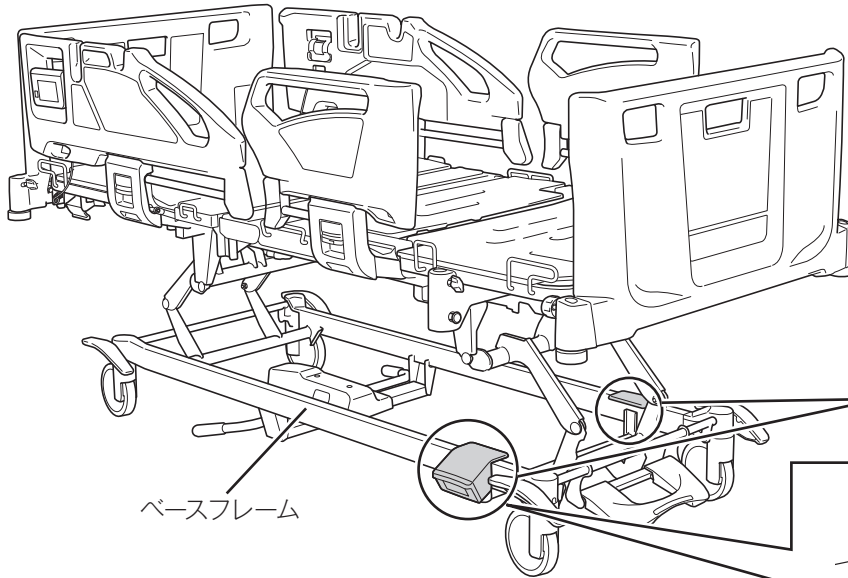
- 生命維持装置には使用しないでください。バッテリーによるバックアップがありませんので、停電や故障時などに電源の供給ができず、患者さんの容体に影響をおよぼすおそれがあります。
- 補助コンセント左右の合計 1500 Wを超える電気機器を接続しないでください。容量を超えて補助コンセントを使用すると、設備のブレーカーが作動したり、補助コンセント用電源コードや電源プラグが発熱して火災が発生したりするおそれがあります。
- ベッド上で使用する機器（エアマットレス、フットポンプなど）の電源コードを補助コンセントに接続する場合、ベッドの高さ・膝を最大まであげた状態で電源コードを配線してください。あげた状態で配線しないと、機器を使用中にベッド動作をした際に電源コードが引っ張られて、機器の転落、破損により、感電、けが、火災のおそれがあります。
- 補助コンセントを使用しないときは、補助コンセント用電源コードをベッド本体に直接巻き付けたり、くくりつけたりしないでください。ベッドを動作した際に補助コンセント用電源コードが引っ張られて断線するなどして、感電・けが・火災のおそれがあります。
- ベッド動作する際は、使用する機器の電源コードおよび補助コンセント用電源コードが引っ張られていないことを都度確認してください。電源コードが断線するなどして、感電・けが・火災のおそれがあります。
- 補助コンセント用電源コードを束ねて使用しないでください。発熱・発火のおそれがあります。
- 壁側のコンセント（2口以上）の同じパネル内にベッド用の電源プラグと補助コンセント用の電源プラグを同時に接続しないでください。壁側のコンセントが発熱して火災が発生するおそれがあります。





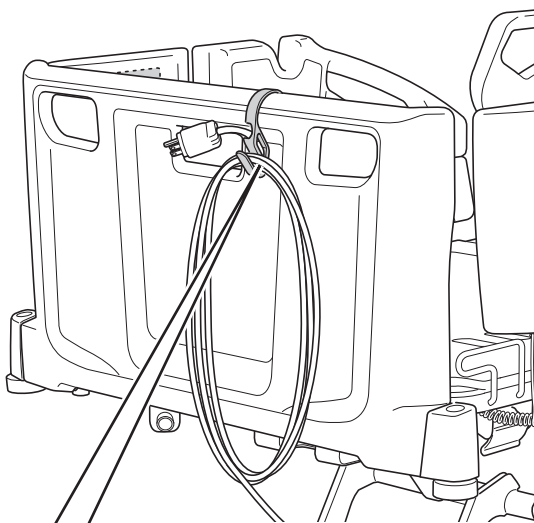
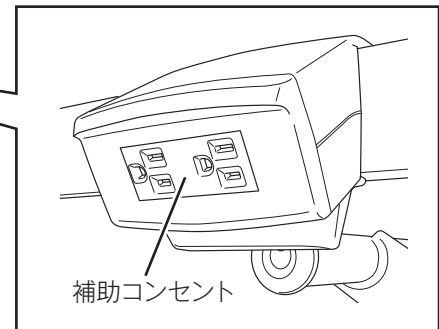
ちゅう い
注 意

補助コンセントを踏みつけたり、車いすなどをぶつけないでください。破損・変形するおそれがあります。



補助コンセント
※左右各1ヶ所にあります

ベースフレーム

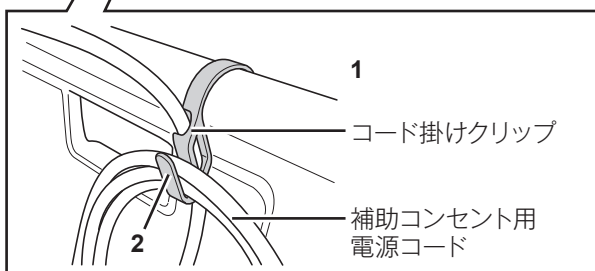


■補助コンセント用電源コードの掛けかた

ベッドを移動するときは、コード掛けクリップを使用してください。

1. 補助コンセント用電源コードに付いているコード掛けクリップをヘッドボードに引っ掛けてください。
2. あまった補助コンセント用電源コードをコード掛けクリップに引っ掛けてください。

※補助コンセント用電源コードを引っ掛けた状態でベッドの高さ調節をするときは、補助コンセント用電源コードが引っ張られていないことを確認してください。



ちゅう い
注 意

コード掛けクリップを踏まないでください。破損するおそれがあります。




補助コンセント用電源コードを使うときは、「■補助コンセント用電源コードの掛けかた」と逆の手順で、補助コンセント用電源コードを取外してください。

1 ベッドを使用する前に

手元スイッチ（RC-1850：別売）の取付け・取外し

このベッドには手元スイッチを取付けることができます。

※手元スイッチの詳細については、85～89ページを参照してください。

 <p>けい 警 こく 告</p>	<ul style="list-style-type: none">●ベッドと手元スイッチは、適合する組合せで使用してください。誤って適合しない組合せで使用すると、不意に動作してけがをしたり、故障したりする原因となります。（手元スイッチの品番や形状については、85～89ページを参照してください）●手元スイッチをベッドに取付ける際は、ベッドの電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。通電状態でベッドに差込むと、ベッドが不意に動作してけがをしたり、故障したりする原因となります。●手元スイッチを頭側の手元スイッチコンセントに差した場合、手元スイッチを手元スイッチ格納位置以外に掛けると、背をあげたときや傾斜したときに手元スイッチがずり落ちるなどして、破損・変形するおそれがあります。●手元スイッチを足側の手元スイッチコンセントに差した場合、手元スイッチをフットボードのグリップ部以外に掛けると、膝をあげたときや傾斜したときに手元スイッチがずり落ちるなどして、破損・変形するおそれがあります。
--	--

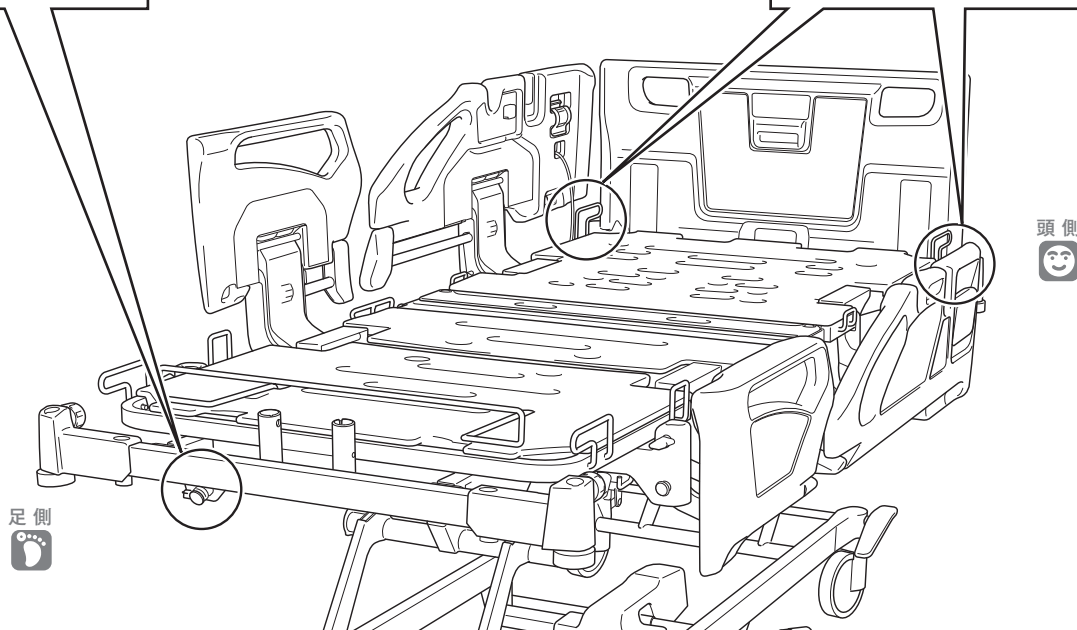
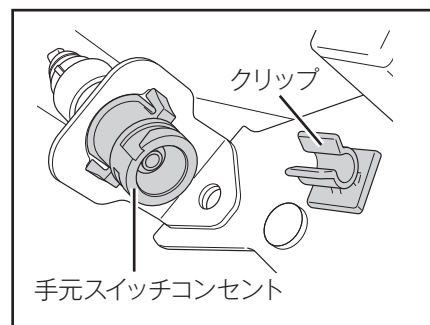
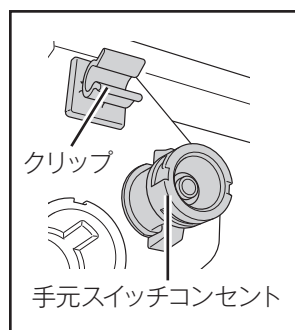
手元スイッチを取付ける手元スイッチコンセントは、ベッドのメインフレーム足側に1ヶ所、背ボトム裏側左右各1ヶ所*）にあります。

*）頭側サイドレールの左右各1ヶ所に付いている DS ベッドナビを取外す必要があります。

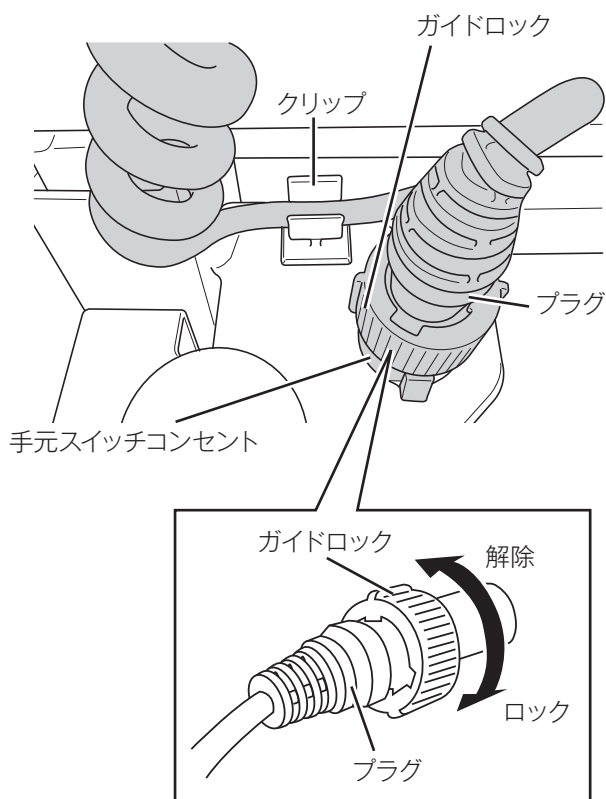
取外し・取付けについては48ページの手元スイッチの＜取付方法＞・＜取外方法＞を参照してください。



取外した DS ベッドナビは、元のベッドに取付けてください。異なるベッドに取付けた場合、体重の表示はできません。



※足側の手元スイッチコンセントで説明しています



- 取付け・取外し方法は、足側の手元スイッチコンセント・背ボトム裏側左右の手元スイッチコンセントともに共通です。
- 手元スイッチ（別売）・DS ベッドナビ・ベッドナビ（別売）のプラグの抜き差しは、まっすぐ行ってください。

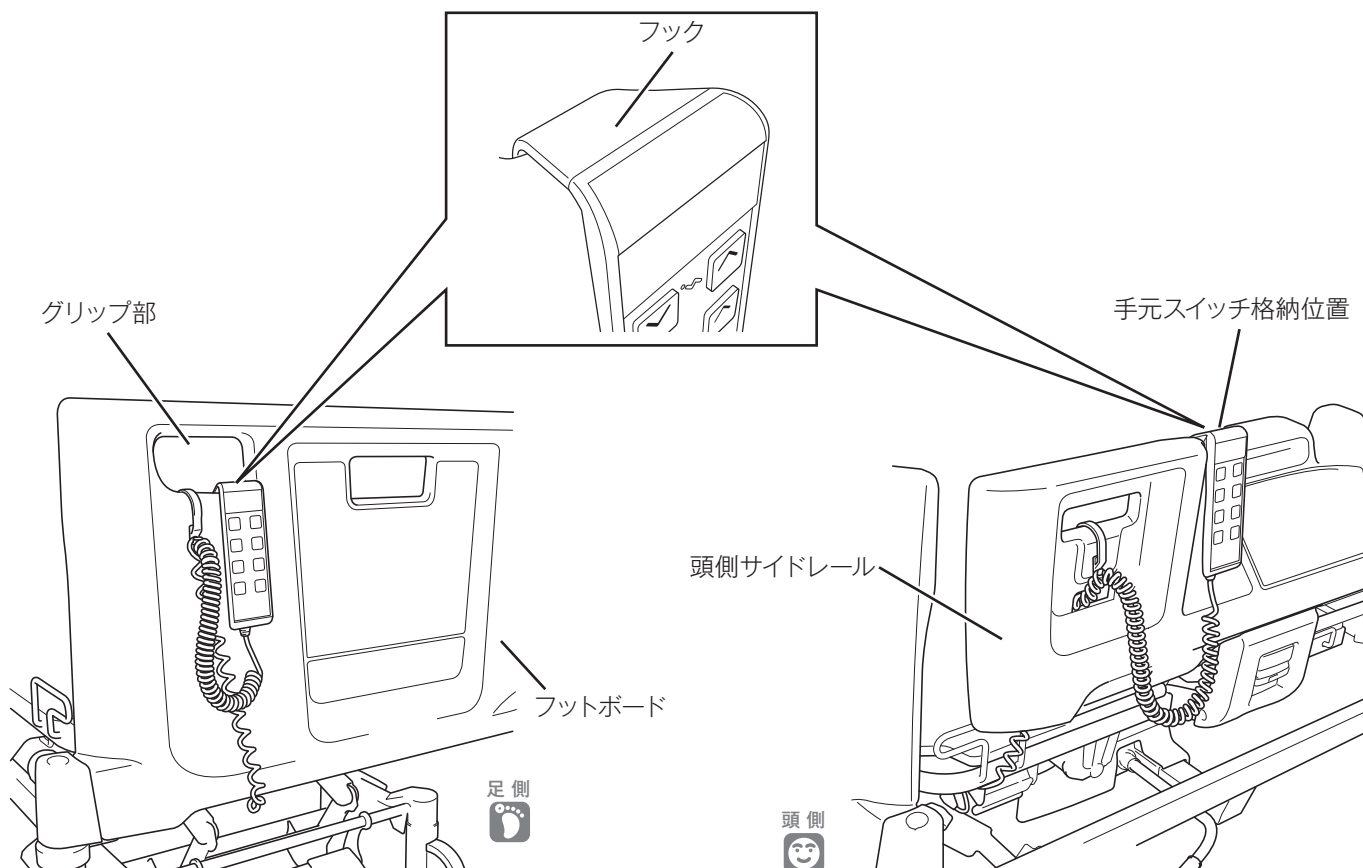
< 取付方法 >

1. プラグを手元スイッチコンセントに差込んでください。
2. プラグの抜けを防ぐため、ガイドロックを時計回りに回し、ロックしてください。
3. コードをクリップに引っ掛けてください。

< 取外方法 >


1. ガイドロックを反時計回りに回し、ロックを解除してください。
2. プラグを引抜いてください。
3. クリップからコードを外してください。

※手元スイッチにはフックが付いています。手元スイッチを使用しないときはフックを利用して、フットボードのグリップ部や頭側サイドレールの手元スイッチ格納位置に掛けてください。その際、患者さんが誤って操作ボタンに触れることを防ぐため、手元スイッチのボタンが外側に向くようにしてください。



2 機能と操作

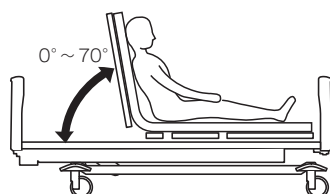
1. ベッドの機能

 <p>けい こく 警 告</p>	<ul style="list-style-type: none">●ポジション操作する際には、サイドレールのすき間や背ボトムとフレームの間に患者さんの頭・腕や足などが入っていないことを確認してください。はさまれて、けがをするおそれがあります。●サイドレールをさげた状態で高さ調節や傾斜角度調節を行う際、サイドレールの下に足を入れないでください。はさまれて、けがをするおそれがあります。●ベッドが傾斜した状態あるいは、ベッドの膝があがっている状態で、ベッドからの乗り降りはしないでください。転落・転倒して、けがをするおそれがあります。●ベッドの傾斜姿勢やカインド PLUS による背あげは、医師または看護する方の監視下で行ってください。思わぬけがをするおそれがあります。●ベッド操作時は、ラインなどに注意してください。ラインなどが引っ張られてけがをしたり、ラインや機器などが破損したりするおそれがあります。
--	---

背あげ・膝あげ・高さ調節

ベッドの背ボトム・膝ボトムの角度、ベッド全体の高さおよびベッドの傾斜角度（51 ページ参照）を電動操作で無段階に調節できます。（操作方法は 58 ～ 64 ページ参照）

< 背あげ >

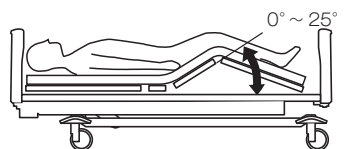


- 背ボトムの角度を調節できます。
ベッドの背もたれ部分を、0° から 70° まで調節できます。



DS ベッドナビ・ベッドナビ（別売）・手元スイッチ（別売）・背角度計には、ゆかに対する背ボトムの角度を表示します。

< 膝あげ >

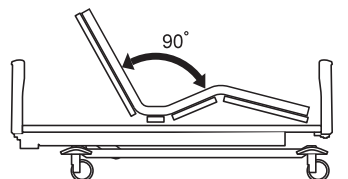


- 膝ボトムの角度を調節できます。
膝ボトムを、0° から 25° まで調節できます。



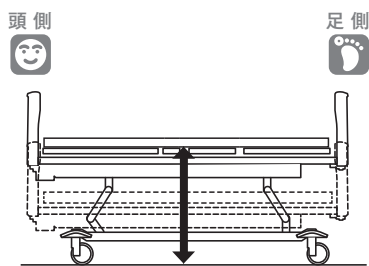
DS ベッドナビ・ベッドナビ（別売）・手元スイッチ（別売）には、ゆかに対する膝ボトムの角度を表示します。

< 角度制限機能 >



- 胸部や腹部にかかる圧迫感を軽減するため、背ボトムと膝ボトムの間の角度が 90° より小さくならないように動作します。

< 高さ調節 >



32.5cm ~ 75.5cm (KA-H7410 *)
35cm ~ 78cm (KA-H7420 *)

- ベッドの高さを調節できます。
ゆかからベッドのボトム上面までの高さを、
KA-H7410 *は 32.5cm ~ 75.5cm、
KA-H7420 *は 35cm ~ 78cm まで調節できます。

■ 「いったん停止」機能について

ベッドの高さをさげる場合に、ゆかからボトム上面までの高さ（ゆか高）が 42cm に達した時点で安全確保のため、警告音を鳴らしいったん停止します。再度さげるボタンを押すと、警告音を鳴らしながら最低高さまでさがります。

※ゆか高が 42cm のときにサイドレールをさげると、ゆかとサイドレールとのすき間が 14cm になります。

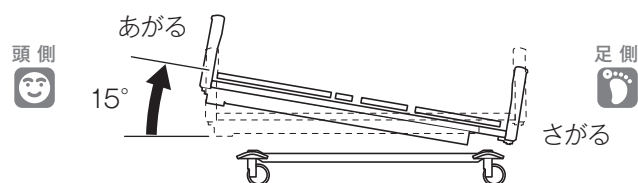


ゆか高が 42cm より低い位置で操作したときや、ベッドナビ（別売）の傾斜ボタンで操作した場合は、いったん停止せずに警告音を繰り返し鳴らしながら最低高さまでさがります。

2 機能と操作

傾斜

<傾斜（リバーストレndeンバーグ）>



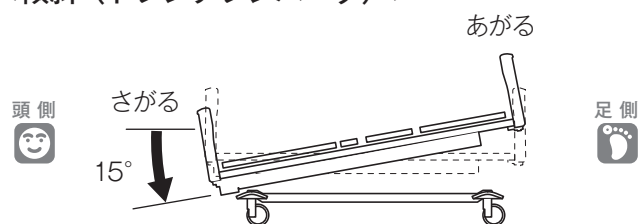
- ベッドの頭側を最大 15° まであげることができます。(61 ページ参照)

※高さが一番低い位置 (KA-H7410 *は 32.5cm、KA-H7420 *は 35cm) から 42cm 未満の間で傾斜させる場合、ベッド全体の高さが 42cm まであがってから傾斜します。



ベッドの頭側がさがっている状態から傾斜（リバーストレndeンバーグ）動作を行う場合、ベッドが水平になったときにいったん停止します。さらに傾斜させる場合には、操作ボタンを押し直すと、頭側があがります。

<傾斜（トレndeンバーグ）>



- ベッドの頭側を最大 15° までさげることができます。(61 ページ参照)

※高さが一番低い位置 (KA-H7410 *は 32.5cm、KA-H7420 *は 35cm) から 42cm 未満の間で傾斜させる場合、ベッド全体の高さが 42cm まであがってから傾斜します。



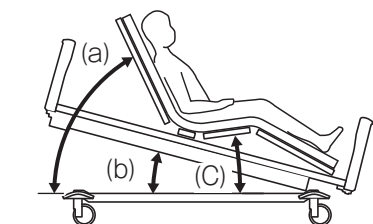
ベッドの頭側があがっている状態から傾斜（トレndeンバーグ）動作を行う場合、ベッドが水平になったときにいったん停止します。さらに傾斜させる場合には、操作ボタンを押し直すと、頭側がさがります。

カインド PLUS モーション

カインド PLUS モーション（以下、カインド PLUS）は、背あげ・膝あげ・傾斜を交互にまたは同時に行うことで、圧迫感やずれを軽減し、よりよい姿勢を保つことを目的とした機能です。以下のような特徴があります。

- 背あげ時の圧迫感を軽減します。
- 背あげ・さげ時の身体のずれを大幅に軽減します。
- 背あげ時の姿勢をしっかりと保持します。

<カインド PLUS あげ>



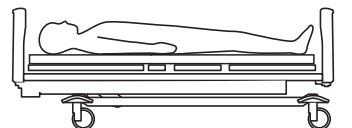
カインド PLUS あげは、下表の姿勢に向かって動作します。

動作部位	背ボトム の角度 (a)	ベッドの 傾斜角度 (b)	膝ボトム の角度 (c)
ポジション	65°	15°	5°



動作開始時の姿勢によって、ボタンを押した際に動く部位が変わります。

<カインド PLUS さげ>



カインド PLUS さげは、下表の姿勢に向かって動作します。

動作部位	背ボトム の角度 (a)	ベッドの 傾斜角度 (b)	膝ボトム の角度 (c)
ポジション	0°	0°	0°



動作開始時の姿勢によって、ボタンを押した際に動く部位が変わります。

2 機能と操作

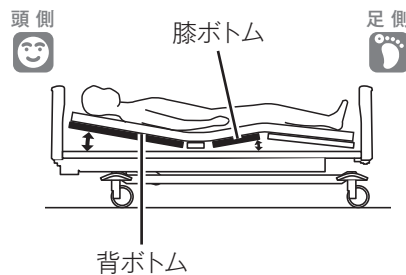
カインドモーション

カインドモーション(以下、カインド)は、背あげ・膝あげを交互にまたは同時に行うことで、圧迫感やずれを軽減し、よりよい姿勢を保つことを目的とした機能です。以下のような特徴があります。

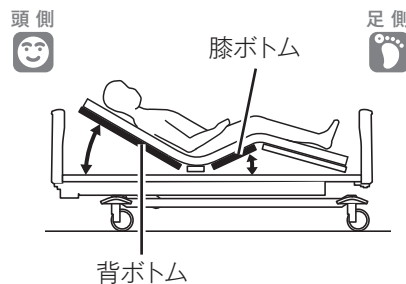
- 背あげ時の圧迫感を軽減します。
- 背あげ・さげ時の身体のずれを大幅に軽減します。
- 背あげ時の姿勢をしっかり保持します。

カインドあげ時

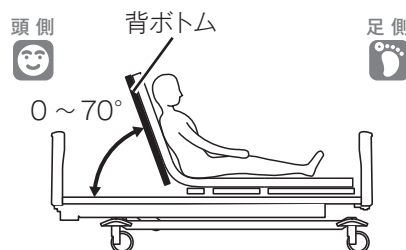
1. 背と膝が連動してあがります。



2. 膝が 25° で一度停止します。背が 45° まであがると膝が連動してさがり始めます。



3. 背が 70° まであがるのとほぼ同時に膝が 0° までさがります。



カインドさげ時

3. 背と膝が連動して、ほぼ同時に 0° までさがります。

2. 膝が 25° で一度停止します。背が 25° までさがると膝が連動してさがり始めます。

1. 膝があがり、背がさがります。



離床 CATCH

■ベッドに内蔵されたセンサーによりベッド上の荷重変化を計測し、転落・転倒などのリスクがある方の状態をお知らせします。

■ナースコール中継ユニット（デジタル式／アナログ式）（以下、中継ユニット（デジタル式／アナログ式）：別売）をナースコールへ接続することで以下の通知機能を使うことができます。

- 離在床情報*
- 見守り
- 離床
- 端座位
- 起きあがり

＊「離在床情報」は、中継ユニット（デジタル式）接続時のみ通知されます。ナースコールシステムのタイプによっては、表示されない場合があります。

各機能は中継ユニット（デジタル式／アナログ式）またはベッドナビを使用し、設定を行います。ナースコールへの接続と詳しい取扱いについては、中継ユニット（デジタル式／アナログ式）の取扱説明書をご確認ください。

■停電時は、離床 CATCH を含めたベッドの機能がすべて停止するため、離床 CATCH による状態のお知らせができません。必要に応じてベッドの電源プラグを非常電源に接続してください。

※中継ユニット（デジタル式）の使用中にベッドの電源が断たれると、脱落検知機能が働き、ナースコールの呼び出しが行われます。



- 本製品はあくまでも離床を把握するための補助機器であり、安全を保証するものではありません。患者さんの動作や寝る位置などによって、誤通知・不通知の可能性があります。万一発生した事故などによる損害について、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- ナースコールシステムの種類によって、使用する中継ユニット（デジタル式／アナログ式）が異なります。詳しくは販売店または直接弊社までお問い合わせください。
- 離床 CATCH を使用するためには、通知機能の設定が必要です。（74 ページ参照）
- ベッド設置後、最初に離床 CATCH を使用するときは、正しく通知することを確認してから使用してください。
- 通知しないなどの異常時は、離床 CATCH の使用を中止し、「1. 故障かな？と思ったら」（100～102 ページ）を参照して、ベッドや中継ユニット（デジタル式／アナログ式）のチェックをしてください。

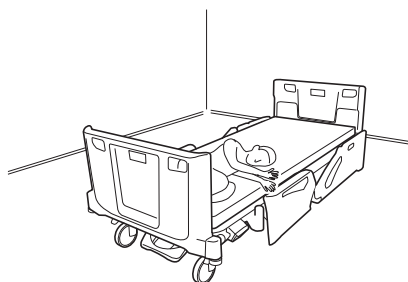
2 機能と操作

警告

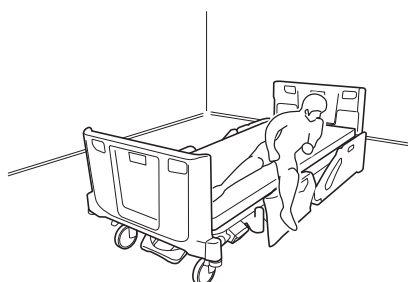
■ベッド動作中（背あげ・高さ調節など）は、患者さんが離床・起きあがりなどの動作をしても通知しません。また、ベッド動作中にベッドの乗り降りをする
と転落・転倒してけがをするおそれがあります。患者さんがベッド動作中に乗り降りすることが考えられる場合は、全ての操作禁止あるいは手元スイッチ操作禁止を設定してください（62 ページ参照）

■離床 CATCH を使用するときには、通知機能の設定（74 ページ参照）を正しく行ってください。正しく設定されないと、検知できず通知されない可能性があり、転落・転倒してけがをするおそれがあります。また、正しく設定をしていても以下の状況などによっては検知できず通知されない可能性があります

- 患者さんが4分以上の時間をかけてゆっくりと離床・起きあがりなどの動作をした場合
- ベッドに重いもの（おおむね体重の半分以上）を乗せた後に、患者さんが離床・起きあがりなどの動作をした場合
- 患者さんがベッドの足側に寝ていて起きあがった場合（起きあがり機能）



- 患者さんがベッドの頭側に手または肘をついて起きあがった場合（起きあがり機能）



■離床 CATCH を使用するときには、15 ~ 30°C、30 ~ 75% RH の環境下でご使用ください。検知精度が低下し、通知されない可能性があり、転落・転倒してけがをするおそれがあります

■ベッドとゆかの間には家具・備品などの障害物は置かないでください。検知できない可能性があり、転落・転倒してけがをするおそれがあります

! 警告

■患者さんがベッドに戻られたときは、ベッド上で5秒以上安静にしていないと検知できず、通知されない可能性があり、転落・転倒してけがをすることがあります

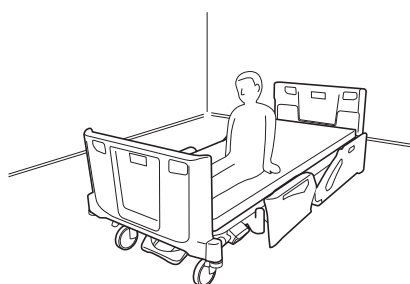
■ベッド動作後、患者さんがベッド上で5秒以上安静にしていないと検知できず、通知されない可能性があり、転落・転倒してけがをすることがあります



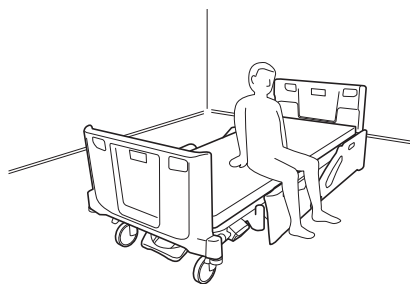
<誤通知について>

- 通知機能を正しく設定しないと、意図せず通知されることがあります。
- 以下の状況などでは、通知されることがあります。このような場合は、通知オフもしくは通知を一時停止にしてください。
 - ・患者さん以外の方がベッドに乗り降りした場合
 - ・患者さんが寝返りなどでベッドの足側にずれた場合
 - ・ベッドから3kg以上のものを降ろした場合
 - ・ボードなどをベッドから取外した場合
 - ・フットボードに体重をかけた場合
- 起きあがり通知機能は、背角度が大きくなるほど、患者さんが起きあがっていなくても、寝返りなどのわずかな動作で通知する可能性が高くなります。

2 機能と操作



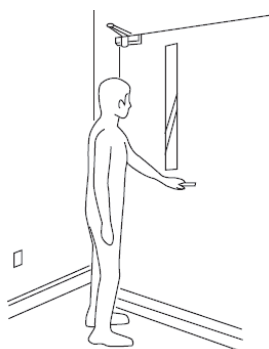
<起床>



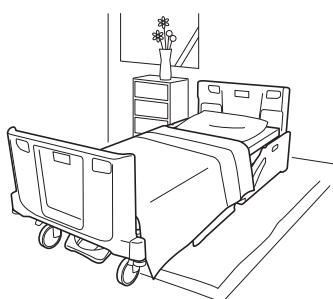
<端座位>



<離床>



<見守り>



<離在床情報>

<起床>

患者さんがベッド上で起床があった際に、ナースコールを通じて通知します。

※繰り返しの通知を避けるため、患者さんが起床があつて4分以内に続けて端座位をとるか離床した際は、最初の起床のみ通知します。なお、起床があつて4分以上経過してから端座位をとるか離床した際は、通知します。また、起床があつて再度ベッドに寝た場合は、4分以内でも再び起床があった際に通知します。

※患者さんの起床動作がなくても、寝返りなどで患者さんの身体がベッドから離れたりゆかに足を着いたりした場合は、端座位をとった、離床したと判断して、通知します。

<端座位>

患者さんがベッド上で端座位をとった際に、ナースコールを通じて通知します。

※繰り返しの通知を避けるため、患者さんが端座位をとって4分以内に続けて離床した際は、最初の端座位のみ通知します。なお、端座位をとって4分以上経過してから離床した際は、通知します。また、端座位を取って再度ベッドに寝た場合は、4分以内でも再び端座位をとった際に通知します。

※患者さんがベッド上で端座位をとらずにベッドから離床した場合、通知します。

<離床>

患者さんがベッドから完全に離床した際に、ナースコールを通じて通知します。

<見守り>

離床状態が設定時間以上過ぎた際に、ナースコールを通じて通知します。設定時間はベッドナビの場合：1分・3分・5分・10分・30分、ナースコール中継ユニット（NU-2000シリーズ）の場合：1分・5分・10分・30分・60分で可能です。

※患者さんがベッドから完全に離床した際に、ナースコールを通じて通知します。

<離在床情報>

患者さんが離床もしくは在床しているかどうかを常時ナースセンターで知ることができます。（ナースコールの通知なし）




離在床情報はナースコールシステムのタイプによって対応できない場合があります。対応機種については、お買い上げの販売店または直接弊社までお問い合わせください。

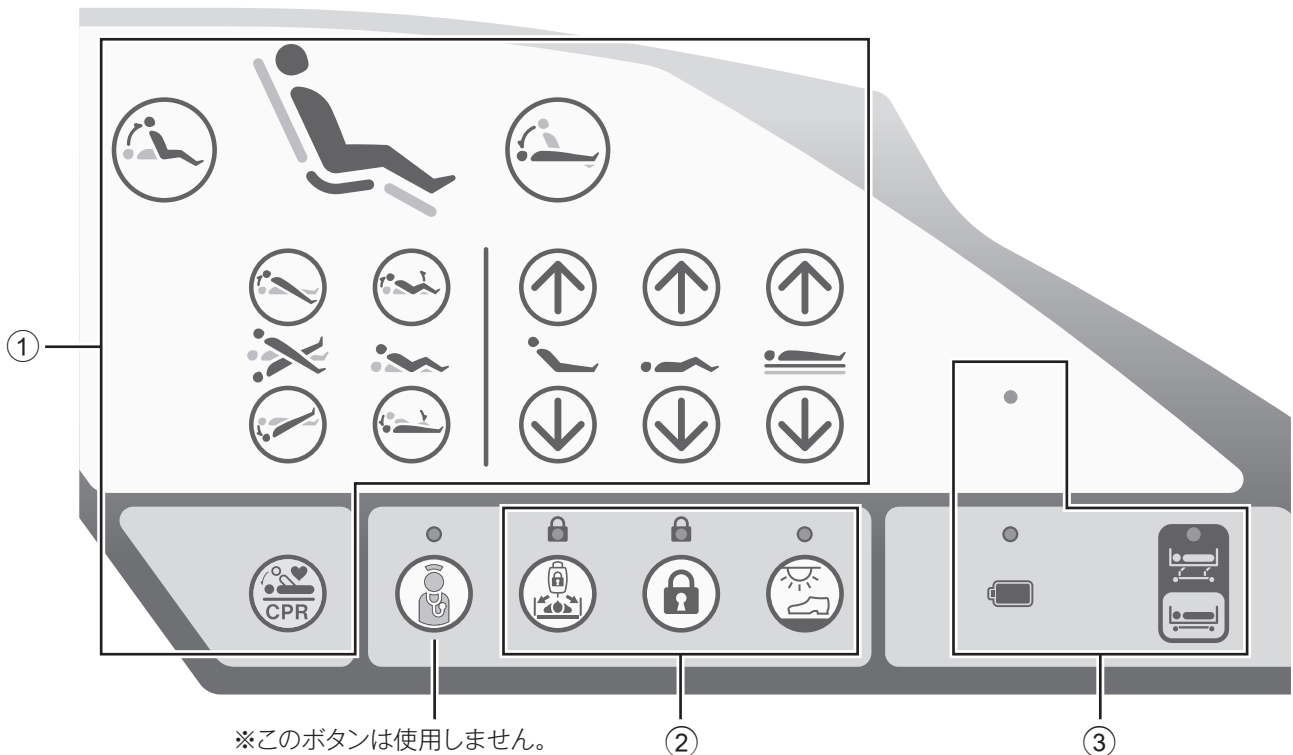
2. 操作方法

医療従事者用操作スイッチの使いかた

医療従事者用操作スイッチは、医師や看護師など、ケアをされる方が操作を行うためのスイッチです。頭側サイドレールの左右外側にあります。

 <p style="text-align: center;">けい 警 こく 告</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●医療従事者用操作スイッチに強い力を加えたり、鋭利なもので触れたりしないでください。医療従事者用操作スイッチが破損して、感電したり、誤動作したりするおそれがあります。 ●操作が理解できないと思われる方（12歳以下のお子様や認知症の方など）に操作させないでください。操作が理解できないと思われる方が、1人で医療従事者用操作スイッチを操作した場合、誤ってベッドに身体がはさまれるなど、思わぬけがをするおそれがあります。1人で医療従事者用操作スイッチに触れる可能性がある場合には、以下の方法により操作を制限し、誤操作による事故を未然に防いでください。 <ul style="list-style-type: none"> ・医療従事者用操作スイッチあるいはベッドナビ（別売）で、全ての操作禁止の設定を行い、医療従事者用操作スイッチの操作を禁止にする。（設定方法は62ページあるいはベッドナビ（別売）の取扱説明書を参照） ・ベッドナビ（別売）で、操作禁止の設定を行い、背・膝・高さ・傾斜の操作を個別に禁止する。（設定方法は、ベッドナビ（別売）の取扱説明書を参照） ・電源プラグを抜く。
--	---

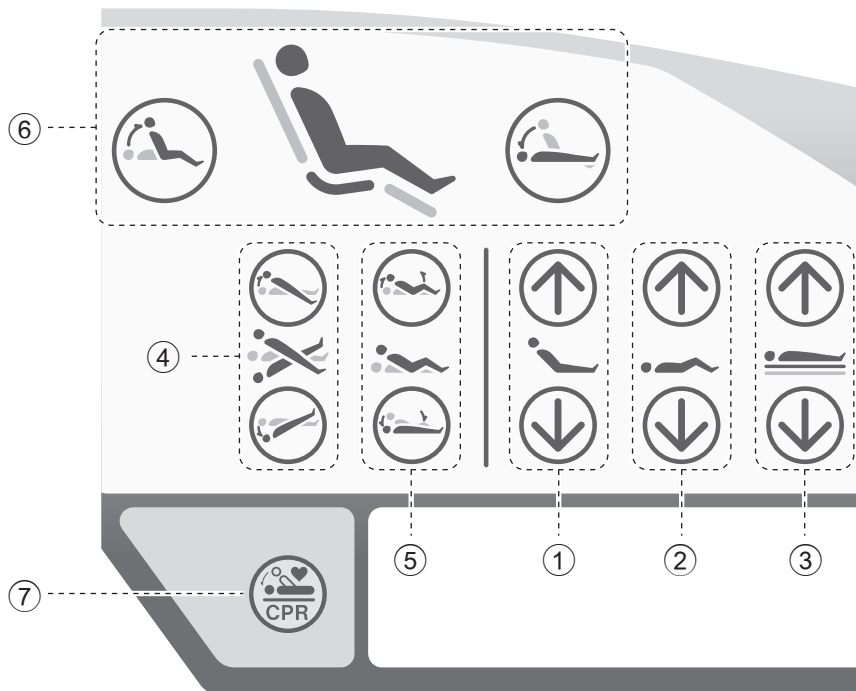
<各部の名称と働き>



- ①ベッド操作ボタン.....ベッドの各ポジション操作と電動 CPR 操作ができます。
- ②機能ボタン.....手元スイッチ操作禁止・全ての操作禁止の設定と脚下灯の操作ができます。
- ③状態表示.....バッテリーの状態・ベッド高さの状態・エラーの有無をランプの点滅や明暗でお知らせします。

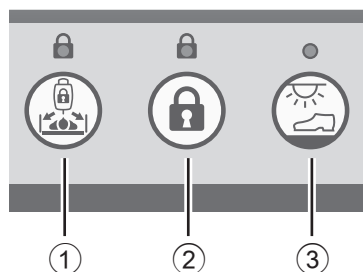
2 機能と操作

■ベッド操作ボタン



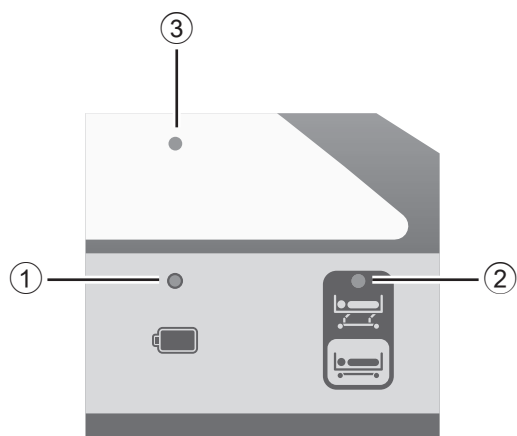
- ①背あげ・背下げボタン..... 背ボトムの角度調節ができます。
- ②膝あげ・膝下げボタン..... 膝ボトムの角度調節ができます。
- ③高さあげ・高さ下げボタン..... ベッドの高さが調節できます。
- ④傾斜ボタン..... ベッド全体の傾斜角度調節ができます。
- ⑤カインドボタン..... カインドで、背ボトム・膝ボトムの角度調節ができます。
- ⑥カインド PLUS ボタン..... カインド PLUS で、背ボトム・膝ボトムの角度調節と、ベッド全体の傾斜角度調節ができます。
- ⑦電動 CPR ボタン..... 緊急時などに背ボトム・膝ボトム・ベッドの傾斜をフラットにすることができます。

■機能ボタン



- ①手元スイッチ操作禁止ボタン
.....患者用操作スイッチと手元スイッチ（別売）の操作を禁止する際に使用します。
- ②全ての操作禁止ボタン
.....CPR 以外のすべてのベッド操作を禁止する際に使用します。
- ③脚下灯ボタン
.....脚下灯を点灯させる際に使用します。

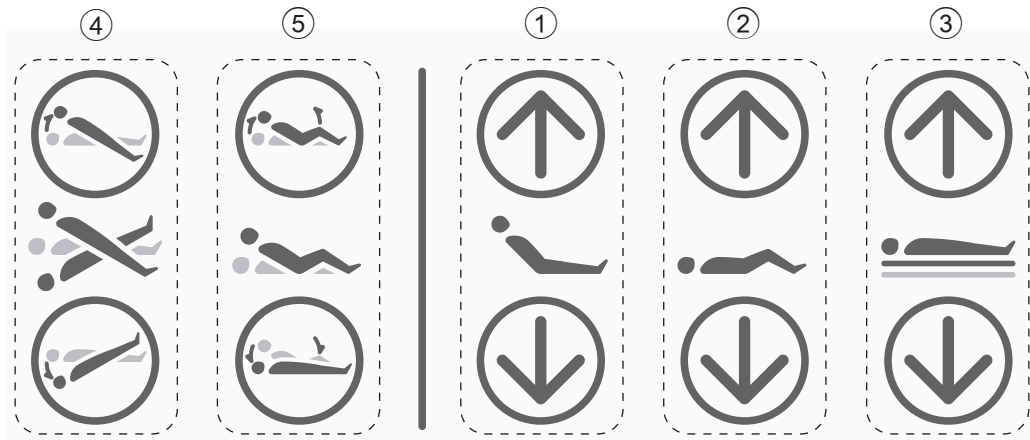
■状態表示



- ①バッテリー状態表示ランプ
.....バッテリーの状態を点滅などでお知らせします。
※バッテリー付ベッドのみ
- ②ベッド高さ状態表示ランプ
.....最低高さ：消灯、最低高さ以外：点灯でお知らせします。
- ③エラー表示ランプ
.....エラーが発生したことを橙点滅（速い・遅い）でお知らせします。

2 機能と操作

< 操作のしかた >



背あげ・背さげ

①の⬆️ ボタンを押すと背ボトムがあがり、⬇️ ボタンを押すとさがります。
※ボタンを離すとその位置で止まります。

膝あげ・膝さげ

②の⬆️ ボタンを押すと膝ボトムがあがり、⬇️ ボタンを押すとさがります。
※ボタンを離すとその位置で止まります。

高さあげ・高ささげ

③の⬆️ ボタンを押すとベッド全体があがり、⬇️ ボタンを押すとさがります。
※ボタンを離すとその位置で止まります。

傾斜

④の⬆️ ボタンを押すと、ベッド全体の頭側があがります。(リバーストレンデンバーグ)

④の⬇️ ボタンを押すと、ベッド全体の頭側がさがります。(トレンデンバーグ)



ベッドが傾斜しているときは、ベッドが水平になったときにいったん停止します。さらに傾斜させる場合には、ボタンを押し直してください。

カインド

⑤の⬆️ ボタンを押すと、カインドで背ボトムと膝ボトムがあがります。


⑤の⬇️ ボタンを押すと、カインドで背ボトムと膝ボトムがさがります。

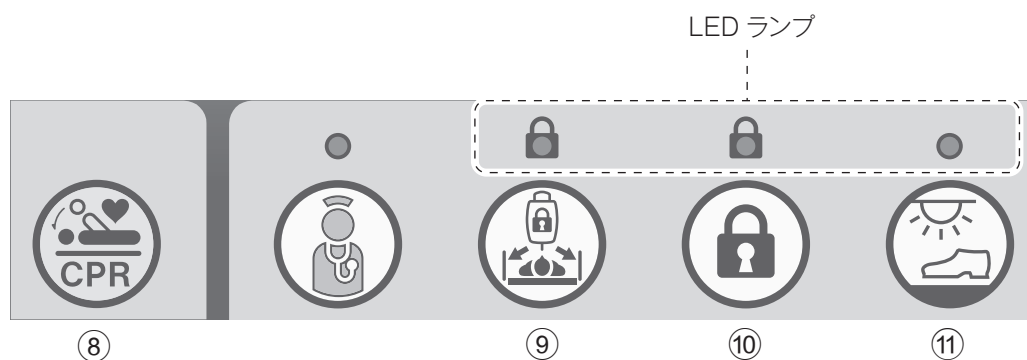


カインド PLUS あげ


⑥の  ボタンを押すと、背ボトム・膝ボトムの角度調節と同時にベッド全体が傾斜します。

カインド PLUS さげ

⑦の  ボタンを押すと、背ボトム・膝ボトム・ベッド全体の傾斜が水平になります。



電動 CPR

⑧の  ボタンを2秒以上または短く2回押すと、押している間だけ背ボトム・膝ボトム・傾斜角度が 0°（水平）になるように動作します。

※高さは、いったん停止高さまでさがります。

※ボタンを離すとその位置で止まります。

手元スイッチ操作禁止

⑨の  ボタンを押すと、患者用操作スイッチと手元スイッチ（別売）の操作を禁止することができます。


※設定中は LED ランプが点灯します。

全ての操作禁止

⑩の  ボタンを押すと、CPR 以外のすべてのベッド操作を禁止することができます。

※設定中は LED ランプが点灯します。

脚下灯

⑪の  ボタンを押すと、腰ボトム裏側に付いている脚下灯が以下のように点灯します。

1 回押し：暗い

2 回押し：明るい

3 回押し：消灯

※暗いまたは明るいに設定中は LED ランプが点灯します。


2 機能と操作

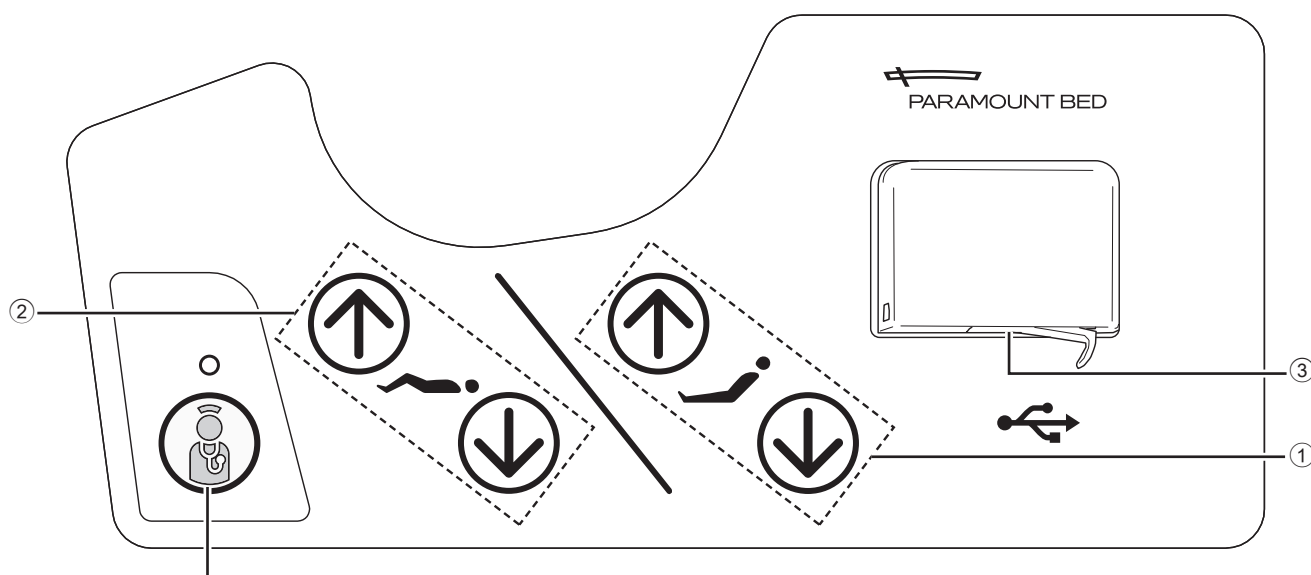
患者用操作スイッチの使いかた

<各部の名称と働き>

この患者用操作スイッチは、患者さんが以下の操作を行うためのスイッチです。頭側サイドレールの左右内側にあります。

- 各ボトム（背・膝）の角度調節
- USB 機器の充電（寝た状態で右側のみ）

 けい 告	<ul style="list-style-type: none">●患者用操作スイッチに強い力を加えたり、鋭利なもので触れたりしないでください。患者用操作スイッチが破損して、感電したり、誤動作したりするおそれがあります。●操作が理解できないと思われる方（12歳以下のお子様や認知症の方など）に操作させないでください。操作が理解できないと思われる方が、1人で患者用操作スイッチを操作した場合、誤ってベッドに身体がはさまれるなど、思わぬけがをするおそれがあります。 <p>1人で患者用操作スイッチに触れる可能性がある場合には、以下の方法により操作を制限し、誤操作による事故を未然に防いでください。</p> <ul style="list-style-type: none">・医療従事者用操作スイッチあるいはベッドナビ（別売）で、全ての操作禁止の設定を行い、患者用操作スイッチの操作を禁止にする。（設定方法は62ページあるいはベッドナビ（別売）の取扱説明書を参照）・医療従事者用操作スイッチあるいはベッドナビ（別売）で手元スイッチ操作禁止の設定を行い、患者用操作スイッチの操作を禁止にする。（設定方法は62ページあるいはベッドナビ（別売）の取扱説明書を参照）・ベッドナビ（別売）で、操作禁止の設定を行い、背・膝・高さ・傾斜の操作を個別に禁止する。（設定方法は、ベッドナビ（別売）の取扱説明書を参照）・電源プラグを抜く。
--	--



※このボタンは使用しません。

- ①背あげ・背さげボタン...背ボトムの角度調節ができます。
- ②膝あげ・膝さげボタン...膝ボトムの角度調節ができます。
- ③ USB コネクタスマートフォンやタブレットなどの充電ができます。

<操作のしかた>

背あげ・背さげ

63 ページ①の⬆️ ボタンを押すと背ボトムがあがり、⬇️ ボタンを押すとさがります。

※ボタンを離すとその位置で止まります。

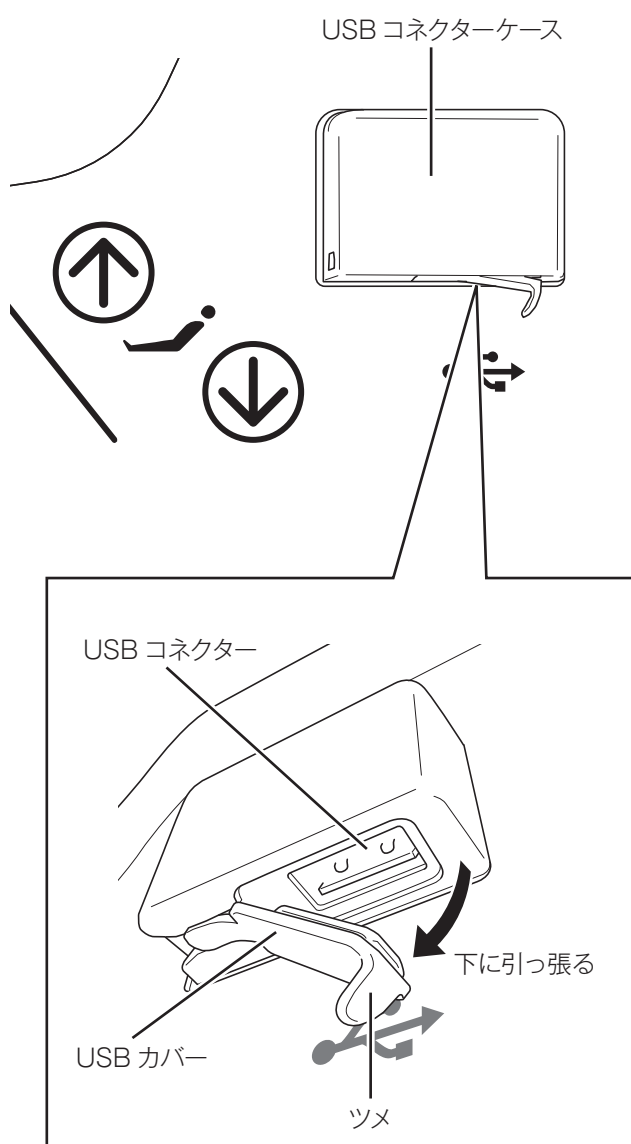
膝あげ・膝さげ

63 ページ②の⬆️ ボタンを押すと膝ボトムがあがり、⬇️ ボタンを押すとさがります。

※ボタンを離すとその位置で止まります。

<USB コネクターの使いかた>

1. USB コネクターケース下部の USB カバーのツメを下に引っ張り、USB カバーを開いてください。
USB 機器を接続することができます。
2. USB 機器を外したら、1 と逆の手順で USB カバーを USB コネクターケース下部にはめ込んでください。



- USB コネクターから USB 機器を取外す際、USB 機器のケーブルのプラグ（以下、USB プラグ）が抜きにくい場合があります。USB プラグの両端をしっかりとつかんで垂直下方向に引き抜いてください。ケーブルを無理に引っ張ると、ケーブルが断線するおそれがあります。
- USB プラグには表裏があります。USB コネクターに接続する前に表裏を確認し、無理に接続しないでください。USB コネクターや USB プラグが破損するおそれがあります。



USB コネクターは充電専用です。データ通信には使用できません。

2 機能と操作

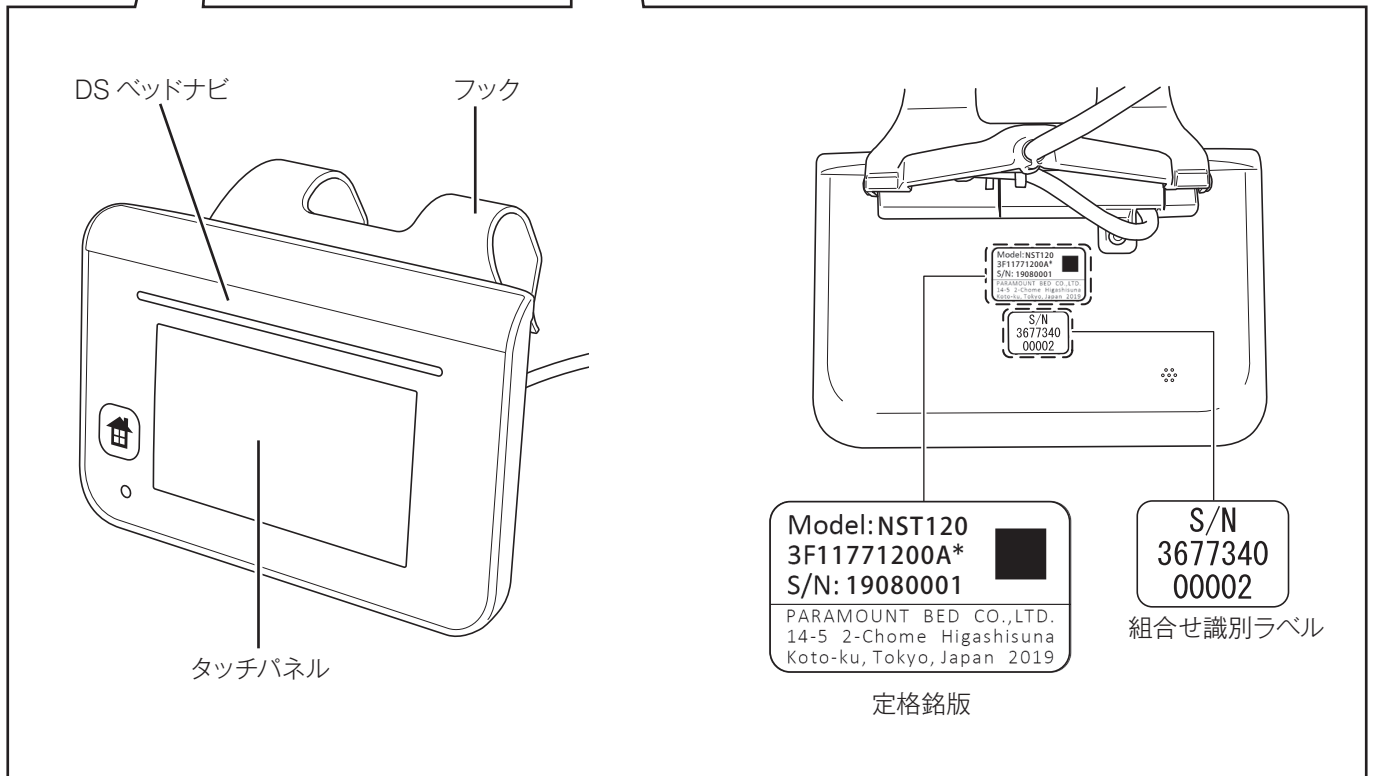
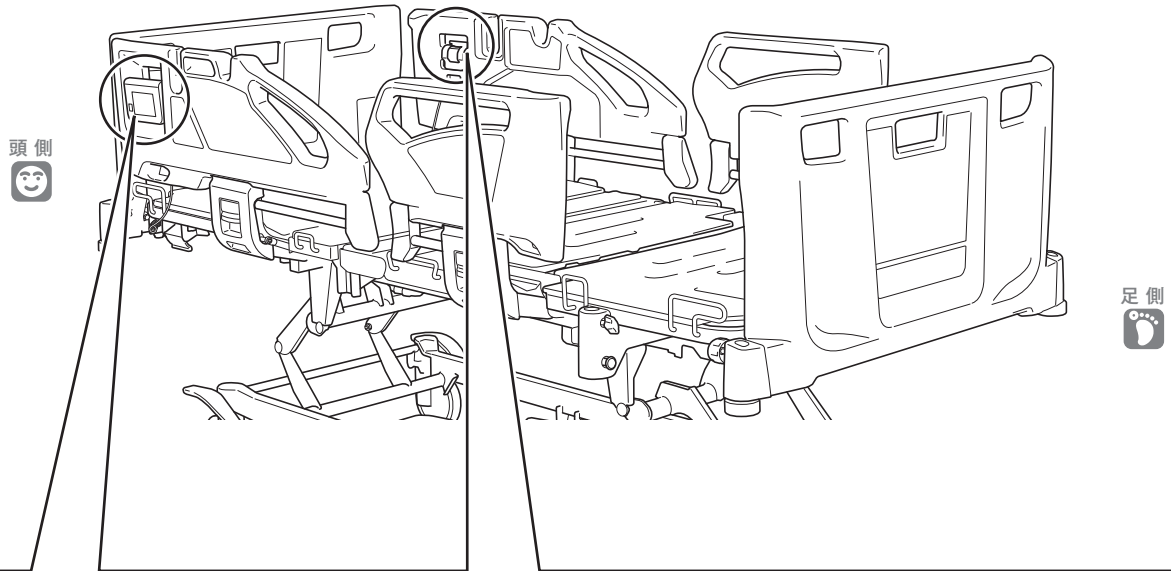
3. DS ベッドナビの使いかた

各部の名称

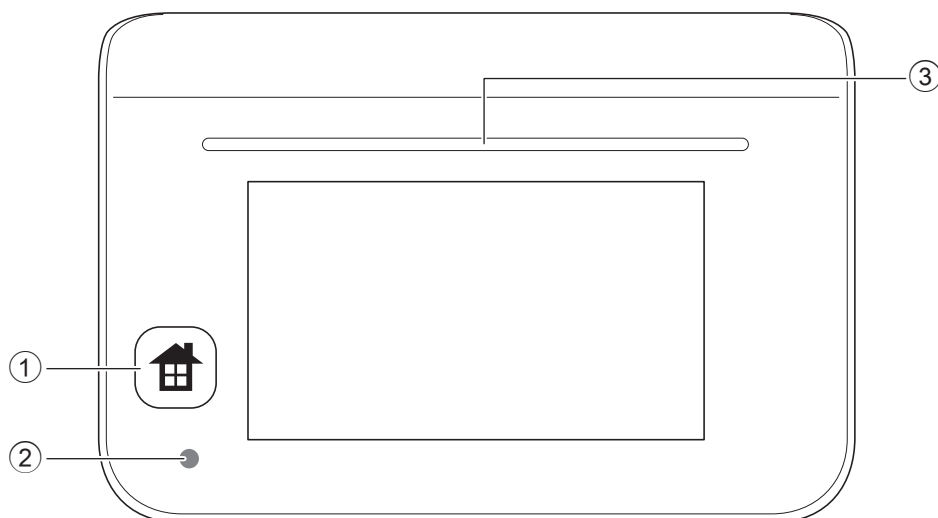
頭側サイドレールの左右（外側）各1ヶ所に DS ベッドナビが付いています。

DS ベッドナビは介護者・医師・看護師の方が、離床 CATCH・体重計・眠り SCAN（別売）・エアマットレス（別売）の操作を行うことができます。また、ベッドの背角度・膝角度・高さ・傾斜角度を表示します。

※ベッドのポジション操作はできません。



<操作ボタンと表示ランプ>



■操作ボタン

①ホームボタン

.....ホーム画面を表示します。

■表示ランプ

②電源ランプ

.....点灯（緑）：正常な通電状態です。

点滅（橙）：断線や障害物との接触などの異常を表示しています。100～102ページの「1. 故障かな?と思ったら」を参照してください。

消灯：電源プラグあるいはベッドナビプラグが外れているか、停電・断線などの場合です。

点滅（緑）：ベッドの高さがいったん停止高さ以下で、高ささげ操作を行っている状態です。

③センサー表示ランプ

以下の項目に応じてセンサー表示ランプの色が変わります。

- ・ 眠りSCANをベッドに接続している。
- ・ 眠りSCANを眠りSCAN専用ソフトと接続している。
- ・ 眠りSCAN専用ソフトのベッド通信設定が「通信する（離床CATCH連携有効）」に設定されている。

●上記の項目をすべて満たす場合、眠りSCANでの患者さんの状態判定に応じて色が変わります。

点灯（青）：睡眠

点灯（黄）：覚醒

点灯（白）：離床

●満たさない場合は、離床CATCHの設定に応じて色が変わります。

点灯（橙）：離床CATCHが通知オンの状態です。

点滅（橙）：離床CATCHの通知機能が一時停止の状態です。

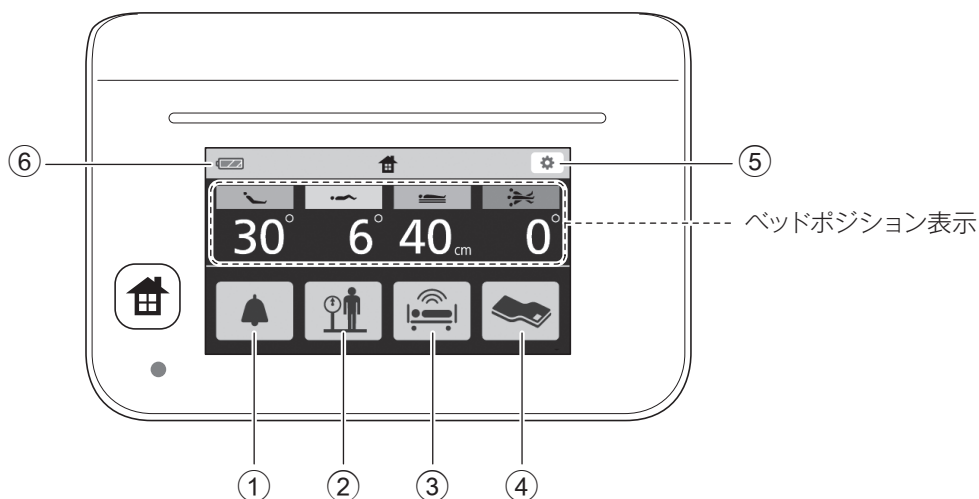
消灯：離床CATCHが通知オフの状態です。

2 機能と操作

機能の選びかた

<ホーム画面>

 ボタンを押すと、ホーム画面を表示します。



- ①離床 CATCH ボタン 離床 CATCH 画面 (73 ~ 75 ページ参照) に移行します。
- ②体重計ボタン 体重計画面 (69 ~ 72 ページ参照) に移行します。
- ③眠り SCAN ボタン 眠り SCAN 画面 (76・77 ページ参照) に移行します。
※このボタンは、眠り SCAN を接続したベッドでのみ表示されます。
- ④エアマットレスボタン エアマットレス画面 (78・79 ページ参照) に移行します。
※このボタンは、ここちあ利楽シリーズを接続したベッドでのみ表示されます。
- ⑤環境設定ボタン 環境設定画面 (68 ページ参照) に移行します。
- ⑥バッテリー状態 バッテリー残量を表示します。
※バッテリー状態表示は、ホーム画面にのみ表示します。
※バッテリー付ベッドでのみ表示されます。

■ベッドポジション表示

現在の背角度・膝角度・ベッドの高さ・傾斜角度 (ベッドポジション) を表示します。

※ベッドナビに表示される数値 (角度・高さ) は目安としてください。

※エラーコードが表示された場合は、103・104 ページを参照してください。

背角度表示 - 15° ~ 85° (1° 間隔で表示)


膝角度表示 - 15° ~ 40° (1° 間隔で表示)

高さ表示 KA-H7410 *は 32cm ~ 75cm (1cm 間隔で表示)

KA-H7420 *は 35cm ~ 78cm (1cm 間隔で表示)

傾斜角度表示 - 15° ~ 15° (1° 間隔で表示) (- 2° ~ 2° は 2° 間隔で表示)

<環境設定画面>

67 ページのホーム画面にある  ボタンをタッチすると、環境設定画面を表示します。

環境設定画面では、各項目のボタンをタッチすることで各種設定が変更できます。現在設定されている状態が、橙色で表示されます。



①言語

.....言語（日本語・英語・中国語・ポルトガル語）を切替えることができます。

②操作音

.....ベッドナビ操作時の、操作音の有/無を切替えることができます。



●以下の場合の、警告音を切ることはできません。

- ・ベッドの高さをさげる際に、ゆかからボトム上面までの高さが 42cm に達していったん停止したとき
- ・いったん停止した後に再度ベッドの高さをさげているとき
- ・電動 CPR の動作中

③画面明るさ


.....タッチパネル・センサー表示ランプの明るさを調節することができます。

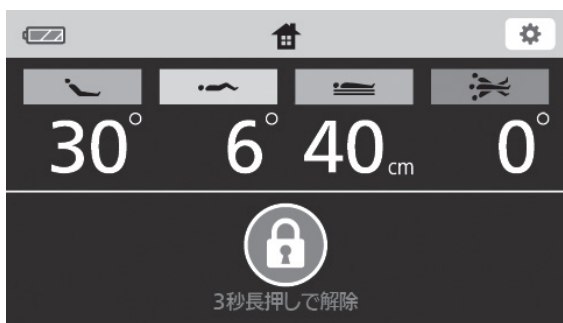
④画面消灯

.....無操作時にタッチパネルが消灯するまでの時間を設定できます。

⑤画面ロック

.....画面ロックの有効・解除を切替えることができます。

※有効時にタッチパネルが消灯すると、再点灯時には必ず左記の画面が表示されます。画面ロックを解除する場合は、カギマーク「」を 3 秒間タッチしてください。




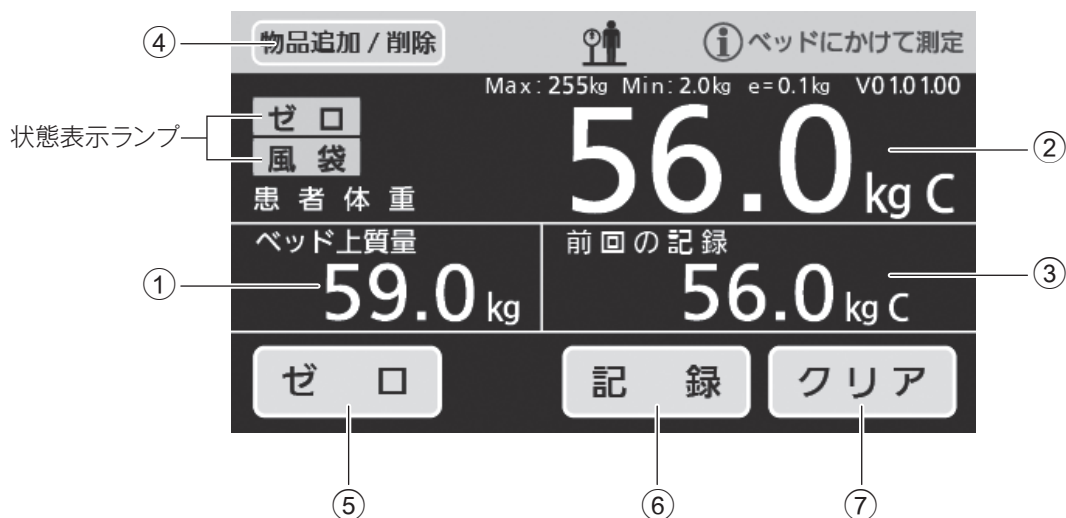
停電時や電源プラグ・ベッドナビプラグを抜いた場合も、設定した内容は取消しされません。

2 機能と操作

体重計

< 各部の名称と働き >

ホーム画面の  ボタンをタッチすると、体重計画面を表示します。



■表示画面

①ベッド上質量.... ベッド上の質量（ゼロ点補正*¹⁾ あるいは風袋引き*²⁾ を行った場合は、これらを行った後にかかった質量）を表示します。（物品追加 / 削除機能の使用有無により、表示位置が変わります）

②患者体重..... 物品追加 / 削除機能を使用して、載せ降ろしをした物品の重さを差し引きした質量を表示します。（71 ページ参照）

③前回の記録..... 前回記録した質量を表示します。

* 1) ゼロ点補正：ゼロ点のずれを補正すること。

* 2) 風袋引き：測りたい目的物以外の質量を差し引くこと。

■操作ボタン

④物品追加 / 削除ボタン..... 物品追加 / 削除ができます。（71 ページ参照）

⑤ゼロボタン..... ゼロ点補正をすることができます。

⑥記録ボタン..... 測定した質量を記録することができます。（0.0kg以下は記録できません）

⑦クリアボタン..... 記録した質量を消去することができます。

■状態表示ランプ

●ゼロ：ベッド上に荷重が加わっていないときに点灯します。

●風袋：ベッド上の質量が風袋引き調整されているときに点灯します。



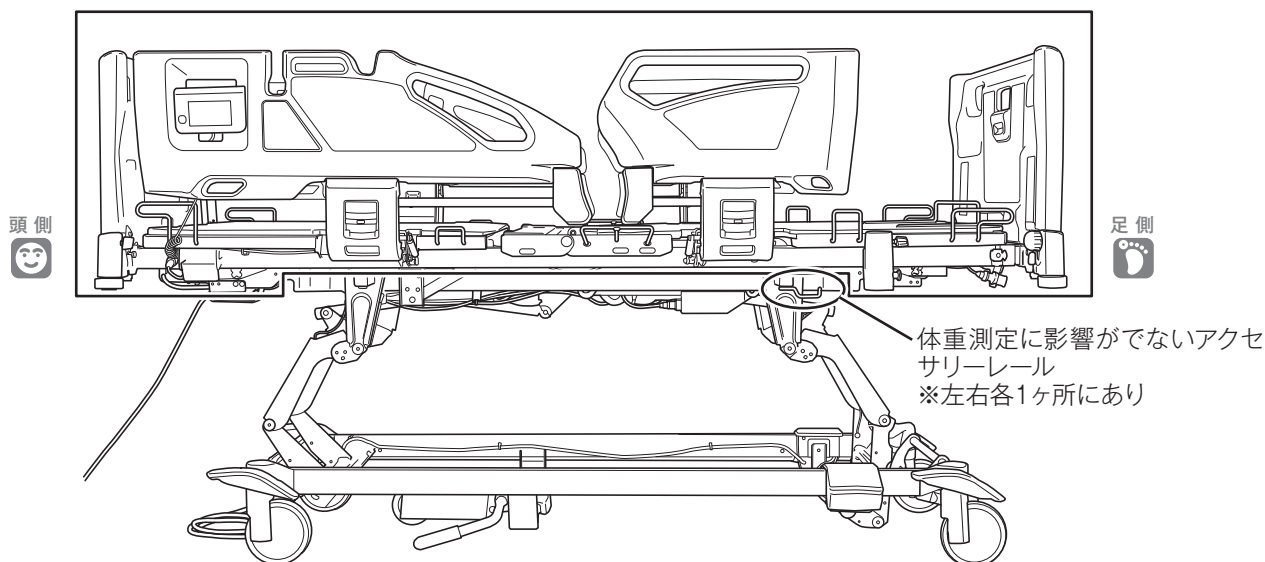
ゼロランプと風袋ランプは、ゼロ点補正中あるいは風袋引き調整中のときに点滅します。

<体重測定を行うときの注意事項>

患者さんの体重を正確に測定するために、以下の点に注意してください。

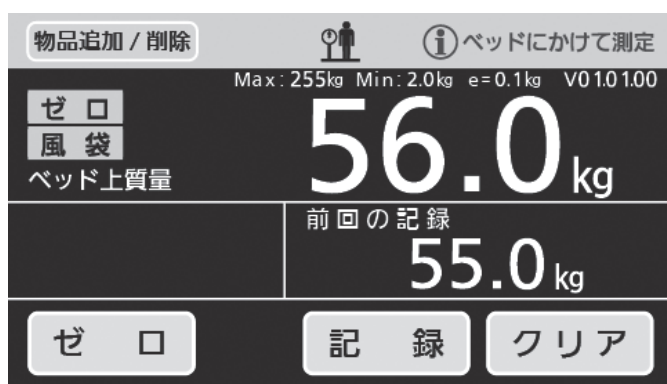
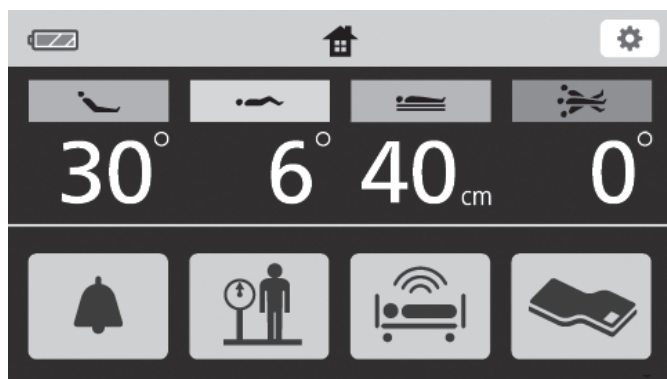
- 測定は以下の範囲を守って行ってください。
 - ・ デジタルスケールの測定範囲2.0kg ~ 255.0kg
 - ・ ベッドの最大利用者体重 180kg
- 体重計を使用するときは、電源プラグをコンセントに差込んでください。
- ベッドの電源プラグを接続した直後は表示が安定しません。測定 30 分前にはベッドの電源プラグをコンセントに差込んでおくことをおすすめします。また、いつでも測定できる状態にするためには、電源プラグをコンセントに差込んだままにしてください。
- 測定はベッドの傾斜角度を 0°（水平）にして行ってください。ベッドが傾斜した状態では、正確な数値をえることができません。また、ベッドの高さが 41cm 未満のときは測定ができません。ベッドの高さをあげてから測定してください。
- 手元スイッチ（別売）を使用する際は、手元スイッチをベッドに掛け、コードがゆかに着かないようにしてください。正しく体重を測定できません。
- ベッドナビは必ずベッドに取付けた状態で測定してください。ベッド以外の場所に引っ掛けたり置いたりすると、正しく体重を測定できません。
- 測定値を記録する際は、測定する方がベッド本体に触れないように注意してください。
- ベッドの高さを変えるとベッドに取付けた配線（シリンジポンプなど）を持ちあげて、体重値が変化してしまうことがあります。
- 下図の体重測定に影響がでる範囲内に、ベッドに乗っている患者さん以外の方が触れたり、ものを取付けたり掛けたりしないように注意してください。
※ベッドの左右各1ヶ所に、体重測定に影響がでないアクセサリールがあります。

体重測定に影響がでる範囲



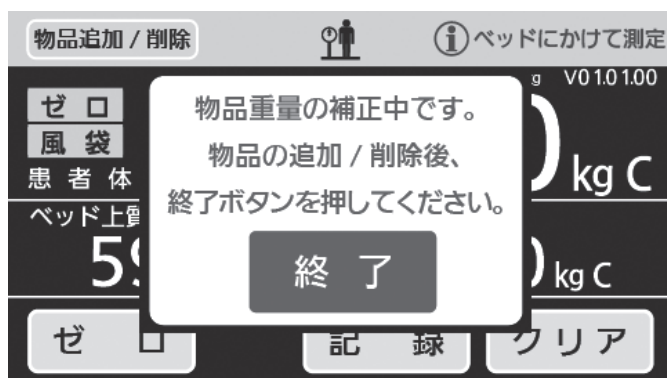
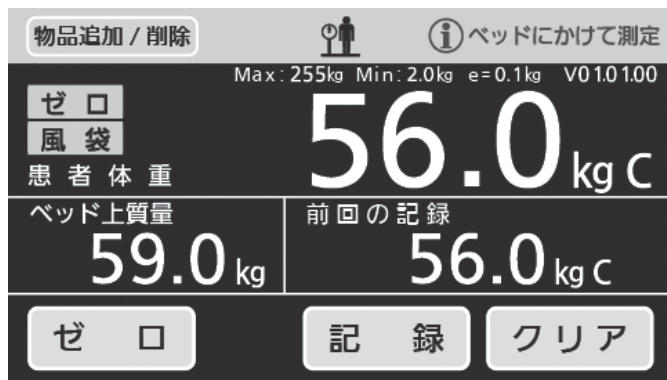
2 機能と操作




<体重計の操作>

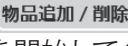




■物品追加／削除について

体重の測定を一時的に停止します。一時停止中は体重を測定しませんので、ベッドに布団などのものを載せたり、降ろしたりすることができます。



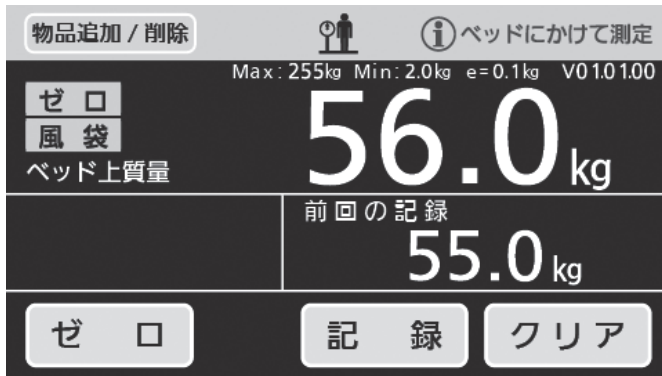
1. ベッドメイキングをしてください。
2. ホーム画面の  ボタンにタッチして、体重計画面を表示してください。
3. 体重計画面の  ボタンにタッチして、ベッド上質量表示を 0.0kg にしてください。
 -  ボタンにタッチする際は、ベッドナビをベッドに掛け、ベッドが安定した状態で行ってください。
 - ベッド上質量表示が 0.0kg になるまでは数秒かかります。
4. 患者さんをベッドに乗せてください。

1. 体重計画面で  ボタンにタッチして、物品追加／削除を開始してください。体重の測定が一時的に停止します。
2. ものを載せたり降ろしたりしてください。ベッド上質量は変化しますが、患者体重は変化しません。
3. ものを載せたり降ろしたりした後は、ただちに  ボタンにタッチして、測定を再開してください。

 ベッド上質量表示が 10kg 以上でないと、物品追加／削除は開始できません。

■記録

体重の記録ができます。(1件まで)



1. 患者さんがベッドに寝ていることを確認してください。
2. 風袋引きあるいは物品追加/削除されていない物品を取除いてください。





3. **記録** ボタンにタッチして、記録される体重を確認して、記録を更新してください。

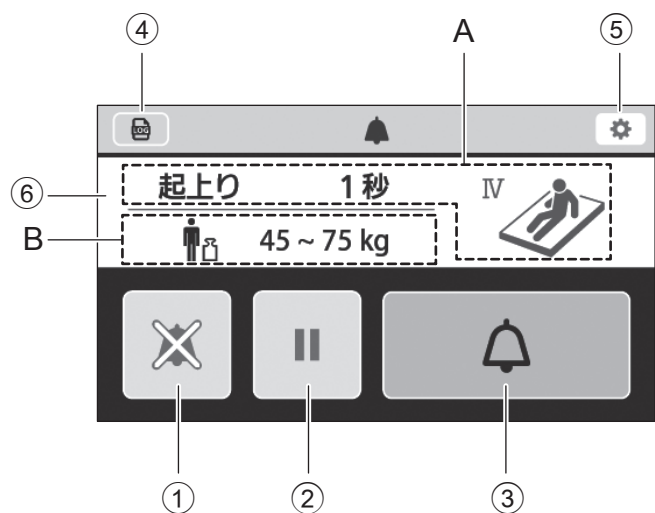
2 機能と操作

離床 CATCH

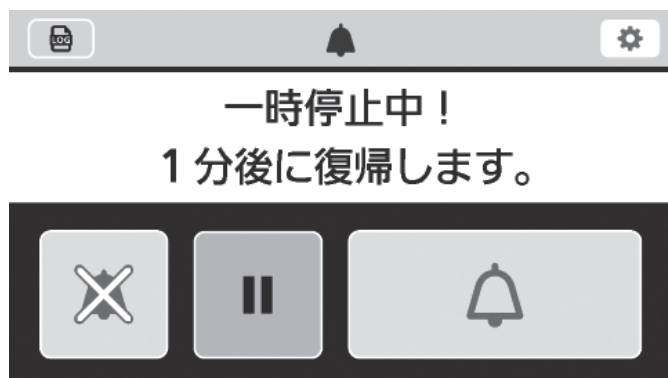
<通知機能の操作>

67ページのホーム画面の  ボタンをタッチすると、離床 CATCH ホーム画面を表示します。現在設定されている状態が、橙色で表示されます。

※ H系エラー発生時や眠り SCAN 専用ソフト使用時は、ホーム画面の  ボタンがグレーとなり、離床 CATCH が使用できません。




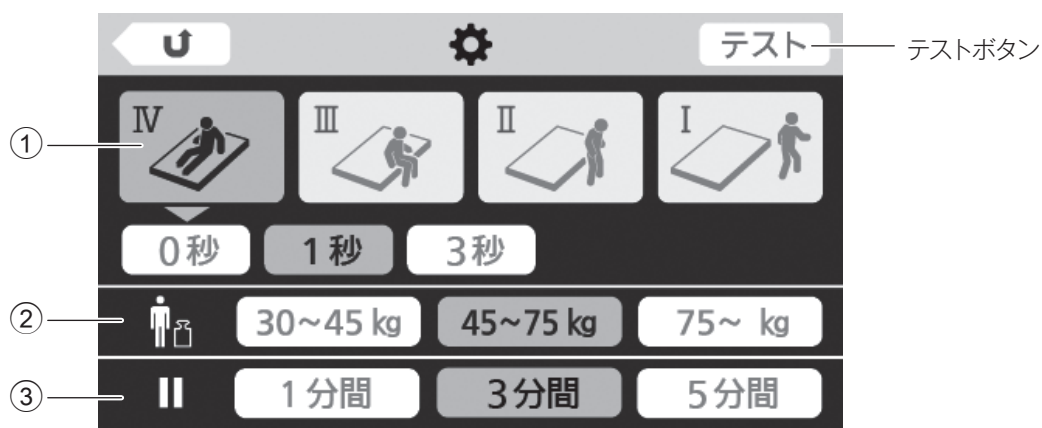
<通知一時停止画面>




- ①通知オフボタン
.....通知オフにできます。
- ②一時停止ボタン
.....一時的に通知オフにし、一定時間経過後に自動で通知オンに復帰します。
※通知オンのときのみ操作できます。
- ③通知オンボタン
.....通知オンにできます。
※通知オンにすると、センサー表示ランプ(66ページ参照)が点灯(橙)します。
※通知を一時停止すると、センサー表示ランプ(66ページ参照)が点滅(橙)します。
- ④アラームログボタン
.....アラームログを見ることができます。
- ⑤設定ボタン
.....離床 CATCH 設定画面を表示します。
- ⑥設定状態表示
.....設定中の機能設定(A)・体重設定(B)を表示します。

<通知機能の設定>

73 ページの離床 CATCH ホーム画面の  ボタンをタッチすると、離床 CATCH 設定画面を表示します。離床 CATCH 設定画面では、離床 CATCH の通知機能（機能・体重・一時停止時間）を設定できます。現在設定されている状態が橙色で表示されます。



- ①機能.....離床 CATCH の機能設定ができます。
 ※離在床情報はベッドナビでは設定できません。
 ※離床 CATCH の機能については、54 ~ 57 ページを参照してください。
 ●「起き上がり」を設定した場合
 起き上がりが何秒持続された場合に通知するかを設定してください。(0・1・3 秒)
 ※初期設定は 1 秒に設定されています。
 ●「見守り」を設定した場合
 離床が何分持続された場合に通知するかを設定してください。(1・3・5・10・30 分)
 ※初期設定は 3 分に設定されています。
- ②体重.....患者さんの体重にあわせた体重を設定してください。
 ※初期設定は 45 ~ 75kg に設定されています。
- ③一時停止一時停止から自動で通知オンに復帰するまでの時間を設定できます。
 ※初期設定は 3 分間に設定されています。


 けい 告	<ul style="list-style-type: none"> ●患者さんの体重にあわせて体重設定をしてください。正しく設定しないと、検知できない可能性があります。 ●離床 CATCH は、体重 30kg 以上の方を想定しています。30kg 未満の方は、検知できない可能性があります。
--	---



停電時や電源プラグ・ベッドナビプラグを抜いた場合も、設定した内容は取消しされません。

2 機能と操作


<アラームログ>

73 ページの離床 CATCH ホーム画面の  ボタンをタッチすると、アラームログ画面を表示します。最新 5 件の通知履歴を表示します。

※通知履歴には、ベッドナビがベッドに接続されている間の通知のみ記録されます。

		(最新 5 件を表示)
1.  起上り	3 秒 ▶	0:25 分前
2.  端座位	▶	0:40 分前
3.  離 床	▶	0:58 分前
4.  見守り	3 分 ▶	1:03 分前
5.  起上り	0 秒 ▶	2:12 分前

<通知テスト>

74 ページの離床 CATCH 設定画面の  ボタンをタッチすると、離床 CATCH 動作確認画面を表示します。

※動作は、通知オンにした場合のみ確認できます。



接続確認.....ボタンをタッチするとナースコールに通知して、ナースコールとの接続を確認できます。ナースコールとの接続については、ナースコール中継ユニット（デジタル式／アナログ式）（別売）の取扱説明書をご確認ください。

センサー動作確認.....ベッドに荷重をかけると、荷重に対応して半円が大きくなり、センサーの動作を確認できます。




センサー動作確認で荷重をかけても半円が変化しない場合は、故障の可能性があります。パラテク ノコールセンター（112 ページ参照）までご連絡ください。

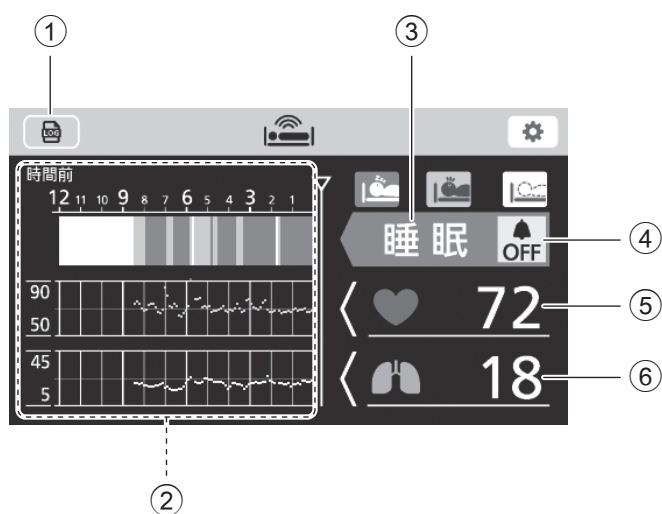
眠り SCAN

眠り SCAN は、体動を検出するための一般医療機器（体動センサー）であり、生命に関わる環境下では使用できません。寝返りなどの大きな体動が多いなど、状況によって心拍 / 呼吸を検出できない場合があります。生命に関わる監視装置としての性能、機能は有していません。

※詳細については、眠り SCAN の取扱説明書をご覧ください。

<リアルタイム表示>

眠り SCAN を接続している状態で 67 ページのホーム画面の  ボタンをタッチすると、眠り SCAN のリアルタイム表示画面を表示します。



①睡眠ログボタン

.....睡眠ログ (77 ページ参照) を表示します。

②ログ表示

.....最大 12 時間前までのログデータを表示します。
・ 状態ログ (睡眠・覚醒 (起きあがり含む)・離床)
・ 心拍数ログ
・ 呼吸数ログ

■現在の状態表示

以下の現在の状態をリアルタイムで表示します。
睡眠・覚醒・起きあがり・離床・離床 CATCH 連携
ON/OFF・心拍数・呼吸数

③睡眠状態の判定結果

.....睡眠状態の判定結果 (睡眠・覚醒・起きあがり・離床) を表示します。

④離床 CATCH 連携

.....離床 CATCH 連携の ON/OFF を表示します。

⑤心拍数

.....体振動から推定した 1 分間当たりの心拍数を表示します。

⑥呼吸数

.....体振動から推定した 1 分間当たりの呼吸数を表示します。

※睡眠状態に応じてセンサー表示ランプの色が変わります。(66 ページ参照)

- ・ 睡眠：青
- ・ 覚醒：黄
- ・ 離床：白

ベッドナビを操作せずに患者さんの睡眠状態を確認できるため、夜間などに患者さんを起こしてしまうことを防ぎます。起きあがり状態は、覚醒状態に含まれます。

<離床 CATCH 連携>


眠り SCAN を LAN 通信でパソコンと接続し、リアルタイムモニターのお知らせ検知機能を使用する場合に、眠り SCAN 本体内蔵のセンサーに加えて、ベッドに内蔵されたセンサーにより、起きあがりと離床検知を行います。

●起きあがり検知：ベッドに内蔵されたセンサーにより検知します。

●離床検知：眠り SCAN 内蔵のセンサーとベッドに内蔵されたセンサーにより検知します。

2 機能と操作

<眠り SCAN 設定>

76 ページのリアルタイム表示画面の  ボタンをタッチすると、眠り SCAN 設定画面を表示します。

眠り SCAN 設定画面では、離床 CATCH 連携の ON/OFF の切り替え、記録データの消去、ログ表示の上下限表示設定ができます。



①離床 CATCH 連携設定..... 離床 CATCH 連携の ON/OFF を設定できます。

眠り SCAN 専用ソフトを使用していない場合、もしくは眠り SCAN 専用ソフトのベッド通信設定が「通信する（離床 CATCH 連携有効）」に設定されていない場合は、表示されません。

※離床 CATCH の機能については、54～57 ページを参照してください。

②記録データ消去ボタン 現在記録されているログデータを消去します。一度消去したデータは元に戻すことはできません。

③ログ表示上下限表示設定... リアルタイム表示画面・睡眠ログ画面の心拍数・呼吸数のグラフの上下限表示を設定できます。心拍数・呼吸数の上限・下限のいずれかを選択して、左側の矢印で数値を変更してください。選択されているボタンは橙色で表示されます。

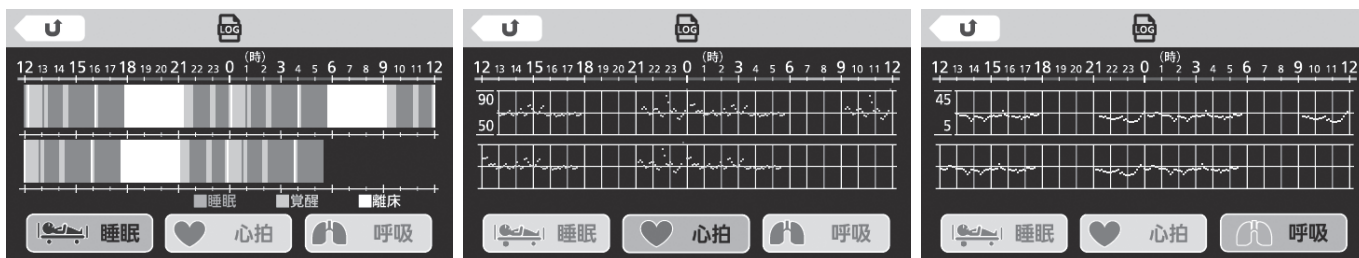
・心拍数上下限：30～140

・呼吸数上下限：5～45

<睡眠ログ>


眠り SCAN のリアルタイム表示画面の  ボタンをタッチすると、睡眠ログ画面を表示します。


睡眠ログ画面では、最大2日分のログデータ（睡眠状態・離床・心拍数・呼吸数）を表示します。



エアマットレス（こちあ利楽）

<各部の名称と働き>

 けい 告	<p>各機能の設定は、医師や看護師などの専門家にご相談のうえ、患者さんの状態にあわせて調整してください。不適切な状態に設定すると、効果的に体圧が分散できず床ずれが発生したり、期待する効果が得ず、患者さんの健康に影響をおよぼしたりするおそれがあります。</p>
---	---

67 ページのホーム画面の  ボタンをタッチすると、エアマットレスホーム画面を表示します。




- ①状態表示 エアマットレスの運転状態や各種設定状態などを表示します。
- ②しっかりモードボタン しっかりモードボタンを ON にすると、状態表示にしっかりモードの残り時間を表示します。
- ③かたさ手動運転設定ボタン... かたさ手動運転時に、かたさの調節ができます。
- ④準備中表示 ターボ運転による内圧調整中に点灯します。
- ⑤設定ボタン エアマットレス設定表示画面を表示します。







※イラストは、かたさ自動運転時にしっかりモードをONにした状態を示しています。

2 機能と操作

<機能の設定>


78 ページのエアマットレスホーム画面の  ボタンをタッチすると、エアマットレス設定画面を表示します。



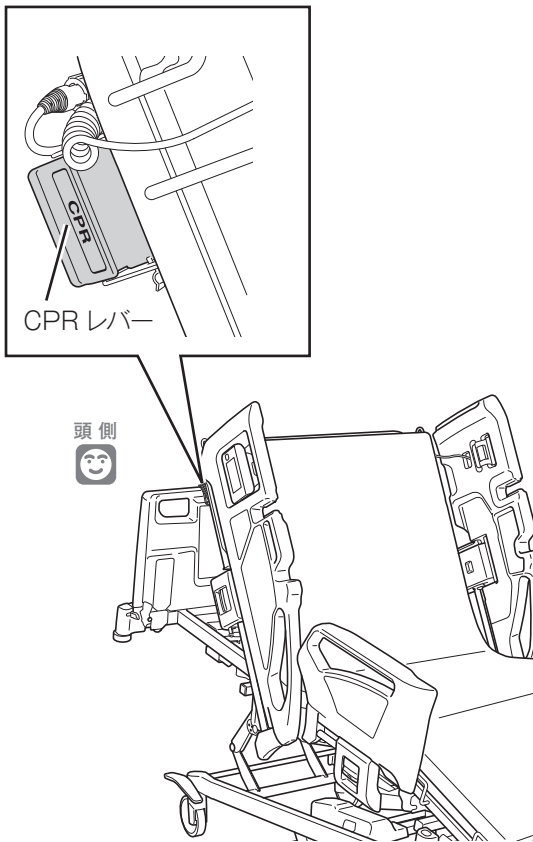
- ① 圧切替ボタン..... 圧切替を設定することができます。
圧切替設定中は、エアマットレスホーム画面に  が表示されます。
- ② 除湿ボタン 除湿を設定することができます。
除湿設定中は、エアマットレスホーム画面に  が表示されます。
- ③ かたさ自動運転ボタン.... かたさ自動運転機能を設定することができます。
かたさ自動運転設定中は、エアマットレスホーム画面に  が表示されます。
- ④ かたさ手動運転ボタン ... かたさ手動運転機能を設定することができます。
かたさ手動運転設定中は、エアマットレスホーム画面に  が表示されます。
- ⑤ フィルター点検ボタン フィルターの使用時間が交換目安時間（8800 時間）を超えると表示されます。このボタンを押すと、フィルター使用時間をリセットすることができます。

4. 緊急時の操作

緊急時などに背ボトムに付いている CPR レバーまたは医療従事者用操作スイッチの電動 CPR を操作することで、CPR（心肺蘇生）を行いやすくすることができます。

 けい 告	<ul style="list-style-type: none"> ● CPR ボタンまたは CPR レバー操作中は、ボトムとメインフレームとの間に、頭腕や足などが入っていないことを確認してください。はさまれて、けがをすることがあります。 ● 緊急時の操作は、CPR（心肺蘇生）時以外に行わないでください。目的外の使用をすると、ベッド操作によりベッドから転落・転倒してけがをしたり、ベッドが破損・変形したりすることがあります。
--	--

CPR レバーによる背さげ




CPR レバーは、背ボトムの頭側左右に付いています。

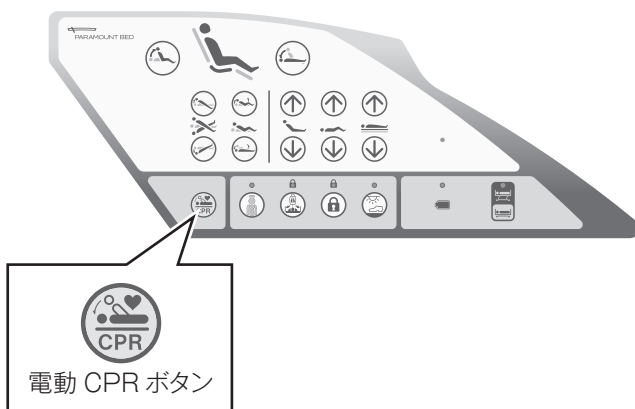
1. CPR レバーを引いてください。
2. 操作の途中で CPR レバーを戻すと、背さげ動作は止まります。



- 患者さんの体重や背ボトムの角度によっては、背ボトムがさがりにくい場合があります。さがりにくい場合は、背ボトムをさげ方向に強く押してください。
- CPR レバーで背ボトムをあげることはできません。
- CPR レバーの場合、停電時や故障時でも操作することができます。

 ちゅう い 注 意	<ul style="list-style-type: none"> ● CPR レバー操作中は、医療従事者用操作スイッチなどの電動操作を行わないでください。モーターが破損するおそれがあります。 ● 左右の CPR レバーを同時に引かないでください。CPR レバーが破損するおそれがあります。
---	--


電動 CPR による操作



医療従事者用操作スイッチの電動 CPR ボタンを以下のように押すことで、操作することができます。

- 電動 CPR ボタンを 2 秒以上、または短く 2 回押してください。背ボトム・膝ボトム・傾斜角度が 0°（水平）になります。
※高さは、いったん停止高さまでさがります。
※ボタンを離すと動作が止まります。

3 オプション



けい
警
こく
告

●オプションは正しい組合せを確認した上でご使用ください。誤った組合せで使用すると、思わぬけがや故障の原因となります。各オプションの品番は段ボール箱・製品識別表示ラベルに記載されています。

- ・製品識別表示ラベル上は、C83Cなどと記載されています。
例) C83C → KC-83C を示します。

※製品によっては、上記表示とは異なる場合があります。ご不明な点は販売店または直接弊社までお問い合わせください。

●オプション適合表(下記参照)に記載の適合品を使用してください。意図せぬすき間の発生や製品の破損・変形などにより、けがをするおそれがあります。

●使用する各オプションの取扱説明書をお読みください。



適合品は、仕様の変更や組合せなどにより変わる場合があります。また、新製品や製品の販売終了により、適合品が記載されていない場合があります。適合品についてご不明な場合は、販売店または直接弊社までお問い合わせください。

オプション適合表

ベッド	KA-H7410 *・KA-H7420 *	参照 ページ
離床グリップ	KA-H70G	84
手元スイッチ	RC-1850	85～ 89
ベッドナビ	NS-T130	90
眠り SCAN ^{*)}	NN-1120, NN-1120P, NN-1120S, NN-1520, NN-1520P, NN-1520S	91
IV ポール	KC-56	92
酸素ボンベホルダー	KC-83C, KK-34	93
けん引装置	KA-83, KA-86	94
ベッドサイドテーブル	KF-1900, KF-1920, KF-1930, KF-1950, KF-1960, KF-1970, KF-1924, KF-1934, KF-1954, KF-1964, KF-1974	95
オーバーベッドテーブル	KF-832LA/LB/LC, KF-833LA/LB/LC, KF-834LA/LB/LC, KF-813	96
端座位保持テーブル・リハビリテーブル	KF-890, KF-840	96
電動介護リフト(床走行式リフト)	KQ-781, KQ-787	97
延長マットレス	KA-H701, KA-H702	98
フットスパーサー	KA-H70S	99
ナースコール中継ユニット(デジタル式)	NU-200	—
ナースコール中継ユニット(アナログ式)	NU-1000 シリーズ, NU-2000 シリーズ	—

*) NN-1120P / NN-1520P は、ベッドと接続して使用できます。

マットレス



- マットレスを設置しない状態ではベッドを使用しないでください。ボトムのすき間や通気穴に手や足の指などがはさまれて、けがをするおそれがあります。
- このベッドには、弊社が指定する適合品のマットレスを組合せてご使用ください。弊社が指定する適合品以外のマットレスと組合せると、寸法や折れ曲がりの点で適合しないだけでなく、サイドレールなどにはさまれてけがをしたり、ベッドに負担をかけ、故障したりするおそれがあります。

<スタンダードマットレス>

品名	品番	マットレスサイズ (cm)			ベッドサイズ (cm)
		厚さ	幅	長さ	
ポケットコイルマットレス	RB-ZB83P	13.5	83	191	83
クレーターマットレス	KE-763	9			

<ハイ・スタンダードマットレス>

品名	品番	マットレスサイズ (cm)			ベッドサイズ (cm)
		厚さ	幅	長さ	
エバーリーフマットレス	KE-533	9	83	191	83
エバーフィット C3 マットレス	ドライタイプ KE-613U	10			
	清拭タイプ KE-613S				
	通気タイプ KE-613T				
ストレッチフィットマットレス	清拭タイプ KE-783S	9			
	通気タイプ KE-783T				

3 オプション

<床ずれ防止マットレス>

品名	品番	マットレスサイズ (cm)			ベッドサイズ (cm)
		厚さ	幅	長さ	
エバーリーフシャインマットレス	KE-593S	12	83	191	83
アクアフロートマットレス	清拭タイプ KE-833	12			
	通気タイプ KE-843				
ストレッチグライドマットレス	清拭タイプ KE-793S	12.5			
	通気タイプ KE-793T				
エバープラウドマットレス	ドライタイプ KE-623U	13			
	清拭タイプ KE-623S				
	通気タイプ KE-623T				
マキシーフロートマットレス	KE-803A	15			
アキュマックス	KE-823	15.5			
圧切替型マットレス (エア)	エアマットレスこちあ結起 3D タイプ* ¹⁾	KE-933HS	15		
	エアマットレスこちあ風香	KE-953M	13		
	エアマットレスこちあ利楽シリーズ* ²⁾	清拭タイプ KE-973S	13		
		通気タイプ KE-973T			

*1) 専用の中継ケーブル (KE-92CC) をエアマットレスコンセント (5 ページ参照) に接続することで、ベッドリンク機能を使用することができます。

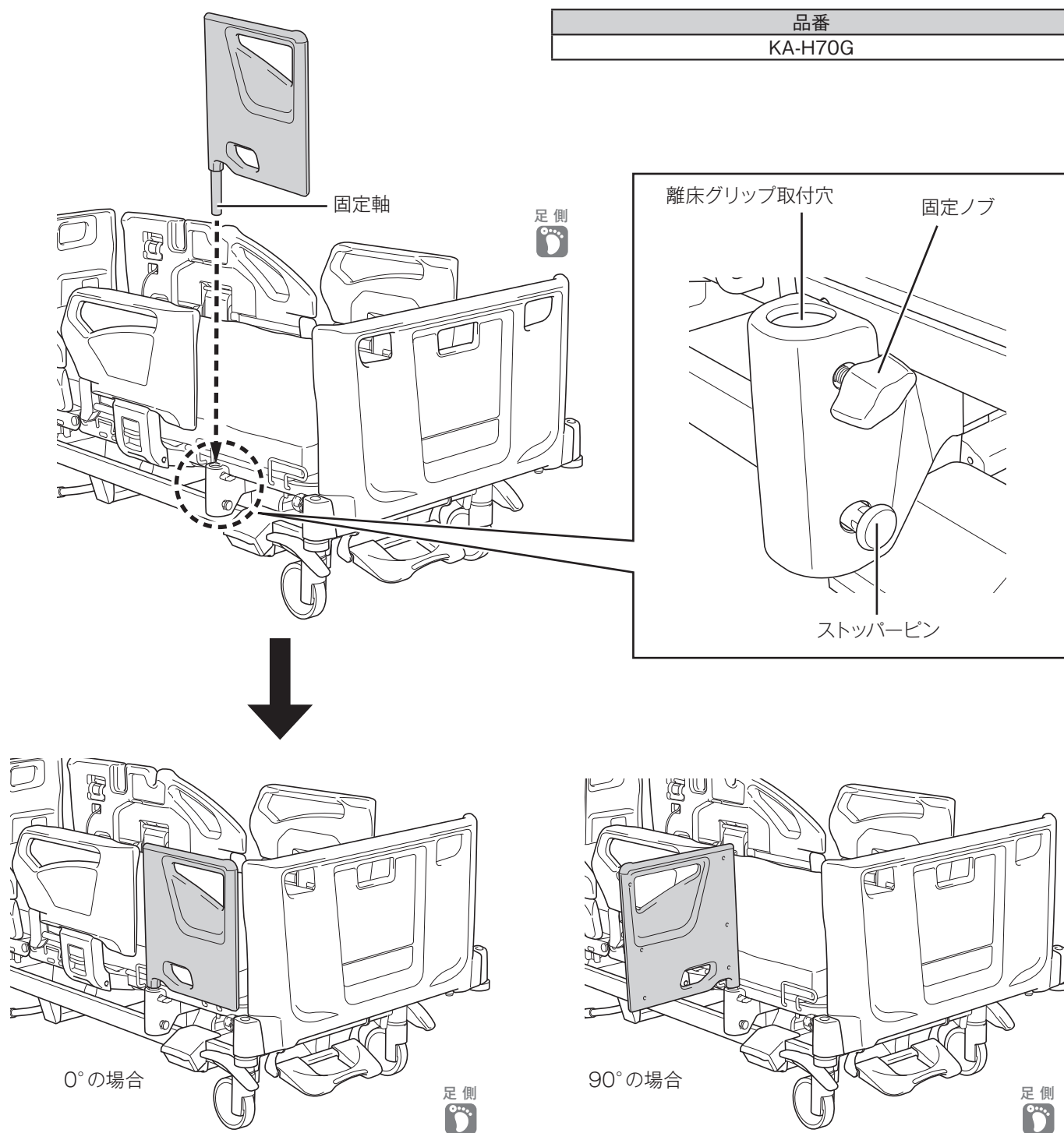
*2) 専用のベッドリンクケーブル (KE-97CH) をエアマットレスコンセントに接続することで、ベッドリンク機能を使用することができます。

離床グリップ

離床グリップを取付けることにより、ベッドからの立ちあがりなどを補助することができます。

※ 0°と90°に設定することができます。

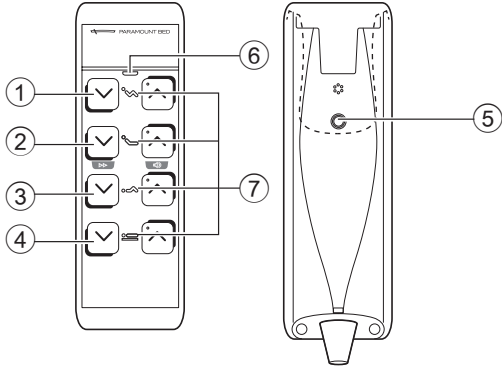
離床グリップ取付穴は、ベッドの足側左右各1ヶ所に設けてあります。使用する際はストッパーピンと固定ノブでしっかりと離床グリップを固定してください。



3 オプション

手元スイッチ

< 各部の名称と働き >



手元スイッチ操作によってベッドの背ボトム・膝ボトムの角度とベッド全体の高さを無段階に調節できます。手元スイッチは、患者さんの操作を意図しています。ただし機能選択ボタン(87～89ページ参照)は患者さんが使用することを意図したものではありません。

※取付け・取外し方法は、47・48ページを参照してください。

品番
RC-1850

■操作ボタン

●動作させたい部位を、あげる場合は \square ボタンを、さげる場合は \square ボタンを押してベッドを操作します。

- ①連動ボタンカインドで背あげ・背下げを行います。
- ②頭ボタン背ボトムの角度調節ができます。
- ③足ボタン膝ボトムの角度調節ができます。
- ④高さボタンベッドの高さが調節できます。



- 操作ボタンを押すとベッドが動き、離すとその位置で止まります。
- 操作ボタン・設定ボタンのうち2つ以上のボタンを、同時に押した場合も止まります。
- 同時に2つ以上のボタンを押して止めた場合、再度操作をするときは一度すべてのボタンから手を離してください。

■設定ボタン

⑤設定ボタン
.....操作ボタンで、各種設定が変更できるようになります。

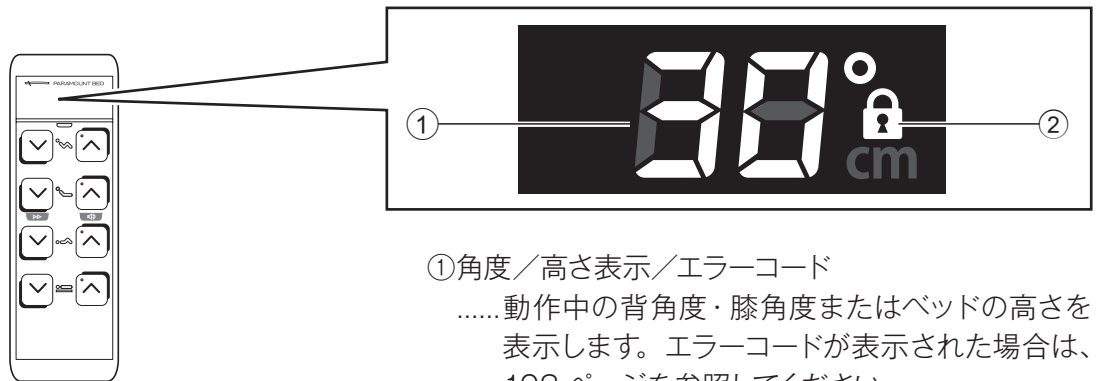
■表示ランプ

⑥電源ランプ
.....ベッドの通電状態をお知らせします。
点灯(緑) : 正常な通電状態です。
消灯 : 電源ランプまたは手元スイッチプラグが外れているか、停電や断線などの場合です。
点滅(橙) : 断線や障害物との接触などの異常を表示しています。「1. 故障かな? と思ったら」(100～102ページ)を参照して処置してください。

⑦操作選択ランプ

.....操作ボタンの「操作可能/操作禁止」をお知らせします。
点灯(白) : 操作が可能な状態です。
消灯 : 電源が「OFF」になっている、もしくは操作が禁止の状態です。

■表示パネル



①角度／高さ表示／エラーコード

.....動作中の背角度・膝角度またはベッドの高さを表示します。エラーコードが表示された場合は、103 ページを参照してください。

背角度表示： $-15^{\circ} \sim 85^{\circ}$ (1°間隔で表示)

膝角度表示： $-15^{\circ} \sim 40^{\circ}$ (1°間隔で表示)

高さ表示 : KA-H7410 *は 32cm ~ 75cm (1cm 間隔で表示)
KA-H7420 *は 35cm ~ 78cm (1cm 間隔で表示)

②操作禁止表示

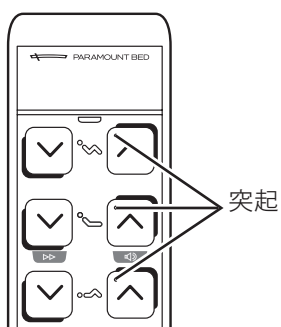
.....押した操作ボタンが操作禁止に設定されているときに点滅します。

③レンチマーク

.....手元スイッチの交換時期になると、設定モードのときにレンチマークが表示されます。お買い上げの販売店またはパラテクノコールセンター (112 ページ参照) までご連絡ください。




■識別用突起



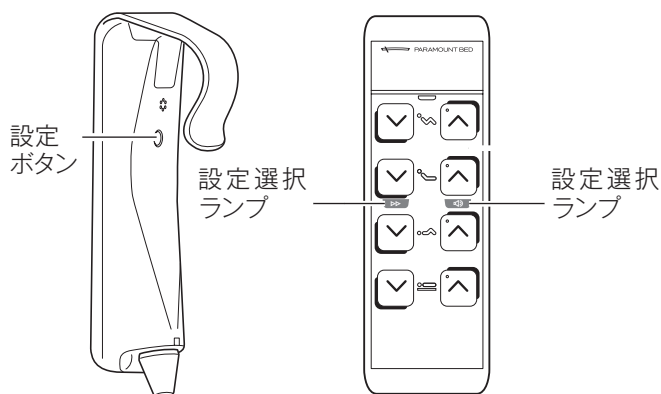
操作ボタンの突起により、感触で / を区別できます。

3 オプション

<設定切換について>

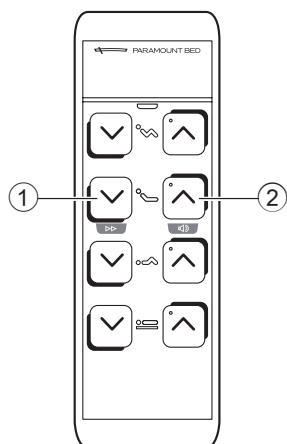
 けい 告 こく	<ul style="list-style-type: none">●操作が理解できないと思われる方（12歳以下のお子様や認知症の方など）に操作させないでください。操作が理解できないと思われる方が1人で手元スイッチを操作した場合、誤ってベッドに身体がはさまれるなど、思わぬけがをすることがあります。1人で手元スイッチに触れる可能性がある場合には、以下の方法により操作を制限し、誤操作による事故を未然に防いでください。<ul style="list-style-type: none">・医療従事者用操作スイッチあるいはベッドナビ（別売）で、全ての操作禁止の設定を行い、手元スイッチの操作を禁止にする。（設定方法は62ページあるいはベッドナビ（別売）の取扱説明書を参照）・医療従事者用操作スイッチあるいはベッドナビ（別売）で手元スイッチ操作禁止の設定を行い、手元スイッチの操作を禁止にする。（設定方法は62ページあるいはベッドナビ（別売）の取扱説明書を参照）・ベッドナビ（別売）で、操作禁止の設定を行い、背・膝・高さ・傾斜の操作を個別に禁止する。（設定方法は、ベッドナビ（別売）の取扱説明書を参照）・電源プラグを抜く。●設定ボタンを一度押してから、20秒間ボタン操作が行われない場合は、設定は完了せずに元の設定に戻りますのでご注意ください。意図せぬベッドの操作により、けがをすることがあります。
---	--

■設定モードへの切換



手元スイッチ裏面の設定ボタンを押すと、おもて面の設定選択ランプが点灯し、機能選択ボタンで各種設定ができるようになります。設定変更が完了したら、再度設定ボタンを押して、設定を確認してください。設定ボタンを押さないと変更した設定は確定されません。

■機能選択ボタン



- ①速さ切換ボタン [P. 89 ページ]
- ②操作音ボタン [P. 89 ページ]

■ベッド各動作設定

ベッドの動作速度、操作音の設定を変更できます。

●背と膝の動作速度の設定

背・膝・カインド・カインド PLUSの動作速度を「普通／速い」に切り換えることができます。

「速い」は「普通」の1.3～1.8倍の速さで動作します。

※高さ・傾斜の動作速度は切り換えることができません。常時「速い」で動作します。

設定選択ランプの明るさ

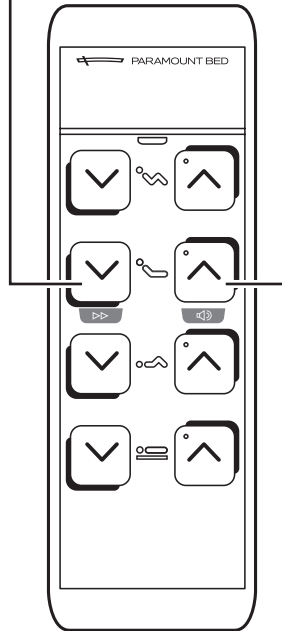
暗い：普通

明るい：速い



●ベッドの高さがいったん停止高さ以下になると、ベッドは低速でさがります。

●カインド PLUS と傾斜の操作は手元スイッチでは行えません。



●操作音の設定

手元スイッチの操作ボタンを押したときの操作音の「有／無」を切り換えることができます。

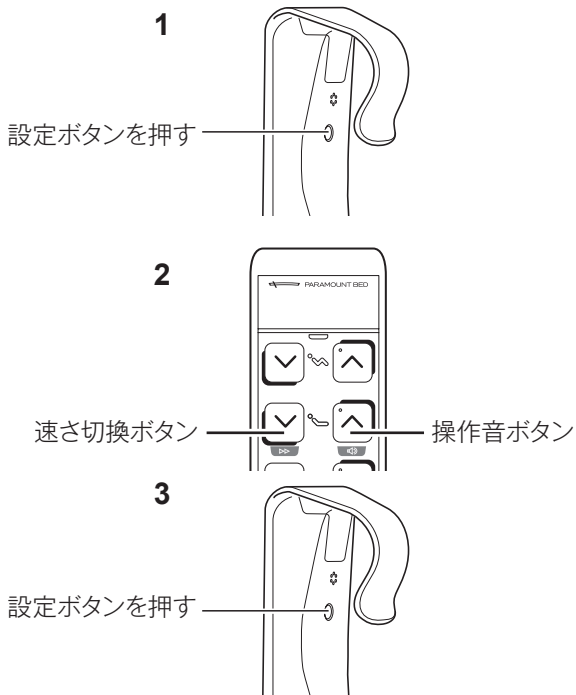
設定選択ランプの明るさ

暗い：無

明るい：有

3 オプション

■設定のしかた



●以下の場合の、警告音を切ることはできません。

- ・ ベッドの高さをさげる際に、ゆかからボトム上面までの高さが 42cm に達していったん停止したとき
- ・ いったん停止した後に再度ベッドの高さをさげているとき
- ・ 電動 CPR の動作中

●ベッドの傾斜によって、いったん停止高さ、最低高さは変わります。

1. 設定ボタンを押してください。
2. 変更したい設定の機能選択ボタンを押してください。
設定選択ランプが切換わります。
3. 設定ボタンを押してください。
設定が完了します。



けい ごとく
警告

設定が完了したら、再度、手元スイッチ裏面の設定ボタンを押して、設定を確定してください。設定ボタンを押さないと変更した設定が確定されず、意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。



停電時や電源プラグ、手元スイッチプラグを抜いた場合も、機能選択ボタンで設定した内容および通知機能で設定した内容は取消しされません。

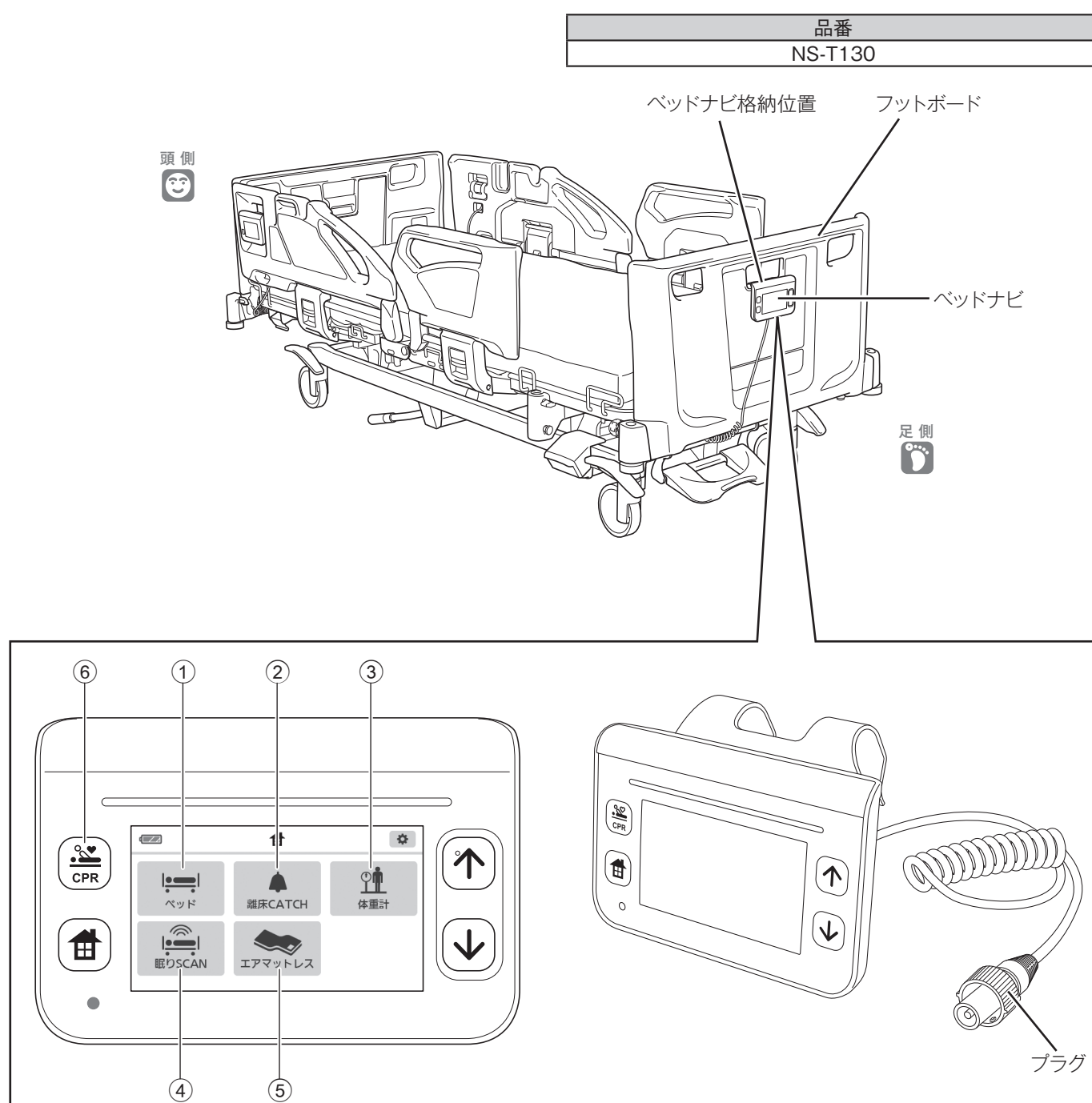
ベッドナビ

ベッドナビは介護者・医師・看護師の方が下記のベッド操作を行うためのスイッチです。

- ①ベッドポジション操作 (背あげ・膝あげ・高さ調節・傾斜・カインド PLUS・カインド)
- ②離床 CATCH 設定
- ③このベッドナビでは体重の測定はできません
- ④眠り SCAN 表示
- ⑤エアマットレス設定
- ⑥ CPR 操作

手元スイッチコンセントに取付けてから、ボタンがベッドの外側に向くように、フットボードや頭側サイドレールのベッドナビ格納位置に掛けて使用することができます。

※取付け・取外し方法および操作方法の詳細については、ベッドナビの取扱説明書を参照してください。



3 オプション

眠り SCAN (一般医療機器 (体動センサー))

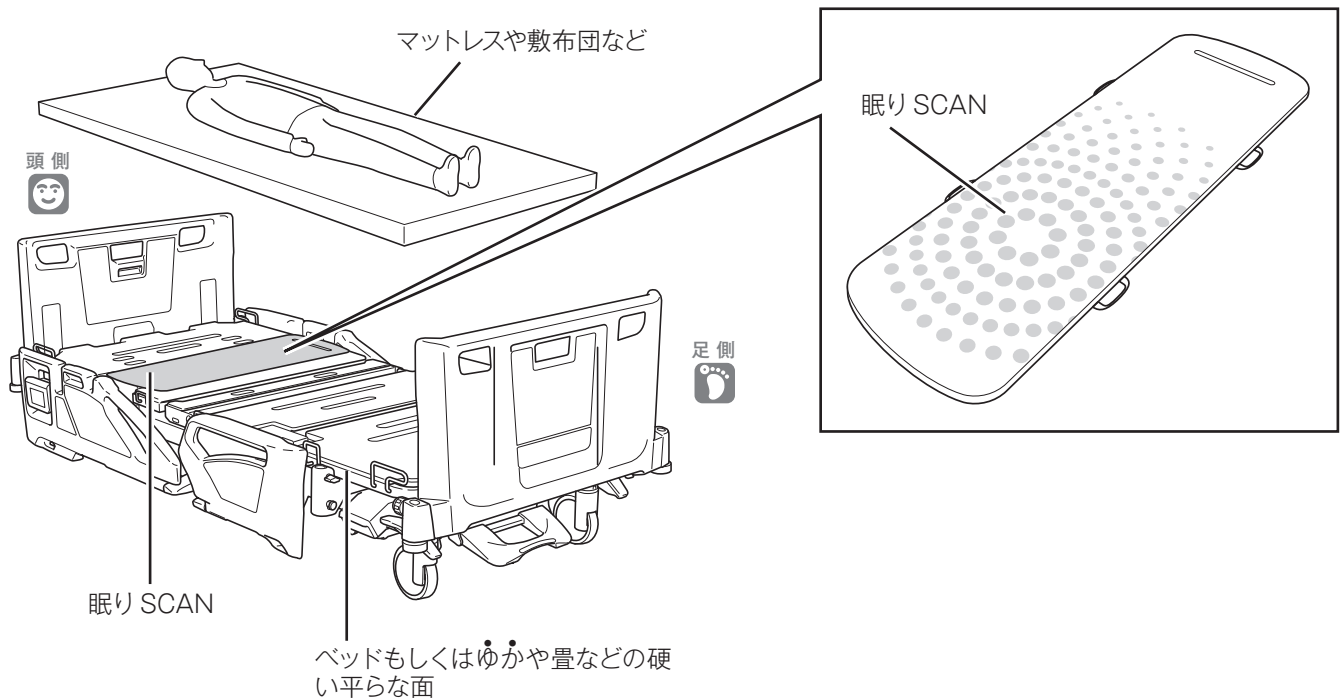
眠り SCAN は、体動を検出するための一般医療機器 (体動センサー) であり、生命に関わる環境下では使用できません。寝返りなどの大きな体動が多いなど、状況によって心拍 / 呼吸を検出できない場合があります、生命に関わる監視装置としての性能、機能は有していません。

※詳細については、眠り SCAN の取扱説明書をご覧ください。

眠り SCAN をマットレスの下に敷いて、患者さんの体動 (寝返り・呼吸・脈拍など) を検出し、睡眠状態を測定することができます。

品番 ^{*)}
NN-1120, NN-1120P, NN-1120S, NN-1520, NN-1520P, NN-1520S

*) NN-1120P / NN-1520P は、ベッドと接続して使用できます。

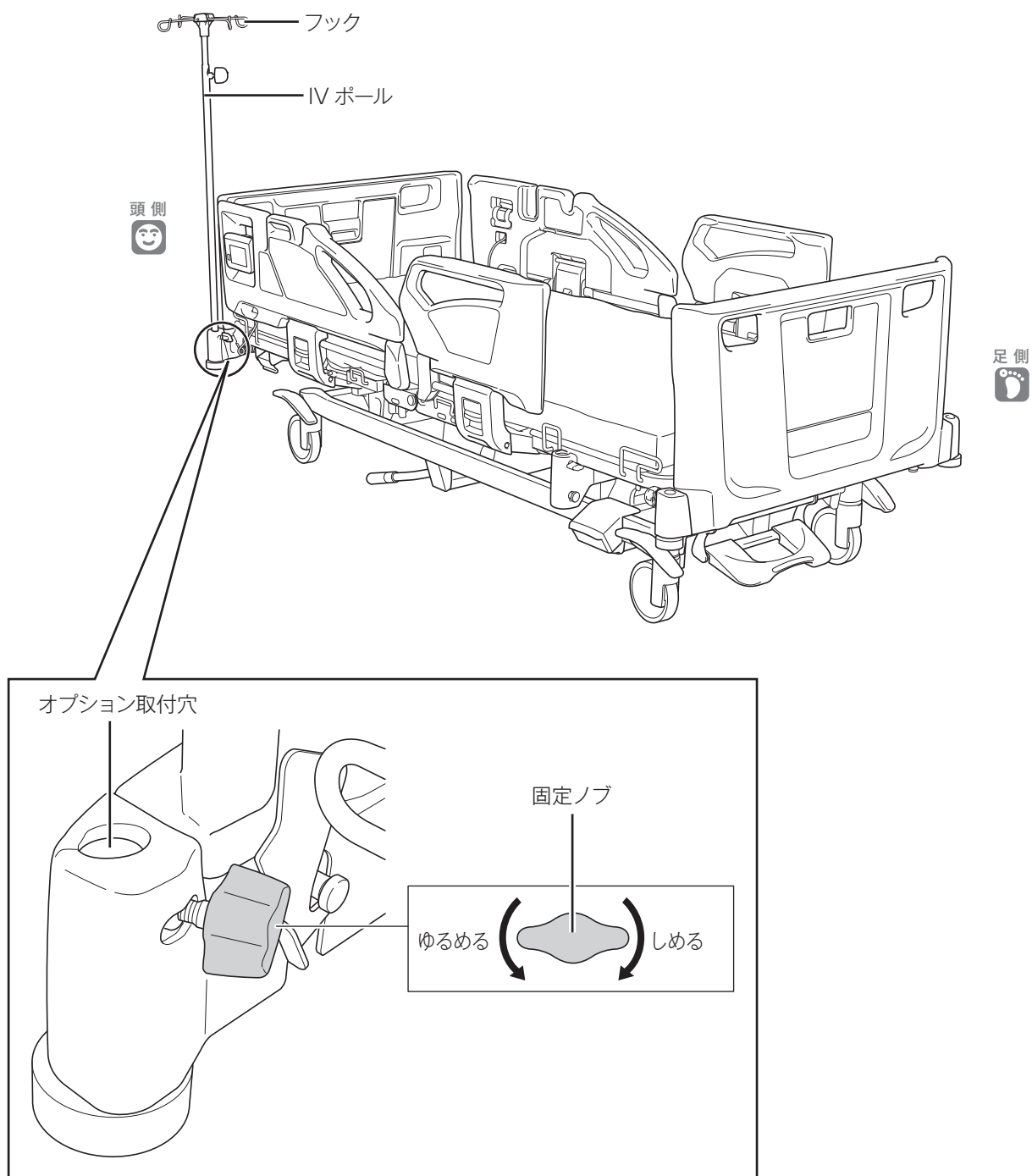


IV ポール

IV ポールを取付けることにより、点滴バッグなどを掛けることができます。

オプション取付穴は、ベッドの頭側と足側に計4ヶ所設けてあります。使用する際は固定ノブでしっかりとIV ポールを固定してください。

品番
KC-56



足側のオプション取付穴は、延長フレーム引き出し時に一緒に動きますので注意してください。

3 オプション

酸素ボンベホルダー

酸素ボンベホルダーを取付けることにより、酸素ボンベを使用することができます。

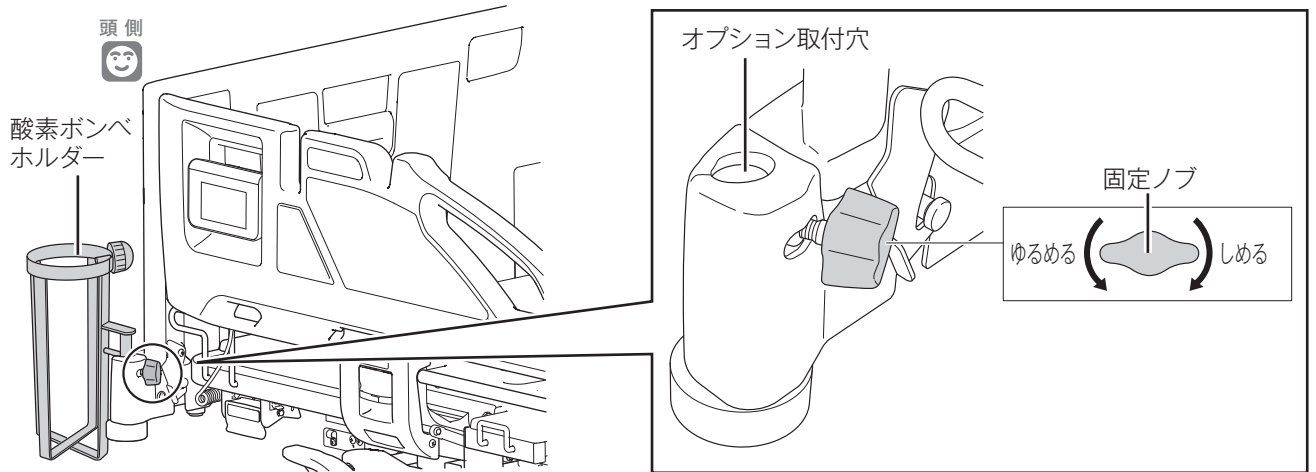


酸素ボンベは、必ず 500 L（直径 9.5cm 以上、11.5cm 以下）のものを使用してください。

品番
KC-83C, KK-34

<KC-83C>

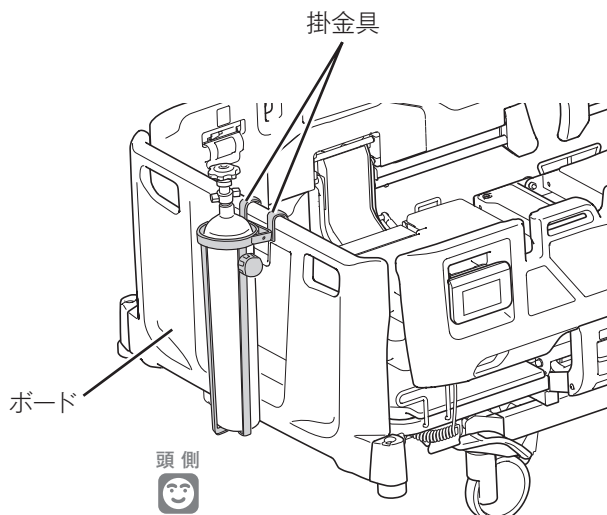
オプション取付穴は、ベッドの頭側と足側に計4ヶ所設けてあります。使用する際は固定ノブでしっかりと酸素ボンベホルダーを固定してください。



足側のオプション取付穴は、延長フレーム引き出し時に一緒に動きますので注意してください。

<KK-34>

酸素ボンベホルダーは、ヘッドボード・フットボードの中央部に引っ掛けてください。

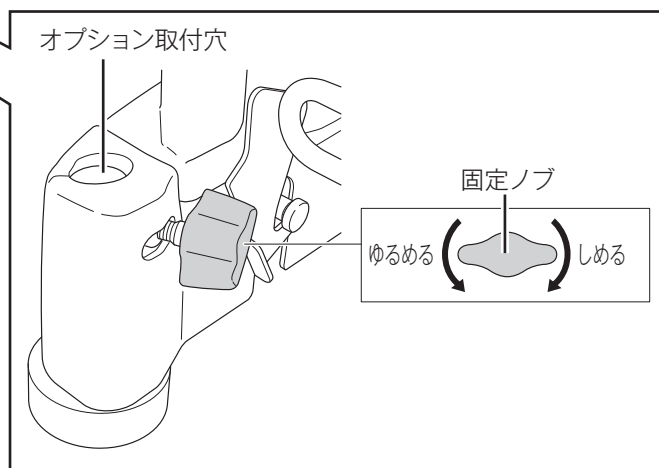
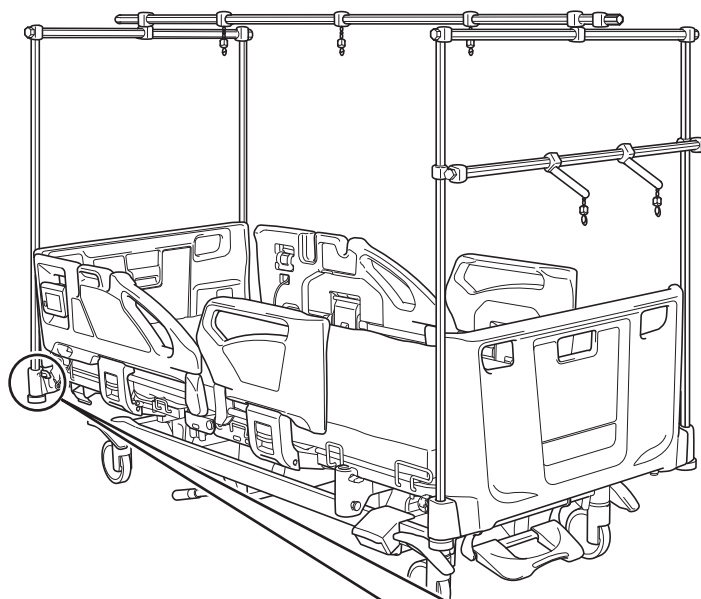


けん引装置（一般医療機器（非能動型簡易型牽引装置））

けん引装置は医療機器です。ベッドのオプション取付穴に差込んで使用してください。
けん引装置をベッドのオプション取付穴に差込んで、固定ノブでしっかりと固定してください。
※詳細については、けん引装置の取扱説明書をご覧ください。

※イラストは KA-83 で説明しています。

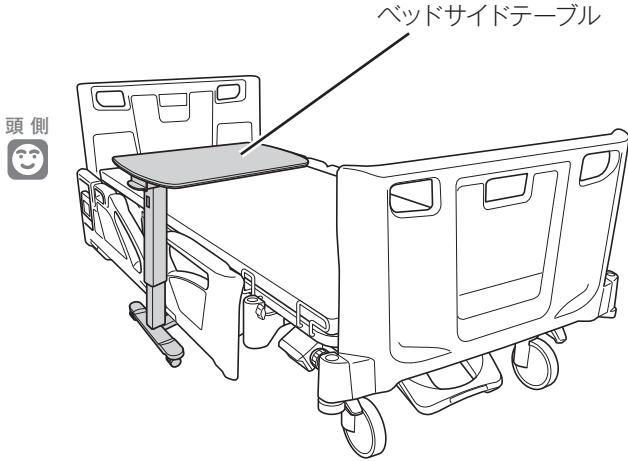
品番
KA-83, KA-86



3 オプション

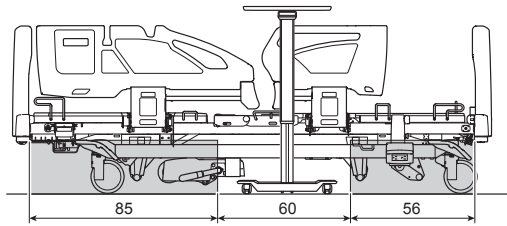
ベッドサイドテーブル

ベッドサイドテーブルは、ベッド上で食事や軽作業をする際に使用する製品です。

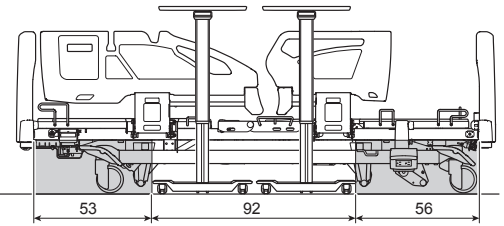


品番
KF-1900, KF-1920, KF-1930, KF-1950, KF-1960, KF-1970, KF-1924, KF-1934, KF-1954, KF-1964, KF-1974

- ベッドサイドテーブルをベッドに設置しているときはベッドの操作をしないでください。背あげ・高さ調節などのベッド操作をすると、ベッドとベッドサイドテーブルの間にはさまれてけがをしたり、ベッドサイドテーブルやベッドが破損・変形したりするおそれがあります。
- ベッド周辺でベッドサイドテーブルを移動する際は、ベッドサイドテーブルがキャスター操作ステップにぶつからないように注意してください。ベッドが不意に動き、思わぬけがをするおそれがあります。
- 下記はベッドサイドテーブルの使用範囲を示しています。(■は使用不可)。下図の範囲外で使用すると、ベッドのキャスターが解除され、ベッドが動いて思わぬけがをするおそれがあります。また、ベッドサイドテーブルが破損・変形するおそれがあります。



キャスター 150mm タイプ



キャスター 125mm タイプ

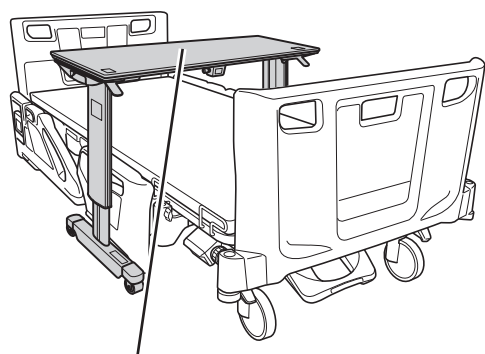
単位：cm



サイドレールをあげている場合、ベッドの最高高さ付近では、ベッドサイドテーブルを使用できません。

オーバーベッドテーブル

オーバーベッドテーブルは、ベッド上で食事や軽作業をする際に使用する製品です。



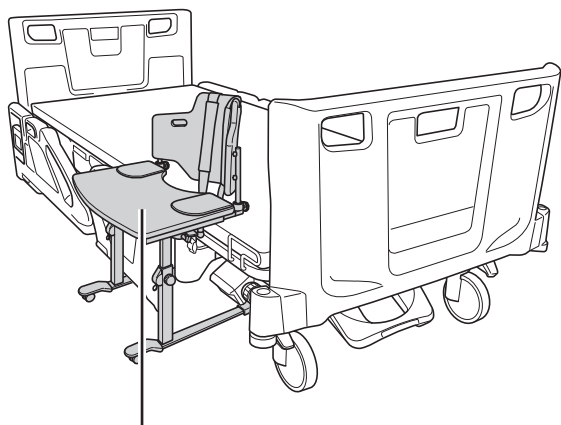
オーバーベッドテーブル

品番

KF-832LA/LB/LC, KF-833LA/LB/LC,
KF-834LA/LB/LC, KF-813

端座位保持テーブル・リハビリテーブル

端座位保持テーブル・リハビリテーブルを使用することで、自力座位が困難な方のベッドサイドでの端座位をサポートすることができます。



端座位保持テーブル (KF-890)

品番

KF-890, KF-840

3 オプション

電動介護リフト（床走行式リフト）

右記の床走行式電動介護リフト（以下、リフト）が使用できます。

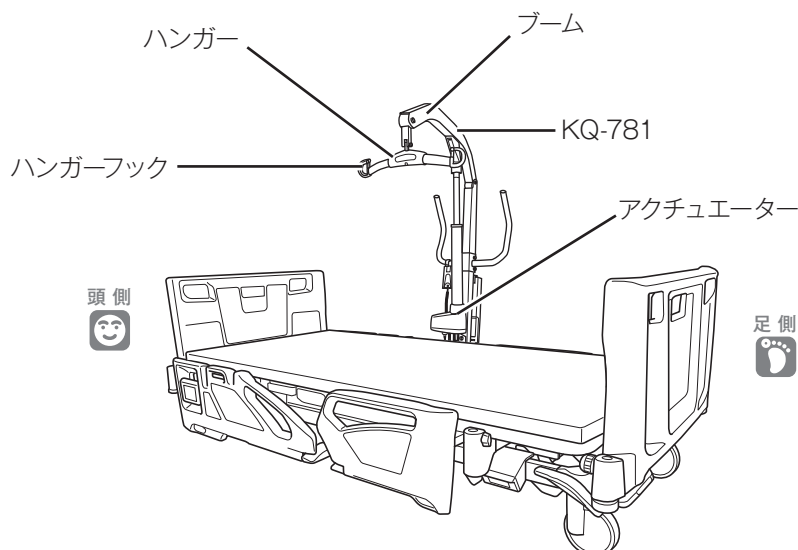
品番
KQ-781, KQ-787



- リフトに添付されている取扱説明書もお読みください。誤った使いかたをすると、思わぬけがをするおそれがあります。
- ベッド操作時およびリフト操作時はリフトの周囲に注意してください。
 - ・ベッドとハンガーの間にはさまれたり、ハンガーに当たったりしてけがをするおそれがあります。
 - ・ブームやハンガーが人に当たってけがをしたり、ベッドや家具などに当たり、破損したりするおそれがあります。
 - ・ハンガーフックがサイドレールなどに引っ掛かり、リフトやサイドレールなどが破損・変形するおそれがあります。
 - ・ベッドとリフトの脚部やアクチュエーター部などが当たり、破損・変形するおそれがあります。
- リフトの脚をベッドの下に差込んでいるときは、リフトのキャスターロックを掛けないでください。ベッド操作のときにベッドとリフトの脚部やアクチュエーター部などが当たると、リフトが転倒してけがをしたり、ベッドやリフトが破損・変形したりするおそれがあります。
- リフトの脚をベッドの下に差込むときは、電源コードを踏んだり乗り越えたりしないでください。電源コードが破損して、感電・火災のおそれがあります。
- ベッド周辺でリフトを移動させる際は、ベッドのキャスター操作ステップにぶつからないように注意してください。キャスターのロックが解除され、乗り降りの際などにベッドが動いて、思わぬけがをするおそれがあります。



いったん停止高さ未満では、リフトを使用しないでください。リフトの脚とベッドが接触して、リフトやベッドが破損・変形するおそれがあります。

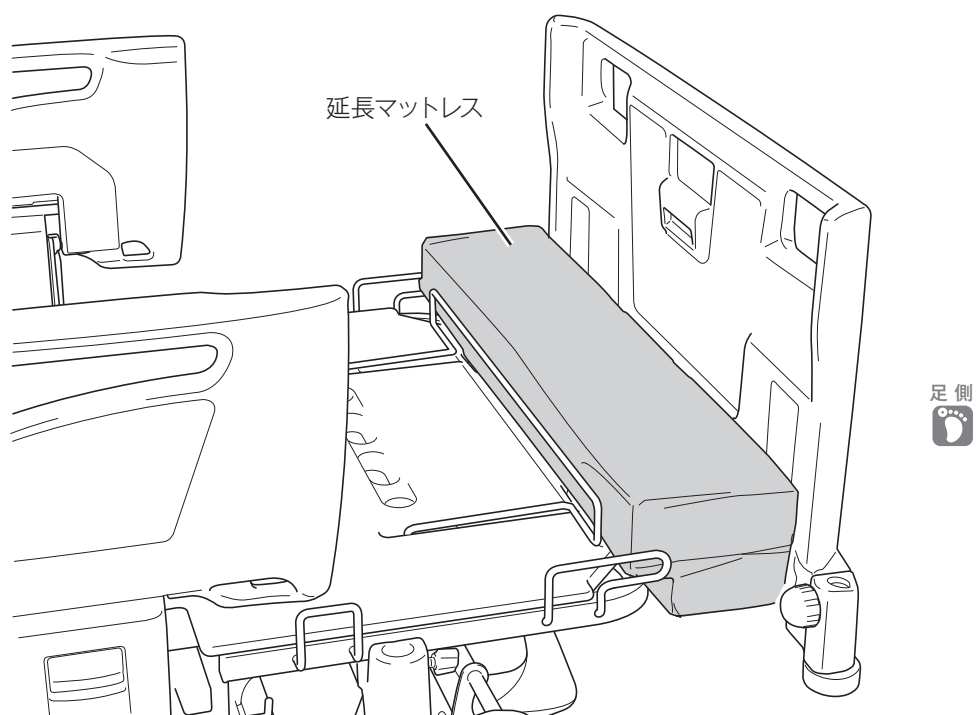


延長マットレス

ベッドの延長フレームを引き出すことで、延長マットレスを載せて使用することができ、長身の方に対応することができます。

品番

KA-H701, KA-H702



3 オプション

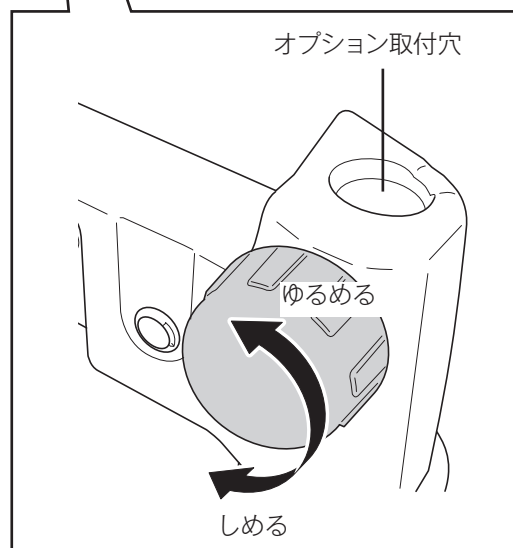
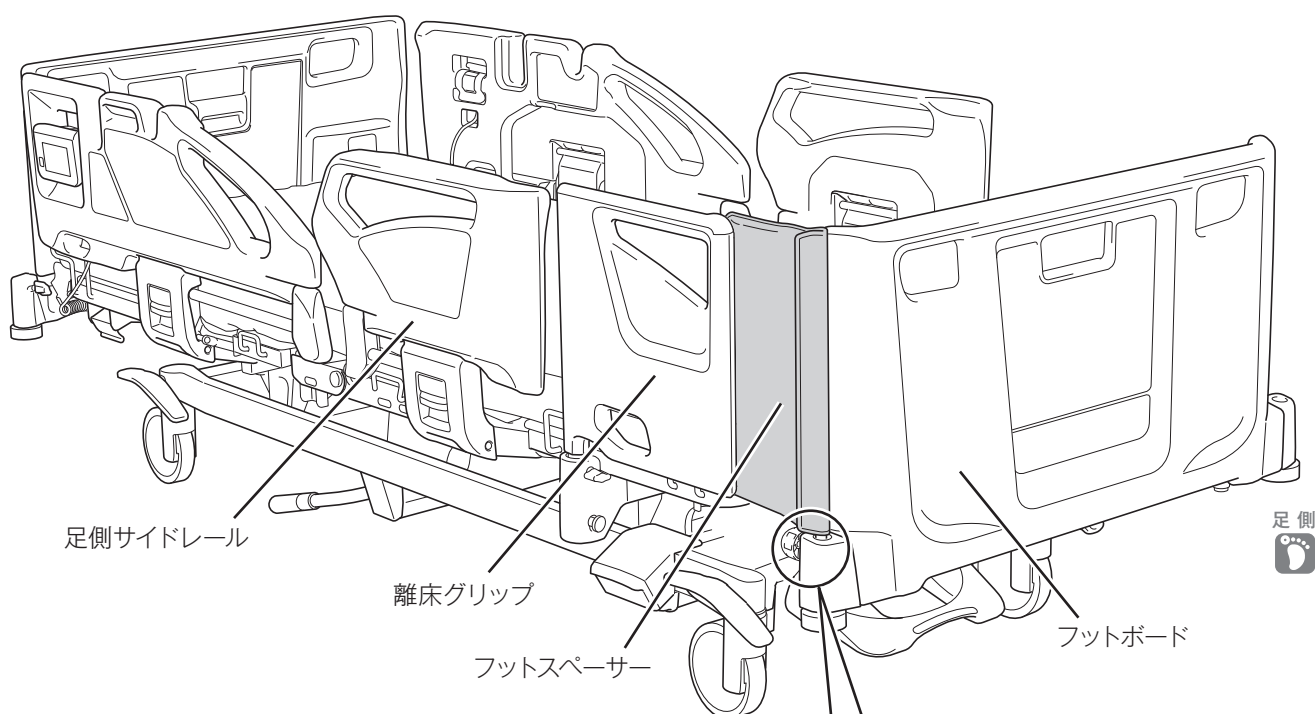
フットスペーサー

フットスペーサーを取付けることにより、延長フレーム使用時のフットボードと離床グリップのすき間をふさぐことができます。

フットスペーサーは、足側のオプション取付穴に差込んで、固定ノブでしっかりと固定してから使用してください。

※フットスペーサーは、サイドレールではありません。必ず離床グリップを取付けた状態で使用してください。

品番
KA-H70S



4 困ったときは

1. 故障かな？と思ったら

- 故障でない場合がありますので、修理を依頼される前にもう一度、以下の項目をチェックしてください。
- 処置をしても正常に動作しない場合は、ただちにベッドの使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはパラテクノコールセンター（112 ページ参照）まで修理をご依頼ください。
- 地震・火災・水害などで被災したベッドは、販売店またはパラテクノコールセンター（112 ページ参照）まで点検・修理をご依頼ください。電装品のショートや漏電による感電・火災やベッドの変形による動作異常によって、けがをするおそれがあります。
- 故障や一時的異常の場合は、DS ベッドナビ・ベッドナビ（別売）はタッチパネルに、手元スイッチ（別売）は表示パネルにエラーコードが表示されることがあります。エラーコードをご確認ください。（103・104 ページ参照）

症状・状態	チェック	処置	参照ページ
医療従事者用操作スイッチ・患者用操作スイッチ・DS ベッドナビ・ベッドナビ（別売）・手元スイッチ（別売）のボタンを押しても動かない	電源プラグは、コンセントに差込まれていますか？	電源プラグをコンセントに差込んでください。	44
	電源プラグは、コンセントに差込まれているが動かない。	・電源プラグを一度コンセントから抜き、差直してください。 ・コンセントに他の電気機器のプラグを差込んで、電気がきているかどうかを確認してください。	44
	医療従事者用操作スイッチの手元スイッチ操作禁止が設定されている、またはベッドナビ（別売）の操作選択ランプが消えていませんか？	医療従事者用操作スイッチの手元スイッチ操作禁止設定を解除、またはベッドナビ（別売）で操作禁止の設定を操作可能の設定にしてください。	62
	手元スイッチコンセントに手元スイッチ（別売）またはベッドナビ（別売）がそれぞれ2個以上差込まれていませんか？	手元スイッチコンセントに手元スイッチ（別売）またはベッドナビ（別売）がそれぞれ2個以上差込まれていると、ベッドは動作しません。それぞれ1個のみ差込んでください。	47・48
DS ベッドナビ・ベッドナビ（別売）・手元スイッチ（別売）の電源ランプが消えている	電源プラグは、コンセントに差込まれていますか？	電源プラグをコンセントに差込んでください。	44
	電源プラグは、コンセントに差込まれているがDS ベッドナビ・ベッドナビ（別売）・手元スイッチ（別売）の電源ランプが消えている。	・電源プラグを一度コンセントから抜き、差直してください。 ・コンセントに他の電気機器のプラグを差込んで、電気がきているかどうかを確認してください。	44
	DS ベッドナビプラグ・ベッドナビ（別売）プラグ・手元スイッチ（別売）プラグが手元スイッチコンセントから抜けていませんか？	DS ベッドナビプラグ・ベッドナビ（別売）プラグ・手元スイッチ（別売）プラグを手元スイッチコンセントに差込んでください。	47・48
各ポジションが正常に取れない	可動部分に障害物はありませんか？	障害物を取除いてください。	—
操作したボタンと異なる部位が動作する	—	角度制限機能により、背ボトムと膝ボトムとの間の角度が90°より小さくならないようにするため、操作した部位と違う部位が動くことがあります。	49
ベッドの移動ができない	キャスターがロックされていませんか？	キャスターのロックを解除してください。	36～38
ボードが外れない	ボードがロックされていませんか？	ボードのロックを解除してください。	31

4 困ったときは

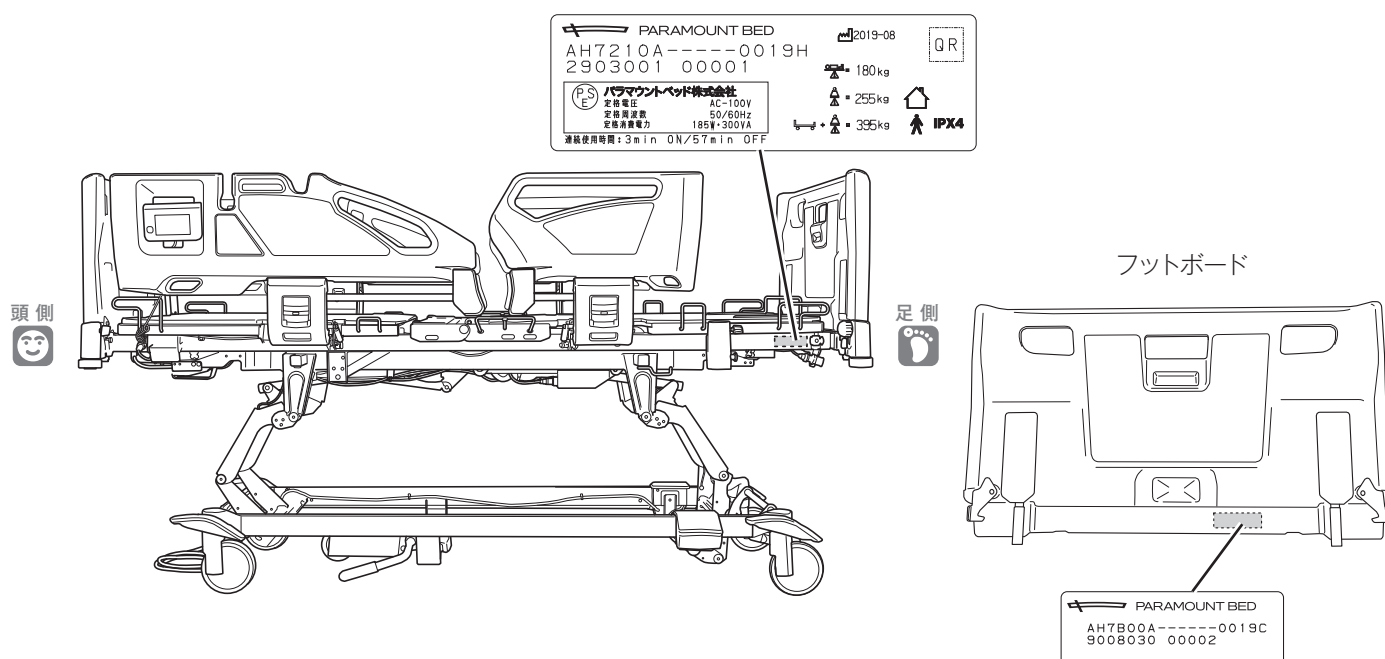
症状・状態	チェック	処置	参照ページ
患者さんが離床などの動作をしているのに通知しない	電源プラグが外れていませんか？	電源プラグをコンセントに差し込んでください。電源プラグがコンセントに差し込まれていないと離床 CATCH は使用できません。	44
	中継ユニット（デジタル式／アナログ式）がケーブルできちんと接続されていますか？	中継ユニット（デジタル式／アナログ式）の取扱説明書を参照し、ケーブルを正しく接続してください。	—
	ベッドナビのセンサー表示ランプが消灯、または橙点減していませんか？	ベッドナビまたは中継ユニット（デジタル式／アナログ式）で通知オン状態にしてください。	73
	ベッドナビの電源ランプが橙点減になっていませんか？	エラーコードの確認および処置を実施してください。	103・104
	ベッドとゆかの間に障害物はありませんか？	障害物を取除いてください。	—
	患者さんの体重は 30kg 以上ですか？	離床 CATCH は体重 30kg 以上の方の使用を想定していますので、30kg 未満の方は検知できない場合があります。	74
	患者さんの体重にあわせて体重設定していますか？	患者さんの体重にあわせて体重設定してください。	
	通知設定が正しく行われていますか？	通知設定を正しく行ってください。	57・74
	機能が「離在床情報」「見守り」となっていますか？	「離在床情報」「見守り」の場合、離床・端座位・起きあがり時には通知しません。	
	ベッド動作中に、患者さんが離床などの動作をしませんでしたか？	ベッド動作中は、患者さんが離床・起床しても通知しません。患者さんがベッド動作中に乗り降りすることが考えられる場合は、全ての操作を禁止に設定してください。	62
患者さんがゆっくりと離床や起きあがりなどの動作をしていませんか？	4 分以上の時間をかけて、ゆっくりと離床や起きあがりなどをすると、通知されない可能性があります。	55	
ベッドに重いものを載せた後に、患者さんが離床や起きあがりなどの動作をしませんでしたか？	ベッド上に重いもの（おおむね体重の半分以上）を載せた後に、患者さんが離床や起きあがりなどをすると、通知されない可能性があります。		
患者さんが起きあがっているのに通知しない	患者さんの起きあがり状態が小さい状態ではありませんか？	患者さんの上半身の動作が小さい場合、通知できない場合があります。故障ではありません。ある程度上半身を起こしても通知しない場合は、いったん通知オフにして、再度通知オンにしてください。	73
	患者さんがベッドの足側に寝ていて起きあがりませんでしたか？	患者さんがベッドの足側に寝ていて起きあがった場合は、検知しないことがあります。患者さんがベッドの頭側に来るように寝かせた状態で、いったん通知オフにして、再度通知オンにしてください。	55・73
	患者さんがベッドの頭側に手または肘をついて起きあがりませんでしたか？	ベッドの頭側に手または肘をついて起きあがると、通知されない可能性があります。	55

症状・状態	チェック	処置	参照ページ
患者さんが離床などの動作をしていないのに通知する	通知設定が正しく行われていますか？	通知設定を正しく行ってください。	74
	ベッドから 3kg 以上のものを降ろしましたか？	ベッドから 3kg 以上のものを降ろした場合に通知することがあります。このような場合は、通知オフもしくは通知を一時停止にしてください。	56・73
	患者さん以外の方が、ベッドに乗り降りしましたか？	医師・看護師や、お見舞いの方などがベッドに乗って降りたときに通知する場合があります。このような場合は、通知オフもしくは通知を一時停止にしてください。	
	ボードを外しませんでしたか？	ボードを外した場合に通知することがあります。このような場合は、通知オフもしくは通知を一時停止にしてください。	
	フットボードに体重をかけましたか？	フットボードに体重をかけると、通知することがあります。このような場合は、通知オフもしくは通知を一時停止してください。	56
背の角度が大きい状態ではありませんか？	起きあがりの検知機能は、背の角度が大きくなるほど、患者さんが起きあがらなくても、わずかな動作で通知する可能性が高くなります。		
見守り時間より早く通知する	患者さんが離床中に、見守り時間の設定を変更しましたか？	通知オフにして、患者さんがベッド上に寝ている状態で、再度見守り時間を設定しなおしてください。	73・74
体重が表示されない	—	一度電源プラグを抜いて、手元スイッチまたはベッドナビの電源ランプが消えたことを確認して、もう一度コンセントに差し直してください。	44
USB 機器の充電が始まらない、もしくは充電がすぐに停止してしまう	電源プラグはコンセントに差し込まれていますか？	電源プラグをコンセントに差し込んでください。	44
	USB 機器専用の AC アダプターなどでは充電できますか？	充電電流が不足しているか、ベッドがその USB 機器に適合していない可能性があります。USB コネクターへの接続を中止し、USB 専用の AC アダプターなどで充電してください。	—
USB 機器は充電状態になっているが、バッテリー残量が増えない、もしくは充電に時間がかかる	USB 機器が動作していませんか？	充電電流が不足しているか、ベッドがその USB 機器に適合していない可能性があります。USB コネクターへの接続を中止し、USB 専用の AC アダプターなどで充電してください。	—

修理のご依頼やお問い合わせの際は、製品識別表示ラベルに表示された番号もあわせてご連絡ください。

■製品識別表示ラベルの位置

メインフレームの右側、フットボードの内側にそれぞれ製品識別表示ラベルが貼ってあります。



4 困ったときは

2. エラーコードについて

エラーコード一覧

故障などの場合は、DS ベッドナビ・ベッドナビ（別売）のタッチパネル・手元スイッチ（別売）の表示パネルにエラーコードが表示されることがあります。エラーコードをご確認ください。

< ベッド動作 >

症状	電源ランプの点滅はやさ	エラーコード	原因	処置
DS ベッドナビ・ベッドナビ（別売）または手元スイッチ（別売）のボタンを押したとき電源ランプが点滅している	遅い点滅減（1秒ごと）	U0	電源投入時に操作ボタンが押されている	押されているボタンを離してください。
		U1	ベッド上負荷が安全動作荷重を超えている	ベッド上負荷が安全動作荷重内かご確認ください。
			障害物でベッドの動作が制限されている	障害物などでベッドの動作が制限されていないかご確認ください。
		U2	DS ベッドナビ・ベッドナビ（別売）または手元スイッチ（別売）のケーブル断線	<ul style="list-style-type: none"> ケーブルに傷などが無いかご確認ください。 DS ベッドナビ・ベッドナビ（別売）または手元スイッチ（別売）の接続をご確認ください。 電源プラグをコンセントから抜き、DS ベッドナビ・ベッドナビ（別売）または手元スイッチ（別売）の電源ランプが消えたことを確認して、もう一度コンセントに差し込んでください。
			DS ベッドナビ・ベッドナビ（別売）プラグ・手元スイッチ（別売）プラグが濡れている	DS ベッドナビ・ベッドナビ（別売）プラグ・手元スイッチ（別売）プラグを抜いて、乾かしてからもう一度差し込んでください。
		U3	ベッド上負荷が安全動作荷重を超えている	ベッド上負荷が安全動作荷重内かご確認ください。
			障害物でベッドの動作が制限されている	障害物などでベッドの動作が制限されていないかご確認ください。
			断続的に長い時間ベッドが動作している	20分～57分そのままにしておいてください。モーターを過熱から保護する回路が働いたため故障ではない可能性があります。
		U4	最大連続使用時間を超過してベッドが動作している	20分～57分そのままにしておいてください。モーターを過熱から保護する回路が働いたため故障ではない可能性があります。
U5	—	電源プラグをコンセントから抜き、ベッドナビ（別売）または手元スイッチ（別売）の電源ランプが消えたことを確認して、もう一度コンセントに差し込んでください。		
U9	動作が上限・下限の状態ボタンが押され続けている	押されているボタンを離してください。		
DS ベッドナビ・ベッドナビ（別売）または手元スイッチ（別売）の電源ランプが常時点滅している	速い点滅減（0.2秒ごと）	H0・H1 H3・H5 H7・H8	—	電源プラグをコンセントから抜き、DS ベッドナビ・ベッドナビ（別売）または手元スイッチ（別売）の電源ランプが消えたことを確認して、もう一度コンセントに差し込んでください。
		H2	最大連続使用時間を超過してベッドが動作している	電源プラグをコンセントから抜き、20分～57分そのままにしておいてください。電装品を過熱から保護する回路が働いたため故障ではない可能性があります。



上記の処置をしても復旧しない場合は、販売店またはパラテクノコールセンター（112ページ参照）までご連絡ください。

< 体重計 >

症状	電源ランプの点滅はやさ	エラーコード	原因	処置
DS ベッドナビ・ベッドナビ (別売) の電源ランプが常時点滅している	遅い点滅 (1 秒ごと)	S01	ロードセルの故障	電源プラグをコンセントから抜き、差し直してください。
		S02・S03	ベッド上の質量が測定範囲を超えています	ベッドに加わる荷重を減らしてください。
		S04	ベッドにかかる荷重が少なすぎます	ボードやボトムが取付けられていること、ベッドの下に障害物がないことを確認してください。
		S06	システムエラー	電源プラグをコンセントから抜き、差し直してください。
体重計画面に体重が表示されない	—	S05	エラーコードが表示された DS ベッドナビまたはベッドナビ (別売) は、検定時とは異なるベッドに取付けられています	正しいベッドに取付けてください。検定時とは異なるベッドに取付けた場合、体重の表示はできません。

< エアマットレス >

症状	電源ランプの点滅はやさ	エラーコード	原因	処置
DS ベッドナビ・ベッドナビ (別売) の電源ランプが常時点滅している	速い点滅 (0.2 秒ごと)	H02・H03 H07・H08	—	エアマットレスの使用を中止し、販売店またはここちあセンター (エアマットレスここちあ利楽の取扱説明書参照) までご連絡ください。
エアマットレスボタンに△マークが表示されている	—	U10・U11 U12・U13 U14・U19	カプリング (上・下) がポンプ本体から抜けていませんか?	カプリング (上・下) をポンプ本体の差込口に差し直してください。
			エアセルに穴が開いていませんか?	エアセルが破損しています。販売店またはここちあセンター (エアマットレスここちあ利楽の取扱説明書参照) までご連絡ください。
			エアセルと送風チューブの接続が外れていませんか?	エアセルと送風チューブを接続してください。
			送風チューブとカプリング (上・下) の接続が外れていませんか?	送風チューブとカプリング (上・下) を接続してください。
		U21・U22 U23・U24	送風チューブが折れ曲がっていませんか?	送風チューブを伸ばして接続してください。
U28・U29	ヒーターヤストーブの風がポンプに当たっていませんか? または、電気掛毛布などの電気機器を 40℃ 以上で使用していませんか?	ポンプ本体が温まらないようにして、使用してください。		



上記の処置をしても復旧しない場合は、販売店またはパラテクノコールセンター (112 ページ参照) までご連絡ください。

5 必要なときに

1. 検定付ベッドについてのご注意

定期検査

- 検定付ベッドは2年に1回の定期検査を受けることが必要です。最寄りの検定所にお問い合わせください。
- 定期検査を受けないと、有効期限が切れた時点で「取引」・「証明」行為に使用できなくなります。

■ 移動について

地域により、重力が異なる場合があります。検定付ベッドはご使用される地域の重力の値が設定されておりますので、重力の違う地域にベッドを移動する際には、再検査および設置届けの再提出が必要な場合があります。最寄りの検定所にお問い合わせください。

■ 廃棄申請について（検定付としての使用をやめる場合）

ベッドとしては継続使用する場合でも、検定付としての使用をやめる場合は廃棄申請が必要となります。最寄りの検定所にお問い合わせください。

検定ラベル

下記の検定ラベルが付いているベッドは、計量法の検定に合格したベッドです。測定した値を「取引」・「証明」行為に使用することができます。検定ラベルの貼付位置は、5ページを参照してください。

< 検定ラベル >

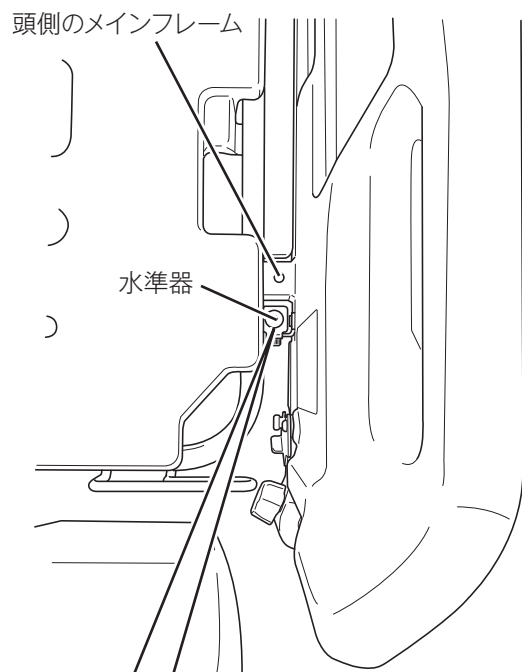
型式承認 第		号	型式		検定証印等		
ひょう量		kg	最小測定量		kg		
目 量		kg	最大減算風袋量		kg		
使用温度範囲		~		°C	精度等級		級
製造番号			製造年				
重力加速度		~		m/s ²			
パラマウントベッド株式会社							



- 検定ラベルが付いていないベッドで測定した値は、「取引」・「証明」行為には使用できません。
- お客様による修理・改造はしないでください。修理・改造を行った場合は、「取引」・「証明」行為に使用できなくなることがあります。

水準器

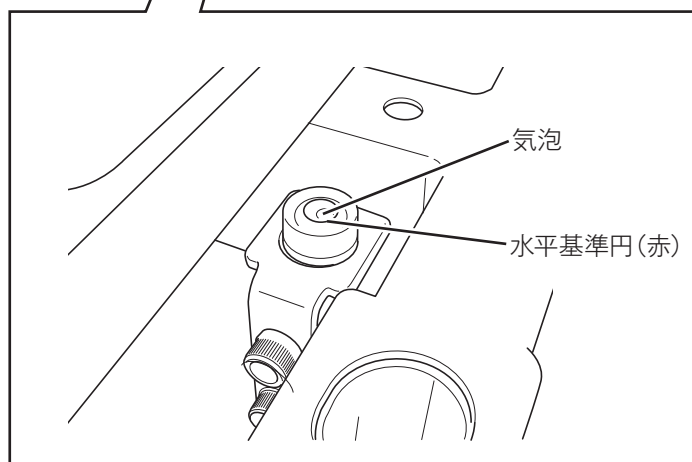
頭側のメインフレームに水準器を搭載しています。



検定付ベッドで「取引」・「証明」行為に体重計の測定値を使用する場合は、水準器でベッドが水平であることを測定前に必ず確認してください。

ベッドの水平は、水準器の気泡が水平基準内（赤線）の範囲内に入ることによって確認できます。

※ベッドが水平でない場合は、ゆかが水平な場所にベッドを移動してください。



5 必要なときに

2. 定期点検と日常のお手入れ


定期点検

安全にご使用いただくために、1年に1回は定期的に点検してください。使用の頻度や環境により製品は摩耗・劣化します。定期的に各部のゆるみ、可動部の動作、破損の有無などを点検してください。

異常が認められた場合や詳しい点検をご希望される場合は、パラテクノコールセンター（112ページ参照）までお問い合わせください。

部位	操作内容	点検項目
ベッド本体	背あげ操作 ※ 49 ページ参照	正常な操作ができること
		異常音がしないこと
	膝あげ操作 ※ 49 ページ参照	正常な操作ができること
		異常音がしないこと
	高さ調節操作 ※ 50 ページ参照	正常な操作ができること
		異常音や著しいがたつきがないこと
ベッド操作ボタン ※ 58 ～ 64 ページ参照	すべてのベッド操作ボタンが反応すること	
その他	緊急背さげ機能 ※ 80 ページ参照	CPR レバーによる背さげができること
		ローラーバンパーや樹脂部品に破損や変形・脱落がないこと
		ラベルがはがれたり、文字が見えなくなったりしていないこと
ボード	取付け状況 ※ 31 ページ参照	ボードストッパーのロックが確実に掛かること
		著しいがたつきがないこと
キャスター	走行	ベッドの走行時に異常音がしないこと
		ベッドの走行時に異常な振動がないこと
	キャスターロック操作 ※ 36 ～ 38 ページ参照	正常な操作ができること
		操作が異常に重くないこと
サイドレール	サイドレール操作 ※ 32・33 ページ参照	ロック時にベッドが動かないこと
		解除時にベッドがスムーズに動くこと
電装品	電装品の目視確認	コード類がベッドに絡まっていないこと
		プラグやコードに傷などがないこと
		医療従事者用操作スイッチ・患者用操作スイッチ・DS ベッドナビ・ベッドナビ（別売）・手元スイッチ（別売）に傷や破損がないこと

日常のお手入れ

 けい 告	<ul style="list-style-type: none">●誤操作によるはさまれを予防するため、電源プラグをコンセントから抜いてお手入れを行ってください。●ベッドに水をかけて掃除しないでください。ショートして感電するおそれがあります。
---	---

< ベッド本体 >

■汚れを落とす場合

下記1～3の手順で行ってください。



1. 水で薄めた中性洗剤にひたした布をよくしぼって拭いてください。
2. 水でひたした布をよくしぼって、残った洗剤分を拭き取ってください。
3. 乾いた布で残った水分を拭き取ってください。

■消毒する場合

必ず下記の消毒剤を指定の濃度で、消毒剤の取扱説明書などの指示に従ってご使用ください。

- | | |
|------------|-----------------------|
| 76.9～81.4% | 消毒用エタノール |
| 0.05～0.2% | 塩化ベンザルコニウム（オスバンなど） |
| 0.05～0.2% | 塩化ベンゼトニウム（ハイアミンなど） |
| 0.05% | グルコン酸クロルヘキシジン（ヒピテンなど） |
| 0.02～0.05% | 次亜塩素酸ナトリウム（ミルトンなど） |

※別の方がベッドを使用する前には、ベッドを消毒することをおすすめします。

 ちゅう 意	<ul style="list-style-type: none">●揮発性のもの（シンナー、ベンジン、ガソリンなど）やクレゾールは使用しないでください。変色・変質するおそれがあります。●消毒剤を使用する場合は、指定以外の薬品を使用しないでください。破損・変質するおそれがあります。●中性洗剤を使用した場合は、その後水拭きをしてください。水拭きをしないと樹脂の部分が割れるおそれがあります。 
--	---



オゾン殺菌器、オートクレーブ滅菌器などには対応できません。

< オプションなど >

各オプションに添付されている取扱説明書の指示に従ってください。

< マットレス >

マットレスに添付されている取扱説明書の指示に従ってください。

5 必要なときに

3. 長期保管・廃棄

長期保管

長期にわたりベッドをご使用にならないときは、下記の点にご注意ください。

- 離床 CATCH を通知オフにしてください。
- 背ボトム、膝ボトムを水平にしてください。
- ベッドの高さを最低高さまでさげてください。
- ベッドの上にはマットレス以外のものを載せないでください。
- マットレスの上には何も載せないでください。
- 高温・多湿・低温・乾燥・ほこりの多い場所を避けてください。
温度 -10 ~ 50°C、湿度 30 ~ 90% RH、大気圧 620 ~ 1060hPa の環境で保管してください。
- ベッドは壁に立てかけたりせずに、水平なゆかに水平のまま保管してください。
- 必ず電源プラグをコンセントから抜いて、電源コードをはさんだり踏んだりしない場所に束ねてください。

廃棄



廃棄の際は、「廃棄物の処理および清掃に関する法律」および各自治体の規則に従ってください。

4. 仕様

品名		アリウスシリーズ ICU ベッド			
品番		KA-H7410A	KA-H7410B	KA-H7420A	KA-H7420B
ボード色		木目調ミディアム	ライトブルー	木目調ミディアム	ライトブルー
寸法 (cm)	全長 (最小—最大)	218 ~ 230			
	全幅	99.6 (サイドレール格納時: 104.2)			
	全高	72.5 ~ 115.5		75 ~ 118	
	ボトム長さ (最小—最大)	191 ~ 209			
	ボトム上面の高さ* ¹⁾	32.5 ~ 75.5		35 ~ 78	
キャスター		車輪径φ 125mm 単輪キャスター (セントラルロックシステム)		車輪径φ 150mm 単輪キャスター (セントラルロックシステム) (センターホイールシステム)	
電源コード長さ		有効長さ 250cm			
製品質量 (kg)		165		169	
最大利用者体重		180kg			
安全動作荷重* ²⁾		255kg (2500N)			
動作保証条件	温度	10 ~ 40°C (離床 CATCH 使用時: 15 ~ 30°C)			
	湿度	30 ~ 75% RH			
	大気圧	620 ~ 1060hPa			
運送および保管条件	温度	- 10 ~ 50°C			
	湿度	30 ~ 90% RH			
	大気圧	620 ~ 1060hPa			
耐用期間		8年 [自己認証 (当社データ) による] ※ただし、指定の保守・点検と消耗部品 (キャスターなど) の交換を行った場合に限る			
材質	ヘッド・フットボード	ポリエチレン樹脂成形品			
	サイドレール	ポリエチレン樹脂成形品			
	バンパー	エチレンプロピレンゴム成形品			
	ボトム	ポリエチレン樹脂成形品			
	メインフレーム	スチール…電着・粉体塗装			
	操作スイッチ部	PET 樹脂成形品			
動作原理		電動リニアアクチュエーターの伸縮によるリンク機構			
背あげ	傾斜角度	0 ~ 70° [- 7, + 5]°			
	所要時間	普通: 46 秒、速い: 26 秒			
膝あげ	傾斜角度	0 ~ 25° ± 2.5°			
	所要時間	普通: 13 秒、速い: 10 秒			
昇降高さ	調節量	43cm			
	所要時間* ³⁾	34 秒			
傾斜	傾斜角度	トレンデレンバーグ: 0 ~ 15 [- 1.5, + 0.5]° リバーストレンデレンバーグ: 0 ~ 15 [- 1.5, + 0.5]°			
	所要時間	トレンデレンバーグ: 23 秒 リバーストレンデレンバーグ: 23 秒			

■頻繁に使用する機能

背あげ、膝あげ、高さ調節、サイドレールのあげ動作・さげ動作

- * 1) ボトム高さは、からボトム上面までの高さを示しています。
- * 2) 安全動作荷重: ベッドを安全に使用できる荷重。(利用者体重とマットレスやオプションなどの付帯物の合計荷重)
- * 3) さげる際にからボトム上面までの高さが 42cm に達した時点で安全性確保のため警告音が鳴りいったん停止します。
再度高ささげボタンを押すと警告音を繰り返し鳴らしながら最低高さまでさがります。

5 必要なときに

電装品	形式	リニアアクチュエーター (DC モーター)
	電源電圧・周波数	AC100V・50/60Hz
	消費電力	背あげ：175W 以下、膝あげ：80W 以下、高さ調節：275W 以下
	最大連続使用時間	3分 (休止時間 57分 ^{*4)})
	USB の定格出力	5V・1A
ヒューズ	コントロールボックス	AC250V・6.3A・遅延タイプ・遮断容量：100A 以上

* 4) ベッドを最大連続使用時間 (3分) 動作させた場合、電装品を過熱から保護するための時間。

体重計	精度等級	3級
	ひょう量	255kg
	目量	0.1kg
	最小測定値	2kg
	最大減算風袋量 ^{*5)}	255kg
	使用温度範囲	5～40℃
	データバックアップ機能 ^{*6)}	有

* 5) 風袋引き可能な最大量。

* 6) 体重変化量を測定中に停電や誤って電源プラグが抜けてしまっても、電源が復帰すると再び測定中の状態に戻ります。

5. アフターサービスについて

1. 保証書

保証書は、この取扱説明書の裏表紙についておりますので、必ず「販売店名・お買い上げ日」などの記入をお確かめになり、記載内容をよくお読みいただき大切に保管してください。保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

販売店名・お買い上げ日の記入がない場合は、品番・販売店・お買い上げ日が確認できるように、製品をお買い上げの領収書などを保証書と一緒に保管してください。

2. 修理を依頼される時

取扱説明書の「故障かな?と思ったら」(100～102ページ参照)に従って調べてください。それでも直らないときは、ベッドの電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または弊社製品の修理受付窓口であるパラテクノコールセンター(下記参照)までご連絡ください。

■連絡していただきたい内容

- 品名、品番、製品識別表示ラベルの番号(ラベルの位置は102ページ参照)
- お買い上げ日
- 故障または異常の内容(できるだけ詳しく)
- 施設名、お名前、ご住所および電話番号

■消耗部品について

キャスト・手元スイッチ(別売)・DSベッドナビ*・ベッドナビ(別売)・USBカバー・USBコネクタ・ボトム固定クリップ・ガススプリング・サイドレールダンパー・医療従事者用操作スイッチ・患者用操作スイッチは消耗部品です。

*) 検定付ベッドでDSベッドナビを交換すると、再検定が必要になります。

■保証期間内は

保証書の記載内容に基づき無償で修理いたします。ただし、保証期間内でも修理が有償になる場合があります。詳しくは保証書をご覧ください。

■保証期間が過ぎているとき

修理により使用できる製品については、ご要望により有償で修理いたします。

3. 部品の最低保有年数は

弊社ではこのベッドの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間を製造打ち切り後8年としております。

4. アフターサービスについてご不明な場合

お買い上げの販売店、またはパラテクノコールセンターまでお問い合わせください。

パラテクノコールセンター ☎ 0120-54-8639

受付時間: 平日 8:00～19:00 / 土・日・祝日 9:00～17:20 (年始は休業いたします)

【パラテクノ株式会社について】弊社製品の修理や保守点検などの各種サービスを実施する会社です。

<パラマウントベッド株式会社>

本社	〒136-8670	東京都江東区東砂2丁目14番5号	☎(03)3648-1111(大代)
東京支店	〒136-8670	東京都江東区東砂2丁目14番5号	☎(03)3648-1171(代)
札幌支店	〒060-0062	札幌市中央区南2条西13丁目318番地11	☎(011)271-1181(代)
仙台支店	〒984-0015	仙台市若林区卸町2丁目3番地の3	☎(022)239-5211(代)
さいたま支店	〒338-0001	さいたま市中央区上落合9丁目4番7号	☎(048)852-0707(代)
横浜支店	〒194-0004	東京都町田市鶴間5丁目3番33号	☎(042)795-8800(代)
名古屋支店	〒461-0001	名古屋市東区泉1丁目20番17号	☎(052)963-0600(代)
大阪支店	〒550-0001	大阪市西区土佐堀2丁目3番33号	☎(06)6443-8791(代)
広島支店	〒733-0011	広島市西区横川町3丁目8番5号	☎(082)293-1311(代)
福岡支店	〒812-0013	福岡市博多区博多駅東3丁目14番20号	☎(092)461-1131(代)

保証書

品名	アリウスシリーズ ICUベッド	品番	KA-H7410* KA-H7420*
保証期間	1年間	保証対象	本体 ※マットレスは除く

★ お買い上げ日		年	月	日
お客様	お名前			
	ご住所	〒□□□□ - □□□□ ☎	()
★ 販売店	店名			
	住所	☎	()

★印欄の情報が確認できない場合は無効となりますので販売店から発行された★印欄の情報が確認できる領収書などを、本保証書と一緒に大切に保管してください。
この保証書は、本書の記載内容に基づき無償修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から上記保証期間中に、取扱説明書、本体ラベルなどの注意書きに従った正しい使用状態で故障した場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
※本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

保証規定

- 保証期間内（お買い上げの日より1年間）に、正常なご使用状態において故障した場合は、無償で修理いたします。
- 次のような場合は、保証期間内でも修理は有償となります。
 - 使用上の誤り、あるいは不当な改造や修理による故障および損傷
 - 弊社が指定する適合品以外の製品と組合せて使用したことによる故障および損傷
 - お買い上げ後の移動、設置、落下あるいは輸送による故障および損傷
 - 火災、煙害、異常電圧および地震、雷、風水害、その他、天災地変などによる故障および損傷
 - 保証書のご提示がない場合
 - 本保証書の保証期間および販売店名が確認できない場合
 - 字句を書き換えるなどの不正行為が発覚した場合
- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
 - This warranty is valid only in Japan.

修理実施日	修理内容	担当者

※この保証書は、本書に明示した期間、条件の基において無償修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明な場合は、お買い上げの販売店、またはパラテクノコールセンターまでお問い合わせください。
※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは取扱説明書の中の「アフターサービスについて」をご覧ください。

パラマウントベッド株式会社 〒136-8670 東京都江東区東砂2丁目14番5号